

志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事

本館棟														
建築本体工事						電気設備工事			機械設備工事					
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面名称		
L-01	表紙・図面リスト	—	A-12	改修前平面・屋根伏せ・立面図(現況)(厨房・機械室棟)	1/100	A-31	厨房改修建具表	1/50	E-01	電気設備特記仕様書	—	M-01	特記仕様書	—
特記-01	改修工事特記仕様書 1	—	A-13	改修後平面・屋根伏せ・立面図(現況)(厨房・機械室棟)	1/100	A-32	厨房改修前後展開図1	1/50	E-02	配置図 設備図	1/200	M-02	凡例・機器表・水槽平面図	1/50
特記-02	改修工事特記仕様書 2	—	A-14	改修前後矩計図 1(本館)	1/30	A-33	厨房改修前後展開図2	1/50	E-03	工事概要・凡例・照明器具姿図	—	M-03	改修後配置図(衛生)	1/200
特記-03	改修工事特記仕様書 3	—	A-15	改修前後矩計図 2(本館)	1/30	A-34	厨房改修前後展開図3	1/50	E-04	盤結線図	1/100	M-04	改修後平面図(衛生)	1/100
特記-04	改修工事特記仕様書 4	—	A-16	改修前後矩計図 3(本館)	1/30	A-35	厨房改修前後展開図4	1/50	E-05	動力・弱電設備図	1/100	M-05	撤去機器表(衛生)	1/250
特記-05	改修工事特記仕様書 5	—	A-17	改修前後矩計図 4(厨房・機械室棟)	1/30	A-36	厨房改修前後展開図5	1/50	E-06	電灯設備図(改修前後)	1/100	M-06	撤去平面図(衛生)	1/100
特記-06	解体工事特記仕様書		A-18	改修後床伏図(本館)	1/100	A-37	壁面積集計表	1/100	E-07	コンセント設備図(改修前後)	1/100	M-07	浄化槽設備図(1)	1/50
			A-19	改修建具案内図 1(本館)	1/100	A-38	厨房・機械室棟外構図	1/100				M-08	浄化槽設備図(2)	1/50
A-01	附近見取り図、配置図、仮囲い図、外構図	1/200	A-20	改修建具案内図 2(本館)	1/100	A-39	既存木造部現況図(解体)	1/30 1/100				M-09	浄化槽設備図(3)	1/50
A-02	改修前後仕上表 1	—	A-21	改修建具表 1(本館)	1/50							M-10	浄化槽設備図(4)	1/50
A-03	改修前後仕上表 2	—	A-22	改修建具表 2(本館)	1/50	G-01	屋根伏せ図(現況)(外壁調査結果図)	1/100				M-11	浄化槽設備図(5)	1/50
A-04	改修前平面図(現況)	1/100	A-23	改修建具表 3(本館)	1/50	G-02	立面図(外壁調査結果図)	1/100				M-12	中継槽設備図(1)	1/40
A-05	改修後平面図	1/100	A-24	改修建具表 4. 天井伏せ図(現況)(厨房・機械室棟)	1/100	G-03	断面図(外壁調査結果図)	1/100				M-13	中継槽設備図(2)	1/40
A-06	改修前屋根伏せ図(現況)	1/100	A-25	建具改修詳細図	1/2	G-04	厨房・機械室棟 平面・立面図(外壁調査結果図)	1/100				M-14	中継槽設備図(3)	1/40
A-07	改修後屋根伏せ図(防水改修)	1/100	A-26	玄関庇改修図	1/30	G-05	外壁調査数量表	—				M-15	中継槽設備図(4)	1/40
A-08	改修前立面図(本館)	1/100	A-27	詳細図 1(現況)	1/50							M-16	改修後1階平面図(機械棟)	1/100
A-09	改修後立面図(本館)	1/100	A-28	展開図 1(現況)	1/50							M-17	改修前1階平面図(機械棟)	1/100
A-10	改修前断面図(本館)	1/100	A-29	厨房等解体・改修平面図	1/30									
A-11	改修後断面図(本館)	1/100	A-30	厨房改修前後床・天井伏図	1/50									

令和 7 年 3 月

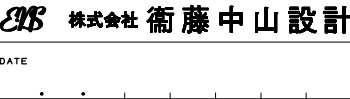
株式会社 衛藤中山設計

建築改修工事特記仕様書・	章 項 目	特 記 事 項	1 各章共通事項																																																																
<p>① 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）により、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。</p> <p>② 改修標準仕様書及び標準仕様書のうち必要として特記する事項と、その他必要として特記する事項を特記事項とする。</p> <p>③ 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) ☐印は「国等による環境物品等の調達推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特記調達品目を示す。 グリーン購入法による調達推進品目は「鹿児島県環境物品等調達方針」の環境物品等調達推進品目一覧表及び別表1（鹿児島県のホームページからダウンロード可能）による。</p> <p>④ 一括払 工事完成後一括払とする。</p> <p>⑤ 火災保険 契約締結後速やかに火災保険に加入し、保険期間は工期後21日とする。</p> <p>10. 県産資材の優先使用 (1) 工事に使用する資材については、県内で産出、生産又は製造されたもの（以下、「県産資材」という。）の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。 (2) 以下に記載する「指定主要資材」の中で県産資材を使用しない場合は、「県産資材等不使用状況報告書」を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。 【指定主要資材（7品目）【生コン(レディミクストコンクリート) コンクリート二次製品 石材類 アスファルト合材 木材 樹木 芝】】 (3) 前項の「県産資材等不使用状況報告書」において、第1項の資材業者等から調達しない場合は、その理由を記載すること。 (4) 工事完成時及び監督職員から指示された場合、「建設資材使用実績報告書」を監督職員に提出すること。</p> <p>① 下請工事における管内（県内）建設業者の優先活用 (1) 工事の一部を下請に付する場合は（ ）管内に主たる営業所を有する者を活用するよう努めることとする。 (2) 前項で定めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書の提出と併せて「下請工事における管内建設業者等不活用状況報告書」を監督職員に提出すること。 (3) 工事完成時及び監督職員から指示された場合、「下請業者使用実績報告書」を監督職員に提出すること。</p> <p>② 配置技術者等の途中交代 (1) 配置技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病、退職等、真にやむを得ない場合のほか、下記に該当する場合である。 ① 受注者の責務によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合。 ② 工場製作を含む工事であって、工場から現場へ工事の現場が移行する時点。 ③ 大規模な工事であるが工期が多年に及ぶ場合。 (2) 上記(1)のいずれの場合であっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。</p> <p>③ 電子納品 (1) 本工事は、電子納品対象工事であり、電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子納品とは、「鹿児島県電子納品ガイドライン（令和2年3月）」（以下「ガイドライン」という。）に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。 (2) ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体(CD-R)で正本1部、副本2部の計3部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱いとす。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。 (3) 電子成果品を提出する際は、鹿児島県の公開する電子納品チェックソフトによるチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウィルス対策を実施した上で提出すること。</p> <p>④ CAD図面データの貸与について 本工事に関するCAD図面データの貸与を希望する場合は、「CAD図面データ借用に係る誓約書」を県に提出すること。なお貸与したCAD図面データは、本工事の履行に必要な施工図及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。また、当該CAD図面データは、完成図提出時まで、受注者において履行期限期間中に複製又は再配布しているものを全て消去すること。その他、誓約書の記載事項を遵守すること。</p> <p>⑤ 暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置 志布志市が発注する建設工事等（以下「市工事等」という。）において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害（以下、「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を速滞なく市（発注者）及び警察に通報すること。市工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、市（発注者）と協議を行うこと。</p> <p>⑥ ダンプトラック等による過積載等の防止について (1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。 (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 (3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。 (4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。 (5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下、「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 (6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故が発生させたものを排除すること。 (7) (1)から(6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。</p> <p>⑦ 施工体制台帳の作成等について 本工事の受注者は、建設工事の一部を下請けに付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に搬入置くとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。</p> <p>⑧ 施工体系図の作成等について 本工事の受注者は、工事を施工するために、建設工事の一部又は以下のアからエの業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公共の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事又は業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し、提出すること。 ア 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務 イ 土砂やコンクリート等の運搬のみを行う業務 ウ 工事現場の整備（交通誘導を含む）を行う業務 エ その他監督職員が記載を指示した業務等</p>	<p>① 適用基準等 ※ 適用を受ける関係法令等を遵守すること （参考） ・建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 最新版） ・建築工事安全施工技術指針（官庁営繕部） ・建設工事公衆災害防止対策要綱（建設工事編）（官庁営繕部） ・建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月30日国交省通知122号等） ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法） ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法） ・大気汚染防止法の一部を改正する法律（令和2年6月5日法律第39号）</p> <p>② 工事実績情報の登録 ※適用する（※工事請負金額 500万円以上 （ ）） [1.1.4]</p> <p>③ 品質計画 ・施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算 ※基準風速 (Vo) (38) m/s ※地表面粗度区分（Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ） 適用工種 ・A L Cパネル(外壁、屋根) ・押出成形セメント板(外壁) ・外壁石乾(乾式) ・外装材(外断熱工法) ・長尺金属板葺 ・折板葺 ・アルミ笠木 ・ガラスブロック ・シート防水(機械式) ・屋上緑化システム（ ）</p> <p>④ 電気保安技術者 工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ・要 ・不要</p> <p>⑤ 施工条件 改修標準仕様書 [1.3.5] 以外の施工条件 ※現場説明書による ・図示 [1.3.5]</p> <p>⑥ 発生材の処理 ・発注者に引渡しを要するもの（・金属類 ・PCB含有物 （ ）） 引渡し場所 ※構内（ ） 再生資源化を図るもの又は廃棄するもの ・有 ・無</p> <table border="1"><thead><tr><th>分 類</th><th>受入れ施設名</th><th>所 在 地</th><th>搬出距離(km)</th></tr></thead><tbody><tr><td>○コンクリート塊</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○アスファルト・コンクリート塊</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・建設発生木材</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>上記に示す受入れ施設は参考であり、実施に当たっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする。なお、処分場の決定に当たっては監督職員と協議する。 ※建設廃棄物処理計画書の作成 ※再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の作成</p> <p>⑦ 材料の品質等 [1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、J I Sマーク及びJ A Sマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は、外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 (1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること (2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制を整えていること なお、商品名等が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品以上のものを使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。</p> <p>⑧ 環境への配慮 本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するとともに、次の(1)から4)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生量が極めて少ない材料で、設計書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 2)接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 3)接着剤は可塑性(フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 4) 1)の材料として作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生量が極めて少ない材料を使用したものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。</p> <p>・規制対象外 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>・第三種品 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ②建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>・アスベスト含有建材 本工事に使用する材料については、アスベストを含有しないものとする。</p> <p>⑨ 特別な材料の工法 改修標準仕様書及び、標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。</p> <p>⑩ 一級技能士 [1.6.2] 下記により適用する技能士については、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をする とともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う</p>	分 類	受入れ施設名	所 在 地	搬出距離(km)	○コンクリート塊				○アスファルト・コンクリート塊				・建設発生木材				・				<table border="1"><thead><tr><th>11 室内空気中の化学物質の濃度測定</th><td>着工前及び施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン（学校施設については、パラジクロロベンゼンを加えた6物質）の濃度を測定し、監督職員に提出すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定 ・行う 測定対象室 ・図示 ・（ ） 測定箇所数 ・図示 ・（ ） 結果が良好でなかった場合には、監督職員と協議し対策を行うこと。</td></tr><tr><th>⑫ 完成図等</th><td>完成図 ※作成する（完成図の種類 ※全ての設計図 ・（ ）） [1.8.2] 完成図の様式等 [表1.8.1] A 3縮小二つ折り製本 ※3部 ・（ ）部 A 1二つ折り製本 ※1部 ・（ ）部 完成図のCADデータ CD-R ※3枚 ・（ ）枚 ・作成しない 保全に関する資料 ・作成する（提出部数 ※1部 ・（ ）部） [表1.8.3] ※作成しない</td></tr><tr><th>⑬ 完成写真等</th><td>撮影箇所及び方法については、「工事写真撮影ガイドブック（平成30年版）」による 下記のものも監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。</td></tr><tr><td>区 分</td><td>分 類</td><td>規 格</td><td>部 数</td><td>備 考</td></tr><tr><td>着工前</td><td>※デジタルカメラ ・カメラ</td><td>全景：キャビネサイズ 部分：サービスサイズ</td><td>※1部 ・（ ）部</td><td></td></tr><tr><td>工事中 （検査状況）</td><td>※デジタルカメラ ・カメラ</td><td>カラーサービスサイズ</td><td>※1部 ・（ ）部</td><td></td></tr><tr><td>完成時 （出来形時）</td><td>※デジタルカメラ ・カメラ</td><td>全景：キャビネサイズ 部分：サービスサイズ</td><td>※3部 ・（ ）部</td><td>外観4面/棟 内部全状況</td></tr><tr><td>実施調査用</td><td>※デジタルカメラ ・カメラ</td><td>カラーサービスサイズ</td><td>※2部</td><td>外観4面/棟</td></tr><tr><td>電子データ</td><td>・完成時写真 ・工事中写真 ・着工前写真</td><td></td><td></td><td></td></tr></thead></table> <p>100×125以上の原板を使う場合には、監督職員にあらかじめ焼き提出し確認を受ける。 電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-ROMにて提出する。 外壁改修工事の施工状況は、工法毎に各面（東、西、南、北、階段室、屋上塔屋等）2箇所程度とし、完成は各面・工法毎に全面所撮影する。 各工法の施工状況（施工中の写真は、同じ番号で工事写真を撮影のこと。）</p> <table border="1"><thead><tr><th>改修工法の種類</th><th>撮影する施工状況</th></tr></thead><tbody><tr><td>ひび割れ部改修工法</td><td>・マーキング ・下地処理 ・注入孔墨出し ・産金取付 ・シール ・シリランダー取付状況 ・注入状況 ・仕上状況</td></tr><tr><td>欠損部改修工法</td><td>・マーキング ・はつり ・清掃 ・鉄筋の錆落とし ・防錆材塗布 ・ステンレスピン打 ・ポリマーセメントモルタル充填 ・仕上げ厚又は全厚が厚い場合の施工状況</td></tr><tr><td>浮き部改修工法</td><td>・マーキング ・穴あけ（ドリル使用） ・清掃 ・エポキシ樹脂注入 ・ステンレスピン注入 ・エポキシ樹脂注入後の浮き確認 ・表面処理</td></tr></tbody></table> <p>完成写真の撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影者 ・監督職員の承諾する撮影業者</p> <p>⑭ 設備工事との取合い 設備機器の設置、取合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>⑮ 設計GL ※図示 ・設計GL=現状GL</p> <p>⑯ 既存部分等への措置 工事施工に際し、既存部分を汚染又は損傷した場合は監督職員に報告するとともに承認を受けて現状に準じて補修する。</p> <p>⑰ 騒音振動の防止 低騒音型、低振動型建設機械指定要項に基づき指定された建設機械を使用する。 適用工事（土、地盤、コンクリート、舗装、舗装、取りこわし等）</p> <p>⑱ 部分使用 この工事については部分使用は ○有（ ） ・無</p> <p>⑲ 一部完成 この工事については一部完成は ・有（図示 ） ○無</p> <p>⑳ 中間検査 この工事については、中間検査を ○行う 足場が必要な箇所のみ ・行わない 行う場合は、工事の進捗率が概ね50%に達した時期又は、躯体工事中（とりこわし工事完了時、配筋又は鉄骨建方完了時）及び内装工事等施工途中を検査の目安とし、工事受注者は検査の希望日を監督職員と協議の上、発注者に申し出ること。</p>	11 室内空気中の化学物質の濃度測定	着工前及び施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン（学校施設については、パラジクロロベンゼンを加えた6物質）の濃度を測定し、監督職員に提出すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定 ・行う 測定対象室 ・図示 ・（ ） 測定箇所数 ・図示 ・（ ） 結果が良好でなかった場合には、監督職員と協議し対策を行うこと。	⑫ 完成図等	完成図 ※作成する（完成図の種類 ※全ての設計図 ・（ ）） [1.8.2] 完成図の様式等 [表1.8.1] A 3縮小二つ折り製本 ※3部 ・（ ）部 A 1二つ折り製本 ※1部 ・（ ）部 完成図のCADデータ CD-R ※3枚 ・（ ）枚 ・作成しない 保全に関する資料 ・作成する（提出部数 ※1部 ・（ ）部） [表1.8.3] ※作成しない	⑬ 完成写真等	撮影箇所及び方法については、「工事写真撮影ガイドブック（平成30年版）」による 下記のものも監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。	区 分	分 類	規 格	部 数	備 考	着工前	※デジタルカメラ ・カメラ	全景：キャビネサイズ 部分：サービスサイズ	※1部 ・（ ）部		工事中 （検査状況）	※デジタルカメラ ・カメラ	カラーサービスサイズ	※1部 ・（ ）部		完成時 （出来形時）	※デジタルカメラ ・カメラ	全景：キャビネサイズ 部分：サービスサイズ	※3部 ・（ ）部	外観4面/棟 内部全状況	実施調査用	※デジタルカメラ ・カメラ	カラーサービスサイズ	※2部	外観4面/棟	電子データ	・完成時写真 ・工事中写真 ・着工前写真				改修工法の種類	撮影する施工状況	ひび割れ部改修工法	・マーキング ・下地処理 ・注入孔墨出し ・産金取付 ・シール ・シリランダー取付状況 ・注入状況 ・仕上状況	欠損部改修工法	・マーキング ・はつり ・清掃 ・鉄筋の錆落とし ・防錆材塗布 ・ステンレスピン打 ・ポリマーセメントモルタル充填 ・仕上げ厚又は全厚が厚い場合の施工状況	浮き部改修工法	・マーキング ・穴あけ（ドリル使用） ・清掃 ・エポキシ樹脂注入 ・ステンレスピン注入 ・エポキシ樹脂注入後の浮き確認 ・表面処理	<p>21 防塵・防蟻処理 この工事については、(公社)日本しろあり対策協会（以下、「協会」という。）発行「防除施工標準仕様書」（以下、「防除」という。）による。 この項目に記載の（防 ）内表示番号は、防除の当該項目を示す。 ※使用薬剤は、協会認定薬剤のうち、非有機リン系薬剤とする。 ※工事施工者は、原則として協会登録施工業者とする。 ※土壌処理 処理の適用分 ※行う ・行わない [防1.2] 処理の方法 ※帯状散布法、面状散布法の一つ又はその組み合わせによって行う。 [防1.3.(1)] ・木材処理 処理の適用分 ※行う ・行わない [防1.2] 処理の方法 ※吹付け処理法、塗布処理法の一つ又はその組み合わせによって行う。 [防1.3.(2)] ※処理の箇所 ・木造の場合 ※1.4.(2)①～⑥及び⑧に規定する箇所 ・陸梁、合掌、小屋梁、間仕切、桁、火打梁などと敷桁又は軒桁との仕口面 ・2階梁、火打梁と隅差との仕口面 ・木造以外の場合 ※1.4.(2)⑦に規定する箇所 ・2以上の階の床面より1m以内にある木部でコンクリート、石、レンガに接する面 ※保証書及び期間 白蟻防除工事について、下記事項を記載した5年保証書を提供すること。なお、保証書については元請業者と白蟻防除工事施工業者と連帯とする。 (7)工事名称 (4)建物の所在地 (4)建物の構造・用途・面積 (2)白蟻防除工事の施工面積 (4)防除処理 別並びに使用薬剤名、製造者名、施工年月日 (4)登録施工業者会員名簿 (4)施行した防除士の氏名及び登録番号・取得年月日・登録年月日 (4)保証期間 ※工事施工に当たり、協会発行「しろあり防除施工における安全管理基準」を遵守すること。</p>
分 類	受入れ施設名	所 在 地	搬出距離(km)																																																																
○コンクリート塊																																																																			
○アスファルト・コンクリート塊																																																																			
・建設発生木材																																																																			
・																																																																			
11 室内空気中の化学物質の濃度測定	着工前及び施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン（学校施設については、パラジクロロベンゼンを加えた6物質）の濃度を測定し、監督職員に提出すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定 ・行う 測定対象室 ・図示 ・（ ） 測定箇所数 ・図示 ・（ ） 結果が良好でなかった場合には、監督職員と協議し対策を行うこと。																																																																		
⑫ 完成図等	完成図 ※作成する（完成図の種類 ※全ての設計図 ・（ ）） [1.8.2] 完成図の様式等 [表1.8.1] A 3縮小二つ折り製本 ※3部 ・（ ）部 A 1二つ折り製本 ※1部 ・（ ）部 完成図のCADデータ CD-R ※3枚 ・（ ）枚 ・作成しない 保全に関する資料 ・作成する（提出部数 ※1部 ・（ ）部） [表1.8.3] ※作成しない																																																																		
⑬ 完成写真等	撮影箇所及び方法については、「工事写真撮影ガイドブック（平成30年版）」による 下記のものも監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。																																																																		
区 分	分 類	規 格	部 数	備 考																																																															
着工前	※デジタルカメラ ・カメラ	全景：キャビネサイズ 部分：サービスサイズ	※1部 ・（ ）部																																																																
工事中 （検査状況）	※デジタルカメラ ・カメラ	カラーサービスサイズ	※1部 ・（ ）部																																																																
完成時 （出来形時）	※デジタルカメラ ・カメラ	全景：キャビネサイズ 部分：サービスサイズ	※3部 ・（ ）部	外観4面/棟 内部全状況																																																															
実施調査用	※デジタルカメラ ・カメラ	カラーサービスサイズ	※2部	外観4面/棟																																																															
電子データ	・完成時写真 ・工事中写真 ・着工前写真																																																																		
改修工法の種類	撮影する施工状況																																																																		
ひび割れ部改修工法	・マーキング ・下地処理 ・注入孔墨出し ・産金取付 ・シール ・シリランダー取付状況 ・注入状況 ・仕上状況																																																																		
欠損部改修工法	・マーキング ・はつり ・清掃 ・鉄筋の錆落とし ・防錆材塗布 ・ステンレスピン打 ・ポリマーセメントモルタル充填 ・仕上げ厚又は全厚が厚い場合の施工状況																																																																		
浮き部改修工法	・マーキング ・穴あけ（ドリル使用） ・清掃 ・エポキシ樹脂注入 ・ステンレスピン注入 ・エポキシ樹脂注入後の浮き確認 ・表面処理																																																																		

2 仮設工事	① 足場その他	<p>外部足場 ・設置する (設置範囲 工事に必要な範囲・) (2.2.1) [表 2.2.1]</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>外部足場等</th></tr> <tr><td>※A種</td><td>施工箇所面に枠組足場を設ける</td></tr> <tr><td>・B種</td><td>施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける</td></tr> <tr><td>・C種</td><td>施工箇所面に単管本足場を設ける</td></tr> <tr><td>・D種</td><td>仮設ゴンドラを使用する</td></tr> <tr><td>・E種</td><td>移動式足場を使用する</td></tr> </table> <p>防護シートによる養生 ・設置する (設置範囲 工事に必要な範囲・)</p> <p>内部足場 ※脚立・足場板等</p> <p>材料、撤去材等の運搬方法</p> <table border="1"> <tr><td>・A種</td><td>・B種</td><td>・C種</td><td>・D種</td><td>・E種</td></tr> </table>	種類	外部足場等	※A種	施工箇所面に枠組足場を設ける	・B種	施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける	・C種	施工箇所面に単管本足場を設ける	・D種	仮設ゴンドラを使用する	・E種	移動式足場を使用する	・A種	・B種	・C種	・D種	・E種	4 防水改修工事	① 共通事項	<p>施工標準 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける</p> <p>改修用ドレン (POAS、POAS1、POD、POD1、POS、POS1、POXの場合)</p> <p>取付方法等は、ルーフィング類製造所の仕様による</p> <p>※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による ()</p>	5 外壁改修工事	12 保証書及び期間	<p>新規防水施工箇所については10年保証を提出すること。なお、保証書は元請業者と施工業者の連帯とする。(シーリングを除く)</p> <p>※定期点検の実地 2.4.、6.8.9年目に定期点検実施し報告書を提出する事</p>																																						
	種類	外部足場等																																																													
	※A種	施工箇所面に枠組足場を設ける																																																													
	・B種	施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける																																																													
・C種	施工箇所面に単管本足場を設ける																																																														
・D種	仮設ゴンドラを使用する																																																														
・E種	移動式足場を使用する																																																														
・A種	・B種	・C種	・D種	・E種																																																											
② 既存部分の養生	<p>既存部分の養生 ・行う ・行わない [2.3.1]</p> <p>養生方法 ※ビニルシート、合板等による ()</p> <p>既存部分の特別養生 ・行う [2.3.1]</p> <p>設置範囲及び養生方法 ※図示 ()</p> <p>既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート、合板等による () [2.3.1]</p> <p>開口部の養生 ・行う ・行わない</p> <p>養生方法 ・合板張りによる ()</p> <p>・設置範囲 ※図示 ()</p> <p>固定された備品、机、ロッカー等の移動 ※行わない ・行う (図示) [2.3.1]</p>	② 降雨等に対する養生方法(とい共)	<p>既存保護層の撤去 ・行う (範囲 図示 ()) ○行わない</p> <p>既存防水層の撤去 ・行う (範囲 図示 ()) ○行わない</p> <p>既存露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う (・MAAS・MAAS1・MAC・MADI・L4X) ・行わない</p>	③ 既存防水の処理	<p>既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 () [3.2.3.4.6]</p> <p>POS工法及びPOS1工法 (機械式固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理</p> <p>・補修</p> <p>※改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(a)①～③による。</p> <p>設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ廻り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理</p> <p>・図示 ※監督職員と協議する</p>	④ 既存下地の処理	<p>⑧ 塗膜防水 [3.6.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日反射率防水の適用G</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> <tr> <td>・POX</td> <td>※X-1 ・X-2</td> <td>・</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td>・</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>OL4X</td> <td>・X-1 ※X-2</td> <td>・</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td>・</td> <td>脱気装置 ・設ける ○設けない 特殊補強材併用とする。</td> </tr> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>種類・ ※主材料製作所の仕様による</p> <p>設置個数・ 個 ※主材料製作所の仕様による</p> <p>屋上 高圧洗浄の上 トップコート仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・PIY</td> <td>※Y-1</td> <td>・</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td>・設ける</td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td>※Y-2</td> <td>・</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td>・設けない</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・設けない</td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日反射率防水の適用G	備考	種類	使用量	・POX	※X-1 ・X-2	・	※製造所の仕様による	※製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	OL4X	・X-1 ※X-2	・	※製造所の仕様による	※製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ○設けない 特殊補強材併用とする。	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考	・PIY	※Y-1	・	※製造所の仕様による	・設ける	・P2Y	※Y-2	・	※製造所の仕様による	・設けない	・	・	・	・	・設けない													
工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日反射率防水の適用G	備考																																																									
			種類	使用量																																																											
・POX	※X-1 ・X-2	・	※製造所の仕様による	※製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																									
OL4X	・X-1 ※X-2	・	※製造所の仕様による	※製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ○設けない 特殊補強材併用とする。																																																									
工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考																																																											
・PIY	※Y-1	・	※製造所の仕様による	・設ける																																																											
・P2Y	※Y-2	・	※製造所の仕様による	・設けない																																																											
・	・	・	・	・設けない																																																											
③ 仮設間仕切り	<p>仮設間仕切り等の種類 [2.3.2] [表2.3.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>・セッコボード厚9.5両面張り グラスウール充填厚さ() ・合板厚9両面張り グラスウール充填厚さ()</td> <td>・片面塗装</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>・セッコボード厚9.5片面張り ・合板厚9片面張り ・セッコボード厚9.5 (内部面) + 合板厚9 (外部面)</td> <td>・片面塗装</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>※シート張り</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・仮設扉</td> <td>※合板張り木製扉 程度</td> <td>・</td> </tr> </table>	種別	材質	仕上げ	・A種	・セッコボード厚9.5両面張り グラスウール充填厚さ() ・合板厚9両面張り グラスウール充填厚さ()	・片面塗装	※B種	・セッコボード厚9.5片面張り ・合板厚9片面張り ・セッコボード厚9.5 (内部面) + 合板厚9 (外部面)	・片面塗装	・C種	※シート張り	—	・仮設扉	※合板張り木製扉 程度	・	⑧ シーリング	<p>⑨ シーリング [3.1.4] [3.7.2~8]</p> <p>シーリング改修工法の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・幅幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 <p>エッジング材張り ・適用する ・適用しない</p> <p>シーリング材の種類、施工箇所</p> <p>下表以外は、改修標準仕様書3.7.11による</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> <tr> <td>金属製建具周り、壁面見切り部分、打ち継ぎ目地等</td> <td>標準仕様書による</td> </tr> </table> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(a)(1)～(3)による</p> <p>・</p> <p>シーリング材の接着性試験 [3.7.8]</p> <p>※簡易接着性試験 ・引張接着性試験</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材種</th> <th>径</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">たてどい</td> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・配管用銅管</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼管</td> <td></td> <td></td> <td>SUS304、厚2</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>軒どい</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ルーフトレン</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材種</th> <th>張掛け幅</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用 (・縦型 ・横型)</td> <td>・</td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td>・</td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td>・</td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> </table> <p>とい受金物</p> <p>材種 ・鋼製 (亜鉛めっき) ※ステンレス製</p> <p>形状 ・ ※市販品 (とい径100以下)</p> <p>※25×4.5以上 (とい径100を超えるもの)</p> <p>取付間隔 ・</p> <p>足金物</p> <p>材種 ・鋼製 (亜鉛めっき) ※ステンレス製</p> <p>形状 ・ ※市販品</p> <p>取付間隔 ・</p> <p>ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 ()</p> <p>銅管製といの防露巻き ※改修標準仕様書 表3.8.4による</p> <p>たてどい金物の取付け ※図示</p> <p>ルーフトレンの取付け</p> <p>・</p> <p>※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する</p>	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)	金属製建具周り、壁面見切り部分、打ち継ぎ目地等	標準仕様書による	種別	材種	径	施工箇所	備考	たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管				・配管用銅管				・ステンレス鋼管			SUS304、厚2	・硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)				軒どい	・				種別	材種	張掛け幅	・ろく屋根用 (・縦型 ・横型)	・	・100mm以上 ・50mm以上	・バルコニー用	・	・100mm以上 ・50mm以上	・バルコニー中継用	・	・100mm以上 ・50mm以上	⑥ 既製調合モルタル	<p>モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <p>(品質・性能・試験方法)</p> <p>建築材料等品質性能表による</p>
種別	材質	仕上げ																																																													
・A種	・セッコボード厚9.5両面張り グラスウール充填厚さ() ・合板厚9両面張り グラスウール充填厚さ()	・片面塗装																																																													
※B種	・セッコボード厚9.5片面張り ・合板厚9片面張り ・セッコボード厚9.5 (内部面) + 合板厚9 (外部面)	・片面塗装																																																													
・C種	※シート張り	—																																																													
・仮設扉	※合板張り木製扉 程度	・																																																													
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																														
金属製建具周り、壁面見切り部分、打ち継ぎ目地等	標準仕様書による																																																														
種別	材種	径	施工箇所	備考																																																											
たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管																																																														
	・配管用銅管																																																														
	・ステンレス鋼管			SUS304、厚2																																																											
	・硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)																																																														
軒どい	・																																																														
種別	材種	張掛け幅																																																													
・ろく屋根用 (・縦型 ・横型)	・	・100mm以上 ・50mm以上																																																													
・バルコニー用	・	・100mm以上 ・50mm以上																																																													
・バルコニー中継用	・	・100mm以上 ・50mm以上																																																													
④ 監督員事務所	<p>○設ける ・設ける (既存建築物の一部を使用する) ・設けない</p> <p>面積規模 (・10㎡・20㎡・35㎡・65㎡・100㎡・()㎡)程度</p> <p>仕上げの程度、設置する設備、備品等の種類及び数量は現場説明書による。</p>	⑥ 塗膜防水	<p>⑥ 塗膜防水 [3.6.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・PIY</td> <td>※Y-1</td> <td>・</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td>・設ける</td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td>※Y-2</td> <td>・</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td>・設けない</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・設けない</td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考	・PIY	※Y-1	・	※製造所の仕様による	・設ける	・P2Y	※Y-2	・	※製造所の仕様による	・設けない	・	・	・	・	・設けない	⑦ 施工数量調査票	<p>調査項目 ○外壁改修 ○防水改修 ○内装改修 ()</p> <p>調査範囲 ※図示 ()</p> <p>調査方法 ※打診及び目視による ()</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 ()</p> <p>調査内容</p> <p>外壁調査は工事に先立ち全外壁面のひび割れ、浮き、欠損部の位置及び数量 (幅、長さ、面積)の調査を行う。報告書は、結果を立面図等に記載し監督職員に提出する。(必要に応じ写真等を添付する。)</p> <p>調査報告書の部数 ※2部 ()部</p>																																						
工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考																																																											
・PIY	※Y-1	・	※製造所の仕様による	・設ける																																																											
・P2Y	※Y-2	・	※製造所の仕様による	・設けない																																																											
・	・	・	・	・設けない																																																											

・目荒らし工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）

<p>5-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁</p>	<p>③ 爆裂・欠損部改修工事</p> <p>・充填工法 材料 ・エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 ・現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)</p> <p>・既調合材料 既製目地材 ・使用する(形状 ・図示 ・) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・</p>	<p>5-3</p> <p>5-3 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁</p>	<p>④ 浮き部改修工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーの本数 (本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m²)</th> <th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※ 16</td> <td>※ 25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※ 25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※ 13</td> <td>※ 20</td> <td>※ 12</td> <td>※ 20</td> <td>※ 25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※ 13</td> <td>※ 20</td> <td>※ 12</td> <td>※ 20</td> <td>※ 50</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※ 25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>※ 25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>※ 9</td> <td>※ 16</td> <td>※ 50</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>充填工法 材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 ・現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)</p> <p>・既調合材料 既製目地材 ・使用する(形状 ・図示 ・) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・ ※湿式二軸低騒音ドリル多層空隙注入とする (FST工法)</p>	工法の種類	アンカーの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	○アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25	—	—	※ 25	・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 25	・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 50	・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	—	—	※ 25	・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 50	・充填工法	—	—	—	—	—	・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	<p>④ 目地改修工法</p> <p>6 タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状/寸法 (mm)</th> <th colspan="2">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材の 適用</th> <th rowspan="2">耐凍害性 適用</th> <th rowspan="2">耐滑 り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I 類</th> <th>II 類</th> <th>III 類</th> <th>施ゆう</th> <th>無ゆう</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ○行わない 見本焼き ・行う ○行わない</p>	施工箇所	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分		うわぐすり		役物		色		再生材の 適用	耐凍害性 適用	耐滑 り性	備考	I 類	II 類	III 類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注			・	・	・	・	・	・	・	・							・	・	・	・	・	・	・	・							・	・	・	・	・	・	・	・							・	・	・	・	・	・	・	・					<p>5-4 外壁改修工事 現場試験</p> <p>① 浮き部改修工法におけるエポキシ樹脂注入後の接着強度の試験</p> <p>※行う ・行わない</p> <p>1. 試験方法 ① 試験箇所は、監督職員の指示により1棟につき1箇所以上かつ合計で3箇所以上選出し引張試験を行う。 ② 注入後7日間以上たつてから、モルタル約40mm角又は内径48mmに躯体(コンクリート)に達するまでコンクリートカッター又はコアカッターで切断し、その面に引張治具(アタッチメント)を接着し、国土交通省建築研究方式簡易引張り試験機又は日本建築士学会試験機により引張試験を行う。</p> <p>2. 確認事項 引張強度試験終了後、次のいずれかであることを確認する。又、試験終了後、試験体の切断が躯体に達するまで行われていたかをはかって確認する。なお、異常が認められた場合は監督職員へ報告し、その指示を受ける。 a コンクリート破壊 b モルタル破壊 c 引張り強度 ①アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法の場合 ②注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法の場合 1. 2N/mm² [12. 2kgf/cm²] 以上 ③アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法のエポキシ樹脂注入の箇所 ④注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法のエポキシ樹脂注入の箇所 0. 6N/mm² [6. 1kgf/cm²] 以上 ⑤アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法の併用エポキシ樹脂注入の箇所 1. 2N/mm² [12. 2kgf/cm²] 以上</p> <p>② 浮き部改修工法におけるポリマーセメントスラリー注入後の接着強度の試験</p> <p>※行う ○行わない</p> <p>1. 試験方法 ① 注入箇所を養生完了後、打診ハンマーを用いて打診する。 ② 上記診断状況により、4-4章1項による国土交通省建築研究方式簡易引張試験機又は日本建築士学会試験機により接着力試験を行う。試験箇所は、監督職員の指示により、1棟につき1箇所以上選びだす。 (1箇所につき3点の試験を行い、その平均値を接着強度とする。)</p> <p>2. 確認事項 ① 注入が良好な状態で行われているかを確認する。 ② 接着強度は1. 0N/mm² [10. 2kgf/cm²] 以上とする。</p>	<p>① 所要量の確認</p> <p>② 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地の補修</th> <th>加圧力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・30% ・50%</td> <td>・行う</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・ ()</td> <td>・行う</td> <td>・30~100Mpa程度 ・100~250Mpa程度</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・ ()</td> <td>・行う</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○水洗い工法</td> <td>※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・ ()</td> <td>○行う</td> <td>・10~30Mpa程度</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 下地調整材</p> <p>※下地調整塗材 (OC-1 ・ C-2 ・ CM-2) ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>④ 仕上げ塗材仕上げ</p> <p>建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 新規仕上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工 法</th> <th>吸放湿性</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装薄塗材 S i</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・可とう形 外装薄塗材 S i</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td>・さざ波状</td> <td>・吹付け</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・可とう形 外装薄塗材 E</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・平たん状</td> <td>・こて</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・凸凹状</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・さざ波状</td> <td>・吹付け</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・着色骨材 ・砂壁状</td> <td>・こて</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・砂壁状</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・じゅらく</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・京壁状</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・じゅらく</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水型外装薄塗材 E</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・さざ波状</td> <td>・ローラー</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・凸凹状</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・厚付け仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工 法</th> <th>吸放湿性</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装厚塗材 C</td> <td>・吹放し</td> <td>・吹付け</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 S i</td> <td>・凸部処理</td> <td>・ローラー</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 E</td> <td>・平たん状</td> <td>・こて</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・凹凸状</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ひき起し</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	工 法	処理範囲	下地の補修	加圧力	・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・30% ・50%	・行う		・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・ ()	・行う	・30~100Mpa程度 ・100~250Mpa程度	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・ ()	・行う		○水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・ ()	○行う	・10~30Mpa程度	呼び名	仕上げの形状	工 法	吸放湿性	防火材料	・外装薄塗材 S i	・砂壁状	・吹付け	・	・	・可とう形 外装薄塗材 S i	・ゆず肌状	・ローラー	・	・	・外装薄塗材 E	・さざ波状	・吹付け	・	・	・可とう形 外装薄塗材 E	・ゆず肌状	・ローラー	・	・		・平たん状	・こて	・	・		・凸凹状	・	・	・		・さざ波状	・吹付け	・	・		・着色骨材 ・砂壁状	・こて	・	・		・砂壁状	・	・	・		・じゅらく	・	・	・		・京壁状	・	・	・		・じゅらく	・	・	・	・防水型外装薄塗材 E	・ゆず肌状	・吹付け	・	・		・さざ波状	・ローラー	・	・		・凸凹状	・	・	・	・外装薄塗材 S	・砂壁状	・吹付け	・	・	呼び名	仕上げの形状	工 法	吸放湿性	防火材料	・外装厚塗材 C	・吹放し	・吹付け	・	・	・外装厚塗材 S i	・凸部処理	・ローラー	・	・	・外装厚塗材 E	・平たん状	・こて	・	・		・凹凸状	・	・	・		・ひき起し	・	・	・
工法の種類	アンカーの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		注入量 (ml/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25	—	—	※ 25																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 25																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 50																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	—	—	※ 25																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 50																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・充填工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分		うわぐすり		役物		色		再生材の 適用	耐凍害性 適用	耐滑 り性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																									
		I 類	II 類	III 類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準					特注																																																																																																																																																																																																																																																																								
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																													
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																													
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																													
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																													
工 法	処理範囲	下地の補修	加圧力																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・30% ・50%	・行う																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・ ()	・行う	・30~100Mpa程度 ・100~250Mpa程度																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・ ()	・行う																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・ ()	○行う	・10~30Mpa程度																																																																																																																																																																																																																																																																																			
呼び名	仕上げの形状	工 法	吸放湿性	防火材料																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・外装薄塗材 S i	・砂壁状	・吹付け	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・可とう形 外装薄塗材 S i	・ゆず肌状	・ローラー	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・外装薄塗材 E	・さざ波状	・吹付け	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・可とう形 外装薄塗材 E	・ゆず肌状	・ローラー	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・平たん状	・こて	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・凸凹状	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・さざ波状	・吹付け	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・着色骨材 ・砂壁状	・こて	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・砂壁状	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・じゅらく	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・京壁状	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・じゅらく	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・防水型外装薄塗材 E	・ゆず肌状	・吹付け	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・さざ波状	・ローラー	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・凸凹状	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・外装薄塗材 S	・砂壁状	・吹付け	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
呼び名	仕上げの形状	工 法	吸放湿性	防火材料																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・外装厚塗材 C	・吹放し	・吹付け	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・外装厚塗材 S i	・凸部処理	・ローラー	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・外装厚塗材 E	・平たん状	・こて	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・凹凸状	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・ひき起し	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>5-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁</p>	<p>① 共通事項</p> <p>② ひび割れ部改修工法</p> <p>③ 欠損部改修工法</p>	<p>5-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁</p>	<p>④ 目地改修工法</p> <p>6 タイルの形状、寸法等</p>	<p>④ 目地改修工法</p> <p>④ 目地ひび割れ部改修工法</p> <p>④ 伸縮調整目地改修工法</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示 ・</p> <p>シーリング 改修標準仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>④ 目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.5.16]</p> <p>④ 伸縮調整目地改修工法 [4.2.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状/寸法 (mm)</th> <th colspan="2">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材の 適用</th> <th rowspan="2">耐凍害性 適用</th> <th rowspan="2">耐滑 り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I 類</th> <th>II 類</th> <th>III 類</th> <th>施ゆう</th> <th>無ゆう</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ○行わない 見本焼き ・行う ○行わない</p>	施工箇所	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分		うわぐすり		役物		色		再生材の 適用	耐凍害性 適用	耐滑 り性	備考	I 類	II 類	III 類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注			・	・	・	・	・	・	・	・							・	・	・	・	・	・	・	・							・	・	・	・	・	・	・	・							・	・	・	・	・	・	・	・					<p>5-5 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁</p> <p>① 所要量の確認</p> <p>② 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整</p> <p>③ 下地調整材</p> <p>④ 仕上げ塗材仕上げ</p>	<p>① 所要量の確認</p> <p>② 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整</p> <p>③ 下地調整材</p> <p>④ 仕上げ塗材仕上げ</p>																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分		うわぐすり			役物		色		再生材の 適用	耐凍害性 適用	耐滑 り性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																								
		I 類	II 類	III 類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注																																																																																																																																																																																																																																																																												
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																													
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																													
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																													
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																													



DATE

SCALE

5-5 外壁改修工事 塗り上げ外壁	・複層仕上塗材	呼び名	仕上げの形状	工 法	上塗材の種類	耐水性	防火材料
	・複層塗材 C E ・可とう形 複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・防水形 複層塗材 C E ○防水形 複層塗材 E ・防水形 複層塗材 R E ・防水形 複層塗材 R S	・凸部処理 ・凹凸部 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー	・溶媒 ※水系 ・樹脂 ※アクリル系 ・外観 ※つやあり	耐水性 ※耐候形 3種	・	・
※ 防水形複層塗材E：高弾性7ポリゴム仕様（10年保証）とする。							
・可とう形改修仕上塗材	呼び名	仕上げの形状	工 法	上塗材の種類	耐水性	防火材料	
・可とう形改修塗材 E ・可とう形改修塗材 R E ・可とう形改修塗材 C E	・平坦状 ・さざ波状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー	・溶媒 ※水系 ・樹脂 ※アクリル系 ・外観 ※つやあり	耐水性 ※耐候形 3種	・	・	

6 建具改修工事	① 改修工事	[5. 1. 3]
	2 防火戸	[5. 1. 4]
3 防犯建物部品	[5. 1. 7]	
④ アルミニウム製建具	[5. 2. 2~5] [表5. 2. 2]	
⑤ 網戸等	[5. 2. 3]	
6 樹脂製建具	[5. 2. 2] [5. 3. 2~5]	

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
○アルミニウム製建具	・	○	○ 居宅介護支援事務所
・樹脂製建具	—	○	○ 建具表による
・鋼製建具	・外部 ・内部	・ ・	・ 建具表による ・
・鋼製軽量建具	・	・	・ 建具表による
・ステンレス製建具	・	・	・ 建具表による

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方 ※図示
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示
建具廻りシーリングは改修標準仕様書 3章防水改修工事による

性能等級	外部に面する建具	内部に面する建具
外部に面する建具	・ A種 (建具符号:) ※ B種 (建具符号:) ・ C種 (建具符号:)	・ 建具表による ・ ・
防音ドア、防音サッシ	・ 遮音性の等級 (・ 建具表による) (建具符号:)	・ 建具表による
断熱ドア、断熱サッシ	・ 断熱材の等級 (・ 建具表による) (建具符号:)	・ 建具表による
耐震ドア	・ 面内変形追従性の等級 (・ 建具表による) (建具符号:)	・ 建具表による

枠の見込み寸法 ○建具表による
表面処理の種類
外部に面する建具 ・ AB-1種 ・ AB-2種 ※ BB-1種 ・ BB-2種
皮膚等の種類 (※改修標準仕様書表5. 2. 2による)
屋内の建具 ※ BC-1種 ・ BC-2種
皮膚等の種類 (※改修標準仕様書表5. 2. 2による)
結露水の処理工法 ・ 図示
水切り板、ぜん板 ※建具表による ・ 図示

種 類	材 種	線 径	網 目
○防虫網	・ 合成樹脂製 ※ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	※ 0. 25mm 以上	※ 16~18メッシュ
・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1. 5mm	網目寸法 15mm

性能等級
外部に面する建具 ・ A種 (建具符号:)
・ B種 (建具符号:)
・ C種 (建具符号:)
防音ドア、防音サッシ ・ 遮音性の等級 (・ T-1 ・ T-2)
(建具符号:)
断熱ドア、断熱サッシ [G] ・ 断熱材の等級 (・ H-4 ・ H-5 ・ H-6)
(建具符号: 建具表による)

枠の見込み寸法 ・ 建具表による
表面色 ※標準色 ・ 特注色
水切り板、ぜん板 ※図示
ガラス ※複層ガラス

6 建具改修工事	15 軽量シャッター	[5. 11. 2~4]
	16 オーバーヘッドドア	[5. 12. 2, 3]
① ガラス	[3. 7] [5. 13. 2~4] [表5. 13. 1]	

開閉方式による種類 ※手動式 ・ 上部電動式 (手動併用)
シャッターケース ※設ける ・ 設けない
耐風圧強度 () N/m²
スラットの材質
※ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
めっき付着量 (※Z06又はF06)
※ JIS G 3322 (塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板)
めっき付着量 (※AZ90)
スラットの形状 ※インターロック型形 ・ オーバーラッピング形
ガイドレール・座板の材質 ※ステンレス (SUS304) ・ 溶融亜鉛めっき鋼板
電動式の場合の危害防止機構 ※有 (障害物感知装置自動閉鎖型)
電動式の場合の電源 ※単相100V (過電流保護装置付) ・ ()

セクション材料による区分	耐風圧区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50	※ バランス式による区分 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	※ ステンレス鋼板 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板

障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・ 図示

・ フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類
※建具表による

・ 型板ガラスの厚さによる種類
※建具表による

・ 網入り板ガラス及び線入り板ガラス網又は線の形状
・ 板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※建具表による

7 内装改修工事	① 改修範囲	[6. 1. 3]
	② 既存床の撤去及び下地補修	[6. 2. 2]
③ 既存壁の撤去及び下地補修	[6. 3. 2]	
① 軽量鉄骨天井下地	[6. 6. 2~4]	
② 軽量鉄骨壁下地	[6. 7. 3] [表6. 7. 1]	
③ ビニル床シート [G]	[6. 8. 2. 3]	
④ ビニル幅木	[6. 8. 2]	
⑤ フローリング張り [G]	[6. 11. 2~6] [表6. 11. 1~5]	

既存開仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁面より両側100mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側60mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま ・ 図示

ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
・ 下地モルタルとも (・ 図示の範囲 ・ 除去範囲全て)

合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去方法 ・ 目荒し工法
既存コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4. 4. 8によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の処置) ○行う ・ 行わない
・ 図示

野縁等の種類 屋外 (※25形 ・ 19形) 屋内 (※19形 ・ 25形)
・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等
野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 900程度 ・ ()
周辺部の端からの間隔 ・ 図示
野縁の間隔 ・ 300程度 ・ ()
既存の埋込みインサート ○使用する ・ 使用しない

スタッド、ランナーの種類
※改修標準仕様書6. 7. 3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示

種類	種類の記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考
○発泡層のないもの	※ FS (複層ビニル床シート)		○無地	○帯電防止	・ 2. 0	
・発泡層のあるもの			○マーブル柄	・ 耐動荷重性	○2. 5	
			・ 無地	○防滑性		
			・ 柄物	・ 耐薬品性		

工法 ※熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所:)

材質 ※軟質 ・ 硬質
高さ (mm) ※60 ・ 75 ・ 100
厚さ (mm) ※1. 5以上

種 類	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材の適用
・ フローリングボード 1等	・ 釘留め工法 (根本張り) ・ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法	・ なら ・ ・	15	幅幅75 板長さ500以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・ あり ・ なし
・ フローリングブロック 1等	・ 接着工法	・ なら	15	幅幅75 板長さ500以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・ あり ・ なし

7 内装改修工事	⑩ フローリング張り [G]	[6. 11. 2~6] [表6. 11. 1~5]
	⑪ 壁紙張り	[6. 14. 2, 3]

天然木化粧複合フローリング [G]

種 類	工 法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	塗装仕上げ	間伐材の適用
○天然木化粧複合フローリング	・ 釘留め工法 (根本張り) ○釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法	○なら ・ ・	板厚 ○12以上 幅幅 ○75以上 板長さ 400以上	・ A種 ・ B種 ※C種	○塗装品 ・ 無塗装品	・

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放放量 ※規制対象外
接着工法の場合の裏面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート
現場塗装仕上げ ・ 図示 (施工箇所)

種 類	JIS 記号	厚さ (mm)、規格等
・ 硬質木毛セメント板 [G]	HW	・ 15 ・ 20 ※25
・ 普通木毛セメント板 [G]	NW	・ 15 ・ 20 ※25
○けい酸カルシウム板	0. 8FK 1. 0FK	・ 突付け ○目透し タイプ2 (無石綿) ※6 ・ 8
○ロックウール化粧吸音板	DR	※突付け ○フラットタイプ (○9 (不燃) ※12 (不燃)) ・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 19 (不燃)) ※300×600 ・ 455×910
○せっこうボード	GB-R	※突付け (ペベルエッジ) ・ 継目処理 (ペベルエッジ) ※12. 5 (不燃) ・ 15 (不燃) ※910×2730 ・ 910×1820
・ グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※ 25 (厚手ガラスクロス包) ※ 留め付け材 樹脂製プラグ@300程度
・ 不燃積層せっこうボード	GB-NC	※突付け ※9. 5 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバーチン模様) ※450×910 ・ 910×910
・ シーリングせっこうボード	GB-S	・ 12. 5 (不燃)
・ 強化せっこうボード	GB-F	・ 12. 5 (不燃) ・ 15 (不燃)
・ 化粧せっこうボード (木目)	GB-D (W)	・ 12. 5 (不燃) 幅440mm程度 ※9. 5 模様 (・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材有り
・ メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による (※1. 2)
○普通合板 [G]		表面の樹種名 ・ 板面の品質 ・ 厚さ ・ 図示 ・ 接着の程度 ・ 1種 ・ 2種 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない
・ 天然木化粧合板 [G]		化粧板の樹種名 ・ 厚さ ・ 図示 ・ 接着の程度 ・ 1種 ・ 2種 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない

せっこうボード等の下地及びせっこうボードの目地工法は図示による
遮音シール材 ※アクリル系またはウレタン系シーリング材
・ ジョイントパウンド (JIS A 6914)
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放放量
※規制対象外
合板類の張付け ・ B種 ・ A種

ホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外							
施工箇所	壁紙の種類					防火別	商品名 (程度)
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		
個室 4	・	・	○	・	・	○不燃 ・ 準不燃	
	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃	
	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃	

モルタル・プラスター面の下地調整 ※B種 ・ A種
コンクリート・ALCパネル面の下地調整 ※B種 ・ A種
せっこうボード面の下地調整 ※B種 ・ A種

7 内装改修工事

⑫ フリーアクセスフロア

⑬ 床目地磚

⑭ ブラインド

⑮ ブラインドボックス及びカーテンボックス

⑯ 天井点検口

[20.2.2]						
施工箇所	寸法 (mm)	高さ (mm)	所定荷重 (N)	表面仕上げ材	備考	
	※450角以上 ・600角以下	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床タイル ※タイルカーペット		
適用地震時水平力	1階及び地階		※0.6G以上			
	中間階 (~ 階)		※0.6G以上	・1.0G以上		
	最上階 (階)		※1.0G以上			
帯電防止床タイル	・置敷タイプ	・パネル一体タイプ			(パネル一体タイプ以外の仕上げ材は別途内装工事とする)	
寸法精度	※標準仕様書20.2.2(2)(7)(a)~(c)による					
厚さ	±0.5mm					
平坦度	パネル周辺部 1.0mm以下					
	図心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下					
表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による						
[20.2.8]						
床仕上げの異なる箇所には目地磚を入れる						
※ステンレス製(幅40程度) (1.5) 標準詳細図 A-31-1						
・ステンレス製6×12 標準詳細図 A-31-2						
・黄銅製6×12 標準詳細図 A-31-2						
[20.2.14]						
・再使用する ○新設する						
形式	操作方法	種類	スラットの材種	桁幅 (mm)	ボックス・レールの材種	幅・高さ 取付箇所
・横型	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム 合金製 G	※25	※鋼製	・図示
・縦型	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム 合金製	・図示
スラットの材質						
アルミスラット 焼付け塗装仕上げ						
クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工						
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は B とする						
[20.2.14]						
・再使用する ○新設する						
○溝型×深さ (mm)	・90×150	・120×80	・120×150	・150×80	・図示	
材質	・集材材 (仕上げ:)					
	※アルミニウム製 押出形材 (市販品)					
	表面処理 ・C-1 ・C-2					
	皮膜等の種類 ※標準仕様書 表14.2.11による					
	・鋼製 (仕上げ:)					
材種	寸法	形式		外枠	内枠	
※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	・一般型	・屋内外用 ・屋内用	※額縁タイプ ・目地タイプ	※額縁タイプ ・目地タイプ	
		・気密型				
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による						

8 塗装改修工事

① 材料

② 下地調整

③ 錆止め塗料塗り

④ 塗装

[7.1.3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。

[7.2.1~7]

塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲
※塗替え面積の30% ・図示
既存錆止め塗料の鉛含有調査
・行う () 箇所 ・行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種類別		ひび割れ部の補修
	塗替え	新規	
木部	※R種		
鉄鋼面	※R種		
亜鉛めっき鋼面	※R種		
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※R種		
モルタル、プaster面	※R種	標準仕様書(18.2.1) 素地ごしらえによる	・行う ・行わない
コンクリート面 (DP以外)、 ALCパネル面	※R種		・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種 ※R種 ・RC種		・行う ・行わない
コンクリート面 (DP)	※R種		・行う ・行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	※R種		—

[7.3.2, 3]

錆止め塗料塗りの種別

塗 装 面	塗 料		工 程	
	塗替え	新 規	塗替え	新 規
鉄 鋼 面	EP-G以外	塗替え	A種	※C種
		新規鉄鋼面見え掛り	A種	※A種
	EP-G	塗替え	B種	※C種
		新規鉄鋼面見え掛り	B種	※A種
EP-G以外	塗替え	※A種	※B種	※C種
		新規鋼製建具等	※A種	※B種
	塗替え	C種	※C種	※A種
		新規鋼製建具等	C種	※A種

塗装の種類	塗 装	工 程	
		塗替え	新 規
・合成樹脂調合ベイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	
	木部屋内	※B種	※B種
	鉄鋼面	※B種	※B種・A種
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種	※B種
○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	※B種	A種
	上塗り等級 () 級		
	亜鉛めっき鋼面	※B種	A種
	上塗り等級 () 級		
○つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
	コンクリート面等	※A種	・A種 ・B種
	屋内の木部	※A種	※A種
	屋外の鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種
○合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)	屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種	・A種 ・B種
	コンクリート面等	※B種	・A種 ・B種
	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	※B種	・A種 ・B種
	・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	※B種	※B種・A種
・オイルステイン塗り (OS)			
・木材保護塗料塗り (WP)		※B種	※B種・A種

つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り(コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしき止め
※改修標準仕様書 表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする

合成樹脂エマルジョンベイント塗りの塗替えの場合のしき止め
※改修標準仕様書 表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする

・高日射反射率塗料塗り G

下地調整 (改修標準仕様書7.2.2) ・RA種 ・RB種 ・RC種

工 程	塗料その他				塗付け量 (kg/m2)
	規格番号	規格名称	種類	等級	
塗料塗り	JIS K 5675		2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

9 環境配慮改修工事

① 石綿含有建材の除去工事

表示形態の変更

[9.1.1.3~5]

施工調査 ※石綿含有建材の事前調査
石綿含有建材の事前調査報告書あり

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。

調査範囲 (※改修対象部位 ・図示)
貸与資料 ()

・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクリノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トシモライト

[9.1.3]

石綿含有吹き付け材の処理

・石綿含有吹き付け材の除去
除去対象範囲 ※図示
除去工法 ※ [9.1.3] (2) (7) による
除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置
※湿潤化 ・固形化

除去した石綿含有吹き付け材の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材の除去
除去対象範囲 ※図示
除去工法 ・切断又は破砕して除去 ・手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
※湿潤化 ・固形化

除去した石綿含有吹き付け材の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

処理を行う石綿含有保温材等の仕様等

材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲
・石綿含有保温材		※図示
・石綿含有耐火被覆板		※図示
・石綿含有断熱材		※図示

・石綿含有成形板、石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去
除去対象範囲 ※図示
除去した石綿成形板等の処分
石綿含有せっこうボード
・埋立処分 (管理型最終処分場)
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板、石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去
・埋立処分 (管理型最終処分場)
・埋立処分 (安定型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

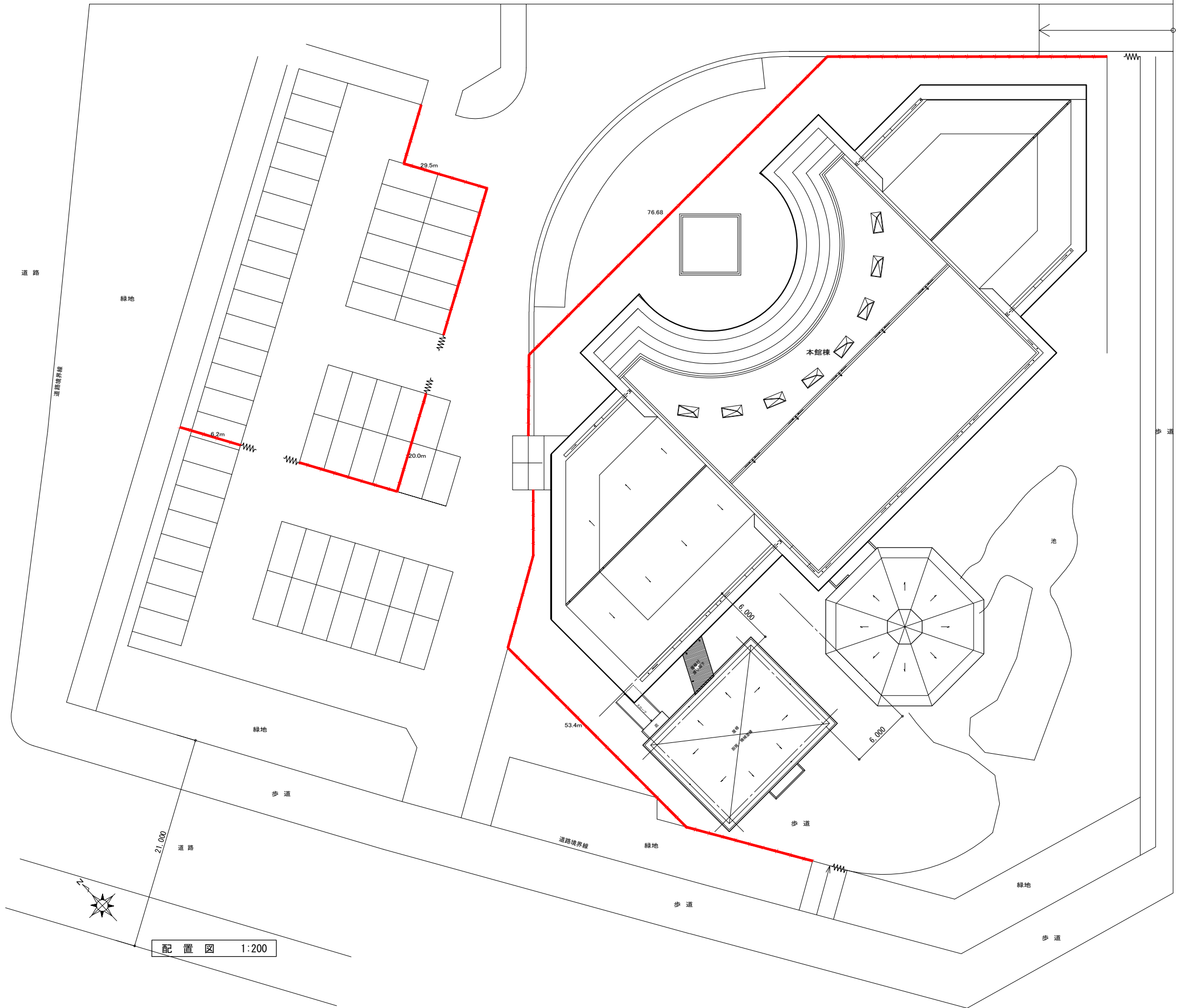
[9.1.1]

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示

地理院地図
GSI Maps



工事場所: 志布志市志布志町志布志3222-1



配置図 1:200

仮囲い凡例

	仮囲い鉄板 H=2.0 m	L=262 m
	クロスキャスターゲート W=6.0 m	2箇所
	クロスキャスターゲート W=3.0 m	2箇所

着工	
竣工	
監理	
施工	

株式会社 衛藤中山設計

JOB TITLE	志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-3-153号
DRAWING TITLE	付近見取り図、配置図、仮囲い図	一級建築士 211839号 中山 高士
SCALE	A1:1/200 A3:1/400	A-01

□ 設計概要

□ 工事名称 志布志市ふれあい健康プラザ大規模改修工事
□ 工事場所 鹿児島県志布志市志布志町志布志3222-1
□ 用途地域 指定なし
□ 主要用途 福祉センター
□ 構造規模 鉄筋コンクリート造 平屋建
工事内容: ① 外壁改修、屋根防水改修工事
② 内部床張替え他工事
③ 既存建具の不具合調整(一部取り替え)
④ 既存厨房室を相談室・事務室に改修。
⑤ 照明器具、空調機取替に伴う既存天井の撤去復旧。
⑥ 既存室内アクリルボード一部撤去

□ 外部仕上表

Table with 6 columns: 側溝・ポーチ・出入口, 巾木・外壁・柱型・梁型, 屋根・庇, 給食棟, 壁種・掘り金物・ルーフトレン, 備考. Contains detailed specifications for exterior finishes and materials.

□ 内部仕上表

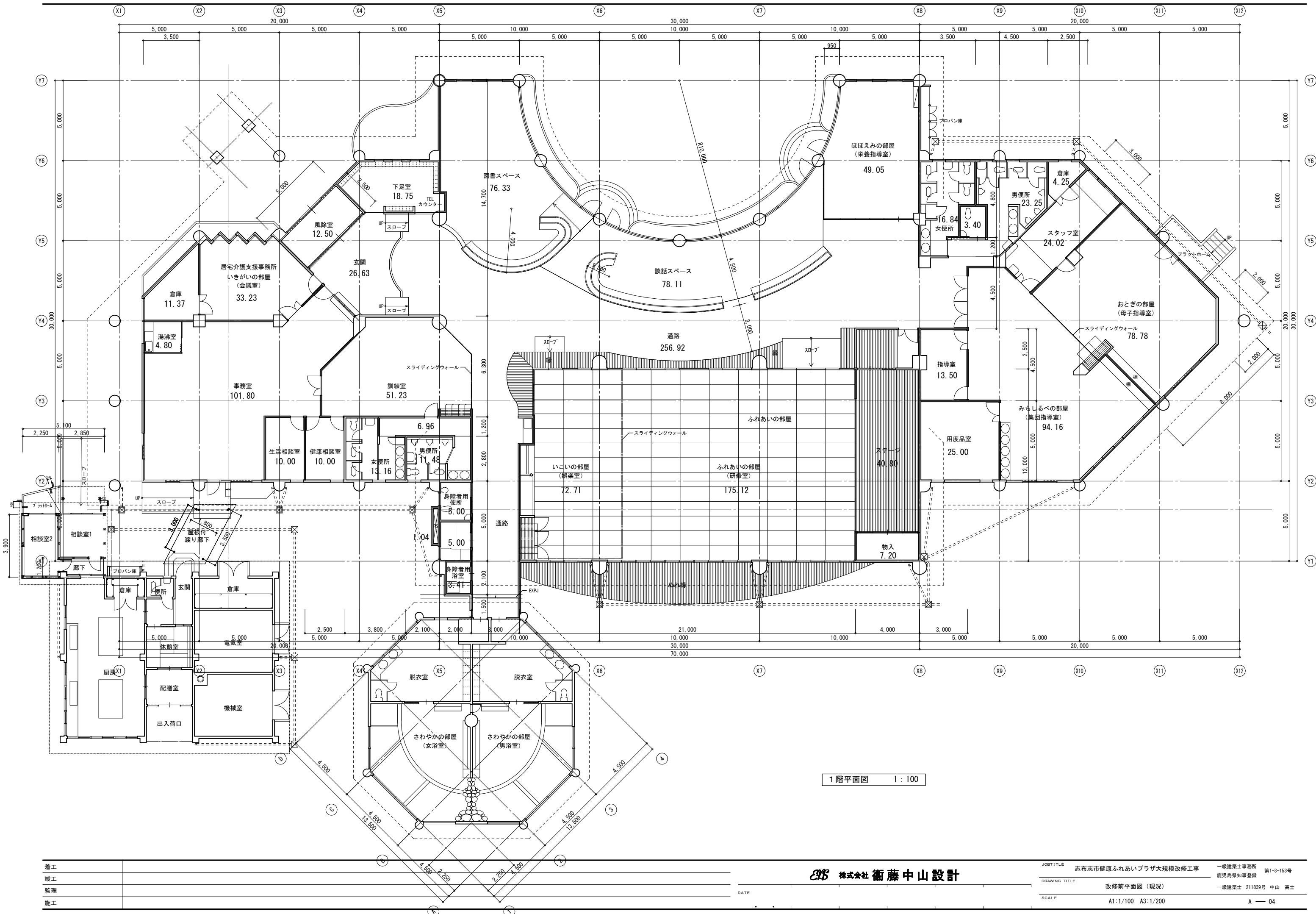
Table with 10 columns: 階, 室名, 床, 巾木, 壁, 天井, 天井高, 廻り縁, 備考. Contains detailed specifications for interior finishes and materials for various rooms.

△黒板～ホワイトホロー黒板(アルミインフレーム一体型) △行事黒板～ホワイトホロー黒板(アルミインフレーム一体型) △布クロス～サンゲツ D-7030 程度 防煙1級
△揭示板～スポンジシート貼、マグネットシート貼(アルミインフレーム一体型) ※黒板、行事黒板と一体型を除き木枠とする
△ビニルクロス防火1級
△9化粧石膏ボード(不燃 1004号) △6繊維補強石膏板(不燃 1991号)
△12石膏ボード(不燃 1003号)
△9.12岩綿吸音板(不燃 1021号)
布クロス貼 下地 準不燃 2635号+仕上 0007号(準不燃)

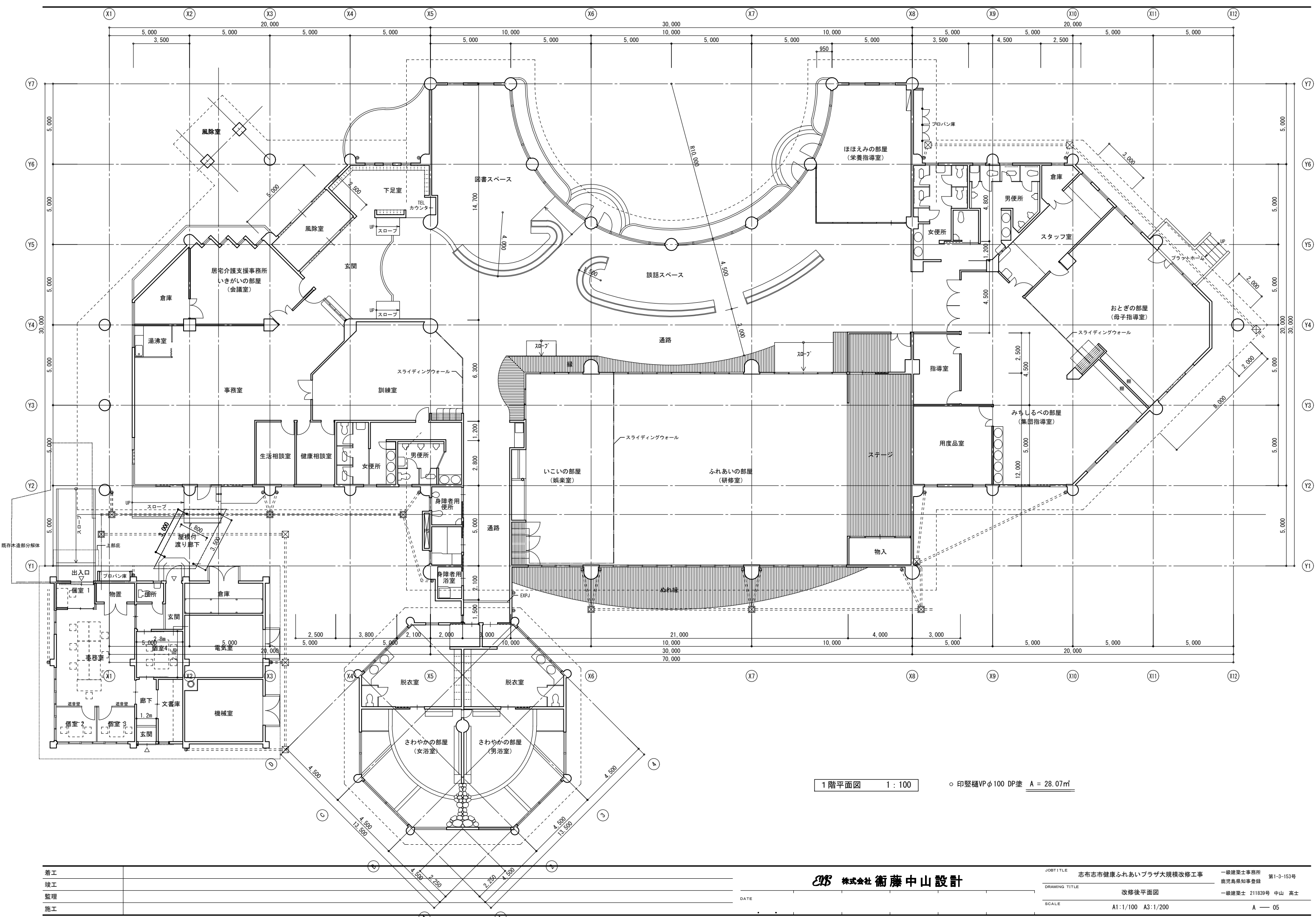
□ 内部仕上表

階	室名	床	巾木		壁	天井			備考	
			仕上	H		仕上	天井高	廻り縁		
本館棟	控室	改修前	一部踏込：カーペットタイル貼(多色デザイン貼) [インターフェイス ベーシックプラス] 下地モルタル金ゴテ押え、ステージと同じ	ソフト巾木 ★	100	ラフトーン吹付 下地RC部～コンクリート打放し補修 下地LGS部～⑦12PB	⑦9化粧石膏ボード貼 LGS下地	2,500	塩ビ	△室内札 △天井点検口～アルミ450×450
		改修後	踏込部のみt=2.5ビニル床シート張 既存のまま	既存撤去の上新設	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま
	通路	改修前	カーペットタイル貼(多色デザイン貼) [インターフェイス ベーシックプラス] 下地シンダー～コンクリートコテ押え	ソフト巾木 ★	60	ラフトーン吹付 下地RC部～コンクリート打放し補修 下地LGS部～⑦12PB	ビニルクロス張り ⑦9PB捨貼 LGS下地[着色仕上]	4,300 3,290 2,400	塩ビ	△天井点検口～3ヶ所アルミ450×450
		改修後	既存仕上撤去の上t=2.5ビニル床シート張	既存撤去の上新設	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま
	ほほえみの部屋 (栄養指導室)	改修前	t=2.0 長尺シート貼(溶接工法) ステンレス見切 FB 3×20 下地コンクリート同時押え セルフレベリング工法	ソフト巾木 ★	60	ラフトーン吹付 下地RC部～コンクリート打放し補修 下地LGS部～⑦12PB	⑦9化粧石膏ボード貼	2,700	塩ビ	△白板～1200×2700 △揭示板～1200×4000 △戸棚～1800×1800 △ブラインドボックス △ブラインド：スラットw#35 △室内札 △スチールパーテーション(パイオニア60) △天井点検口～アルミ450×450
		改修後	既存仕上撤去の上t=2.5ビニル床シート張	既存撤去の上新設	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	北西面窓への日除けブラインド新設
	資料室	改修前	カーペットタイル敷(多色デザイン貼) [インターフェイス ベーシックプラス] 下地コンクリート同時押え	ソフト巾木 ★	60	ラフトーン吹付 下地RC部～コンクリート打放し補修 下地LGS部～⑦12PB、SP (南、東面)	⑦9化粧石膏ボード貼	2,700	塩ビ	△スチールパーテーション(パイオニア60) △室内札
		改修後	既存仕上撤去の上t=2.5ビニル床シート張	既存撤去の上新設	既存のまま	既存のまま	一部張替え 2枚	既存のまま	既存のまま	既存のまま
	用度品庫	改修前	カーペットタイル敷(多色デザイン貼) [インターフェイス ベーシックプラス] 下地コンクリート同時押え	ソフト巾木 ★	60	ラフトーン吹付 下地RC部～コンクリート打放し補修 下地LGS部～⑦12PB、SP (北、東面)	⑦9化粧石膏ボード貼	2,700	塩ビ	△スチールパーテーション(パイオニア60) △ブラインドボックス △室内札
		改修後	既存仕上撤去の上t=2.5ビニル床シート張	既存撤去の上新設	既存のまま	既存のまま、西側RC壁ひび割れ補修の上ラフトーン吹付	一部張替え 3枚	既存のまま	既存のまま	既存のまま
	スタッフ室 倉庫	改修前	カーペットタイル敷(多色デザイン貼) [インターフェイス ベーシックプラス] 下地コンクリート同時押え	ソフト巾木 ★	60	ラフトーン吹付 下地RC部～コンクリート打放し補修 下地LGS部～⑦12PB	⑦9化粧石膏ボード貼	2,700	塩ビ	△ブラインドボックス △室内札
		改修後	既存仕上撤去の上t=2.5ビニル床シート張	既存撤去の上新設	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま
	みちしるべの部屋 (集団指導室)	改修前	カーペットタイル敷(多色デザイン貼) [インターフェイス ベーシックプラス] 下地コンクリート同時押え	ソフト巾木 ★	60	ラフトーン吹付 下地RC部～コンクリート打放し補修 下地LGS部～⑦12PB	⑦9化粧石膏ボード貼	2,700	塩ビ	△白板～1200×2700 △揭示板～1200×2200 △行事黒板～1200×1800 △スクリーン3000×2300 △天井点検口～アルミ450×450 △カーテンBOX～ホンデ鋼板OP △スクリーンBOX △整理棚 △室内札
		改修後	既存仕上撤去の上t=2.5ビニル床シート張	既存撤去の上新設	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	通路側出入口の既存木製建具撤去の上、新設
	おとぎの部屋 (母子指導室)	改修前	カーペットタイル敷(多色デザイン貼) [インターフェイス ベーシックプラス] 下地コンクリート同時押え	ソフト巾木 ★	60	ラフトーン吹付 下地RC部～コンクリート打放し補修 下地LGS部～⑦12PB	⑦9化粧石膏ボード貼	2,700	塩ビ	△白板～1200×2700 △揭示板～1200×2200 △行事黒板～1200×1800 △スクリーン3000×2300 △スチールパーテーション(補強共) △整理棚 △天井点検口～アルミ450×450 △カーテンBOX～ホンデ鋼板OP △スクリーンBOX △整理棚 △室内札
改修後		既存仕上撤去の上t=2.5ビニル床シート張	既存撤去の上新設	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	東面変形窓へ日除けブラインド新設	
脱衣室	改修前	⑦27大型積層集成フローリング ウレタン塗り カーペットタイル(敷込)	壁木 OSCL	100	ラフトーン吹付 下地⑦30断熱材の上⑦15硬石膏系プラスター撒り	★ウォールコートM 吹付 下地⑦6ケイカル板 天井裏：ファイバーエース⑦20コテ押え	2,500	塩ビ	△脱衣棚～1200×3500 △防湿鏡～2700×1000 △手洗カウンター～コーリアン貼 △室内札 △見切～ステンレスFB 3×15 △トイレブース～FRPブース(上部硝子スクリーンはめ込)	
	改修後	既存仕上撤去の上t=12フローリング張(踏込：ビニル床シート) 下地合板t=15張	既存撤去の上木製巾木OSCL	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
浴室	改修前	磁器タイル貼 100角、100×200、200角、300角組合せ(イネビッツアO×同等以上) (無袖)	—	—	リベイナミスティール150(波同等品以上)	★硬質塩ビ板裏打発泡樹脂⑦6 (バス天フイドデザイン同等品以上) LGS下地	2,250 ～3,800	塩ビ	△面台・流し台～ミカゲ石(本磨き)赤ピンク系 △打たせブース～シャワーブースユニット(FRP) △手摺～ステンレス SUS 304	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
厨房・機械室棟	玄関	改修前	磁器タイル貼100×100 ホール：ビニル床シート ★	AEP 色分し 下地コンクリート打放し補修	100	AEP 色分し 下地コンクリート打放し補修	⑦9化粧石膏ボード貼 (トラバーチン)	2,500	塩ビ	△下足入 △靴拭きマット～600×900 ステンレスラインマット(枠共) △上櫃～テラゾーブロック
		改修後	既存のまま	EP塗装		EP塗装	既存仕上撤去の上同材新設	既存のまま	既存のまま	
	食品庫	改修前	ケミクリートE(ノンスリップ工法) 下地コンクリート同時押え	AEP 色分し 下地コンクリート打放し補修	75	AEP 色分し 下地コンクリート打放し補修	★⑦6ケイカル板 目透し貼(VPスティップル)	2,500	塩ビ	△食品棚(撤去)
		改修後	ビニル床シート張	ビニル巾木	60	EP塗装	既存仕上撤去の上、t=6.0ケイカル板目透し張 EP塗装	既存のまま	塩ビ	
	厨房	改修前	ケミクリートE(ノンスリップ工法) 下地コンクリート同時押え	AEP 色分し 下地コンクリート打放し補修	75	AEP 色分し 下地コンクリート打放し補修	★⑦6ケイカル板 目透し貼(VPスティップル)	2,500	塩ビ	△人研流し台 △ビットグレーチング蓋 300×995×19(撤去)
		改修後	0AフロアH=100(ビニル床タイル)	ビニル巾木	60	EP塗装	既存仕上撤去の上t=9.0無石棉岩綿吸音板張 下地 t=9.5 GB-R	既存のまま	既存のまま	△ブラインドBOX △ブラインド
	休憩室 個室 4	改修前	⑦55スタイロフォーム敷	畳寄せ(撤去)	—	ジュエラクロス貼 ⑦12 PB GL工法	⑦9化粧石膏ボード貼(杉板)	2,200	木製(撤去)	
		改修後	既存畳及びRC床撤去の上t=450mm/m 土間コンクリート新設 t=2.5ビニル床シート張	ビニル巾木	60	既存仕上撤去の上ビニルクロス張	既存仕上撤去の上t=9.0無石棉岩綿吸音板張 下地 t=9.5 GB-R	2,500	塩ビ	
	配膳室 廊下 文書庫	改修前	ケミクリートE(ノンスリップ工法) 下地コンクリート同時押え	AEP 色分し 下地コンクリート打放し補修	75	AEP 色分し 下地コンクリート打放し補修	★⑦6ケイカル板 VP	2,500	塩ビ	
		改修後	既存仕上撤去の上t=2.5ビニル床シート張	ビニル巾木	60	EP塗装	既存撤去の上t=9.5化粧石膏ボード張	既存のまま	既存のまま	
	出入荷口 廊下 文書庫	改修前	コンクリート同時押え 欄目引	AEP 色分し 下地コンクリート打放し補修	100	AEP 色分し 下地コンクリート打放し補修	★⑦6ケイカル板 目透し貼	2,850	塩ビ	△ショックストッパー
		改修後	鋼製床組の上t=2.5ビニル床シート張	ビニル巾木	60	EP塗装	既存撤去の上t=9.5化粧石膏ボード張	2,500	塩ビ	
	電気室	改修前	コンクリート同時押え	コンクリート打放し	—	コンクリート打放し	断熱材現し	—	—	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま
	機械室	改修前	コンクリート同時押え	コンクリート打放し	—	コンクリート打放し	断熱材現し	—	—	△カボスタック △防油堤
改修後		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
倉庫	改修前	コンクリート同時押え	コンクリート打放し	—	コンクリート打放し	断熱材現し	—	—	△棚	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
便所	改修前	45磁器モザイクタイル貼 無袖	100角カラータイル貼	—	100角カラータイル貼	⑦9化粧石膏ボード貼(トラバーチン)	2,300	塩ビ	△ブース～アルミ枠、壁木ステンレス、メラミン化粧板 フェッッシュ製(既製品)	
	改修後	既存仕上撤去の上、t=2.5ビニル床シート張り	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
既存木造部 解体撤去	相談室 1	改修前	ビニル床シート	ソフト巾木	60	木下地の上、 t=12.5石膏ボード ビニルクロス張り	⑦9化粧石膏ボード貼(トラバーチン)	2,500	塩ビ	
		改修後	解体撤去	解体撤去	同左	解体撤去	解体撤去	—	解体撤去	
	相談室 2	改修前	ビニル床シート	ソフト巾木	60	木下地の上、 t=12.5石膏ボード ビニルクロス張り	⑦9化粧石膏ボード貼(トラバーチン)	2,500	塩ビ	
		改修後	解体撤去	解体撤去	同左	解体撤去	解体撤去	—	解体撤去	
	廊下	改修前	ビニル床シート	ソフト巾木	60	木下地の上、 t=12.5石膏ボード ビニルクロス張り	⑦9化粧石膏ボード貼(トラバーチン)	2,500	塩ビ	
		改修後	解体撤去	解体撤去	同左	解体撤去	解体撤去	—	解体撤去	

着工 ※ ★印は、アスベスト含有材を示す。
 竣工 ※ 赤色文字が今回の対象工事を示す。
 監理
 施工

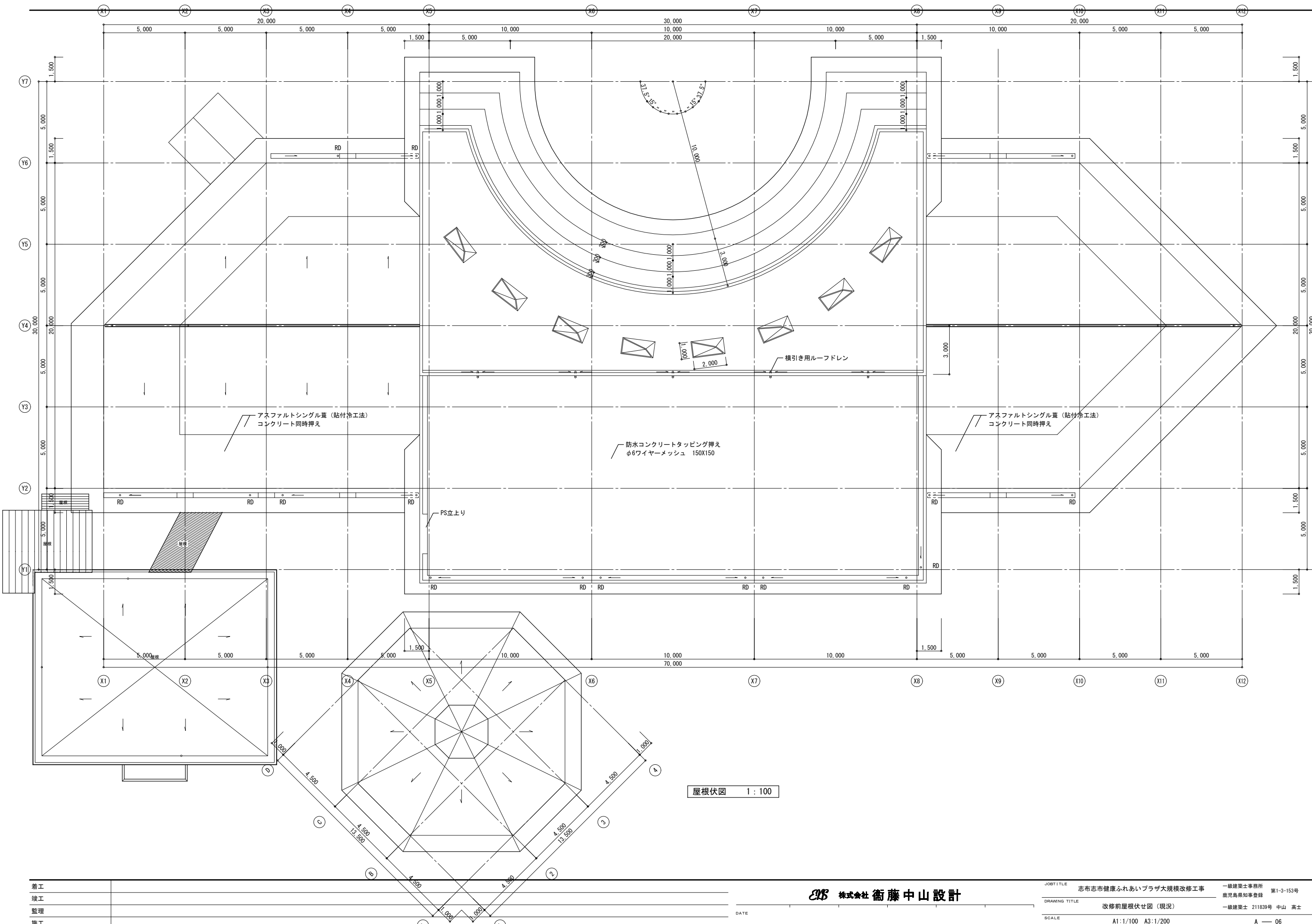


1階平面図 1:100



1階平面図 1:100 ○ 印 縦樋φ100 DP塗 A = 28.07㎡

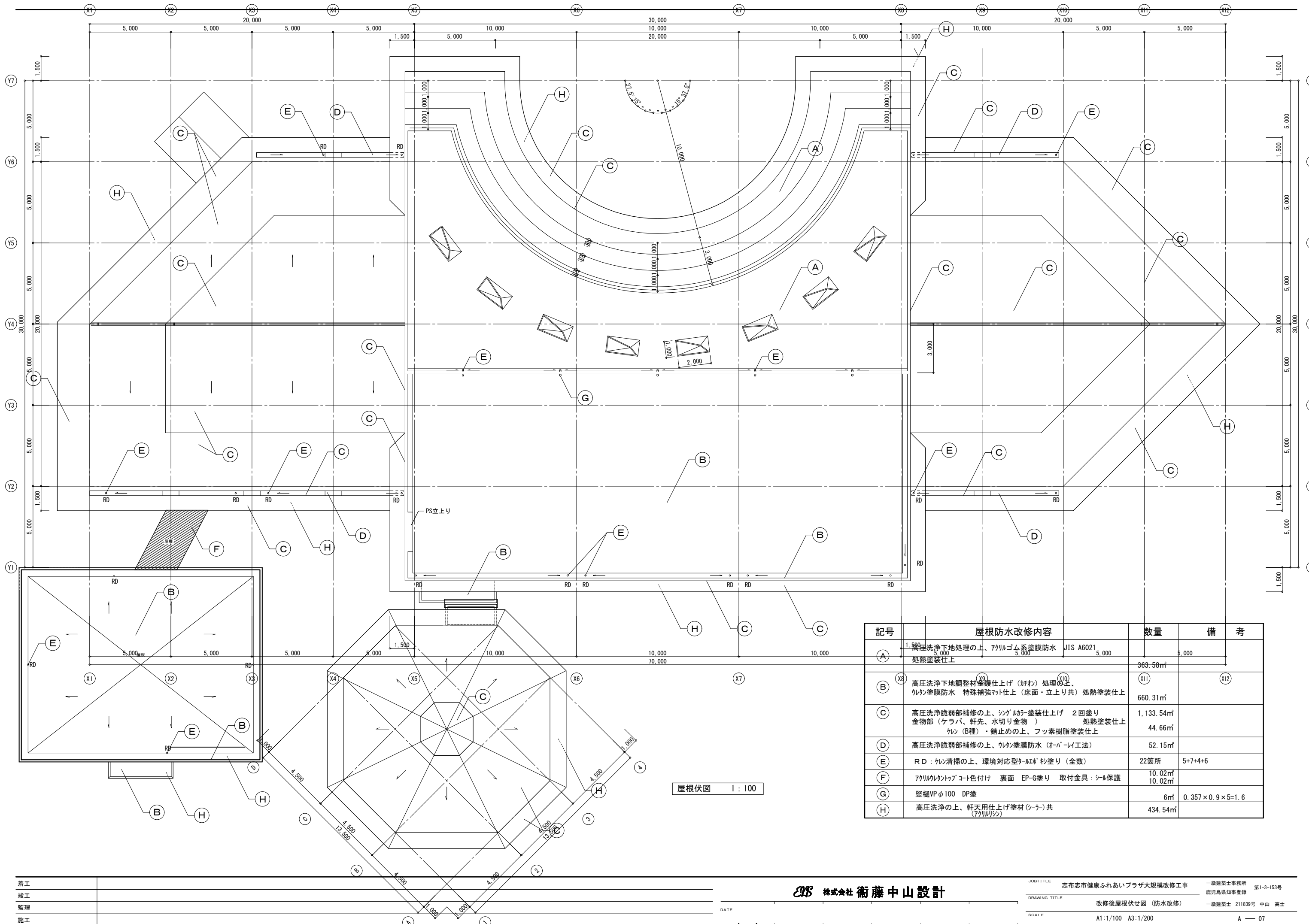
着工		EIS 株式会社 衛藤中山設計 志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事 第一級建築士事務所 鹿兒島県知事登録 第一級建築士 211839号 中山 高士	JOB TITLE	志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事	第一級建築士事務所 第一級建築士 211839号 中山 高士
竣工			DRAWING TITLE	改修後平面図	第一級建築士 211839号 中山 高士
監理			SCALE	A1:1/100 A3:1/200	A — 05
施工					
			DATE		



着工	
竣工	
監理	
施工	

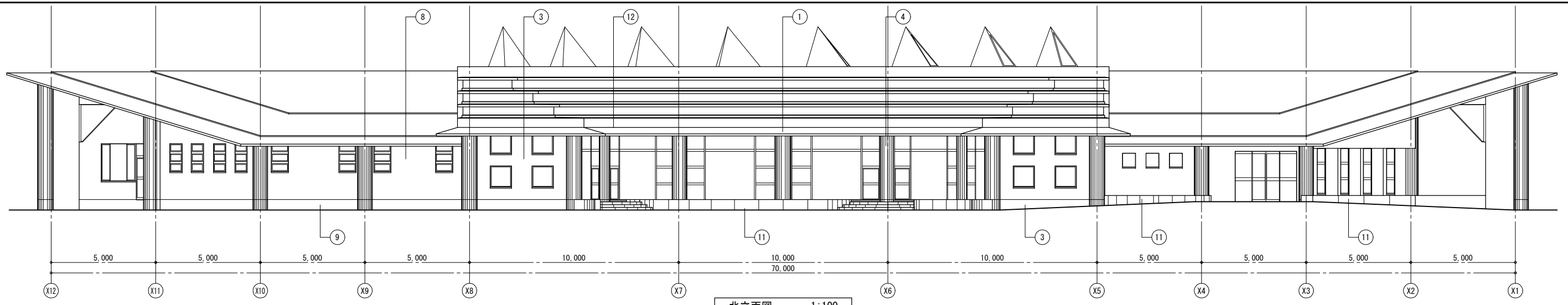
株式会社 衛藤中山設計

JOB TITLE	志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事	一級建築士事務所	第1-3-153号
DRAWING TITLE	改修前屋根伏せ図 (現況)	鹿児島県知事登録	
SCALE	A1:1/100 A3:1/200	一級建築士	211839号 中山 高士
			A-06

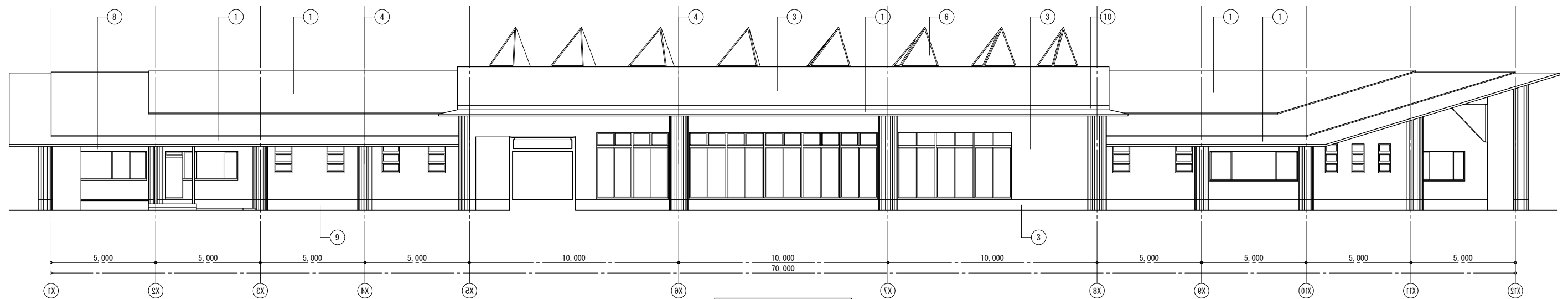


記号	屋根防水改修内容	数量	備考
A	高圧洗浄下地処理の上、アクリルゴム系塗膜防水 JIS A6021 処熱塗装仕上	363.58㎡	
B	高圧洗浄下地調整材塗布仕上げ(カチン)処理の上、ケレン塗膜防水 特殊補強マット仕上(床面・立上り共) 処熱塗装仕上	660.31㎡	
C	高圧洗浄脆弱部補修の上、シグナルカラー塗装仕上げ 2回塗り 金物部(ケラバ、軒先、水切り金物) 処熱塗装仕上	1,133.54㎡	
D	ケレン(B種)・錆止めの上、フッ素樹脂塗装仕上	44.66㎡	
E	高圧洗浄脆弱部補修の上、ケレン塗膜防水(オーパ-レイ工法)	52.15㎡	
F	RD:ケレン清掃の上、環境対応型ケルマド® 粉塗り(全数)	22箇所	5+7+4+6
G	縦樋φ100 DP塗	6㎡	0.357×0.9×5=1.6
H	高圧洗浄の上、軒天用仕上げ塗材(シーラ共 アクリリシ)	434.54㎡	

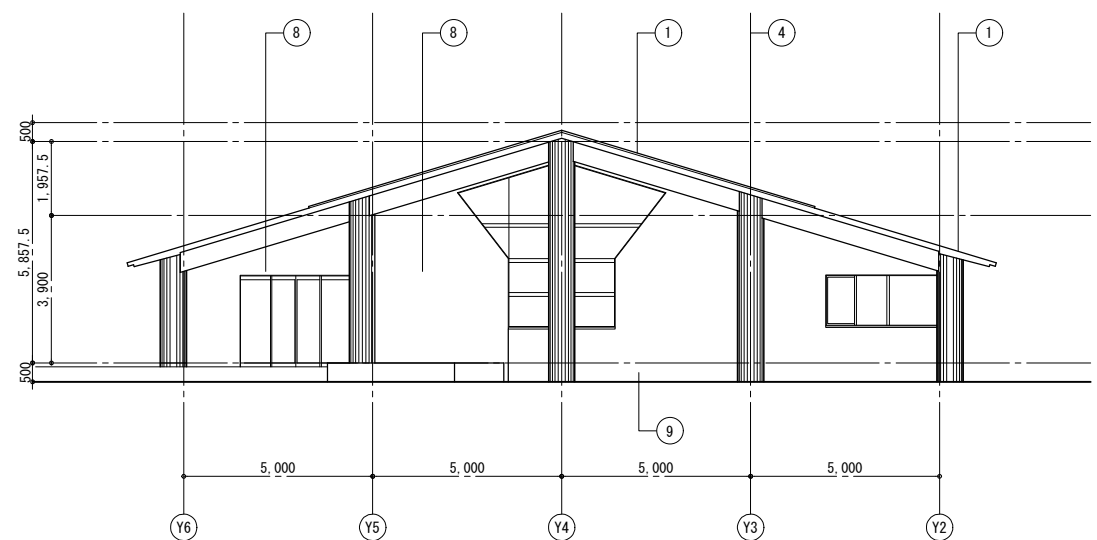
屋根伏図 1:100



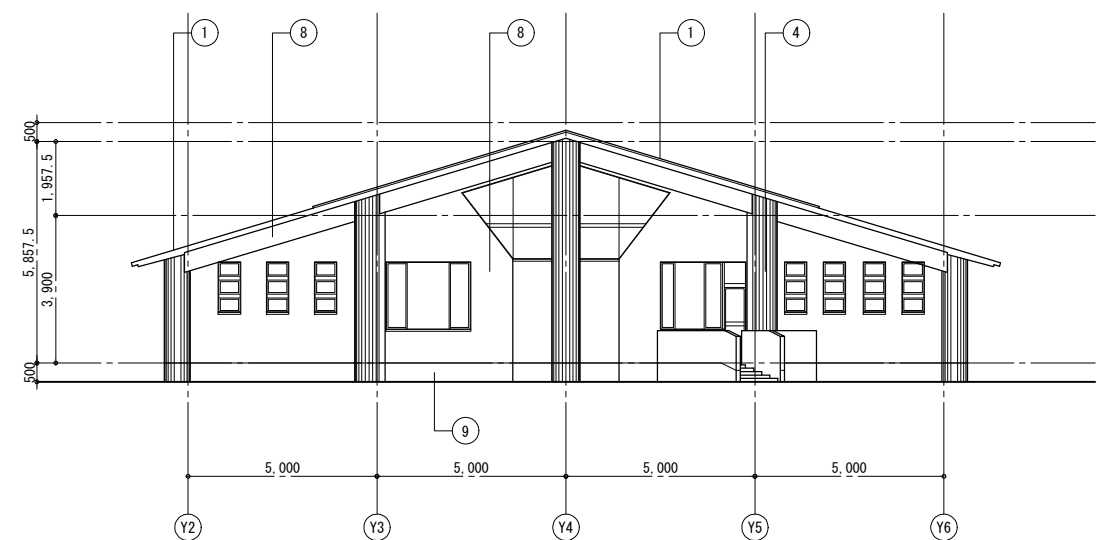
北立面図 1:100



南立面図 1:100

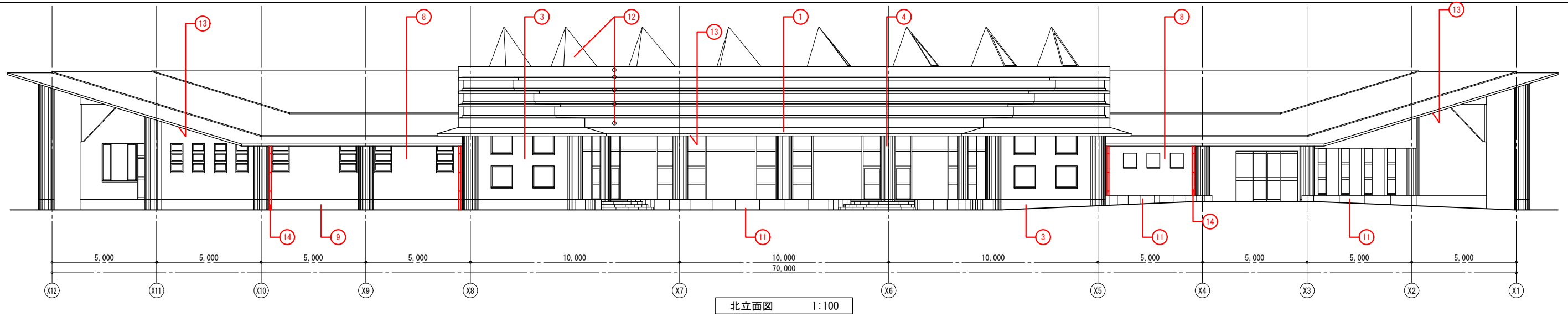


西立面図 1:100

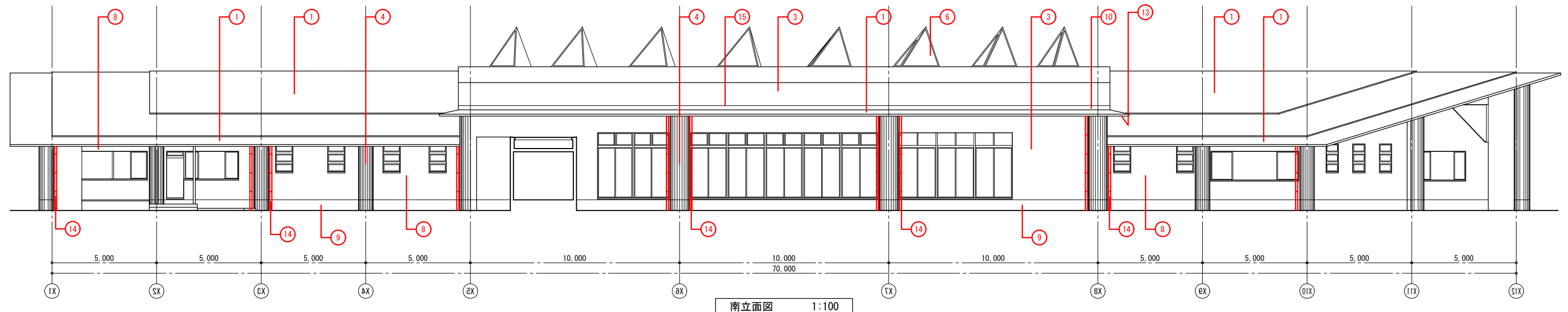


東立面図 1:100

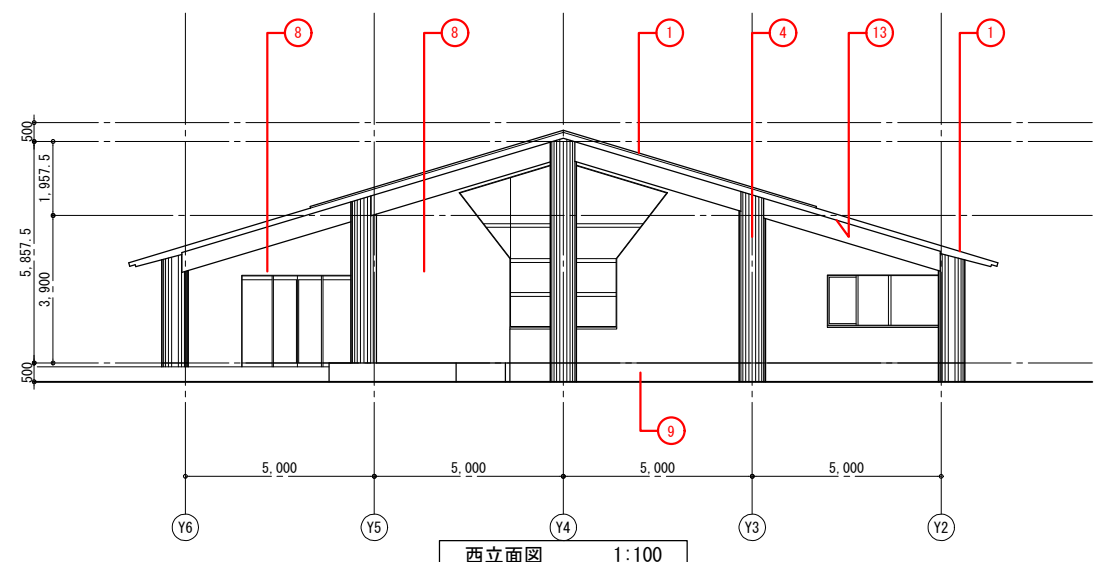
凡例	仕上
①	アスファルトシングル葺 (貼付冷工法) 下地コンクリート同時押え
②	アスファルトシングル葺 (貼付冷工法) フェロストーン仕上 FX-500
③	50mm二丁平タイル貼 打継部: 2列50二丁平タイル貼 (ラスター)
④	コンクリート化粧打放し 目地切
⑤	50mm二丁平タイル貼
⑥	トップライト: 製作品
⑦	50mm二丁平タイル貼 (自地割れ) イモ目地
⑧	アクリル系リシン吹付 下地コンクリート打放し
⑨	コンクリート化粧打放し
⑩	ラスタータイル貼 (50mm二丁平タイル貼)
⑪	コンクリート化粧打放し 小タキ仕上
⑫	APエナメル塗 下地モルタル防水



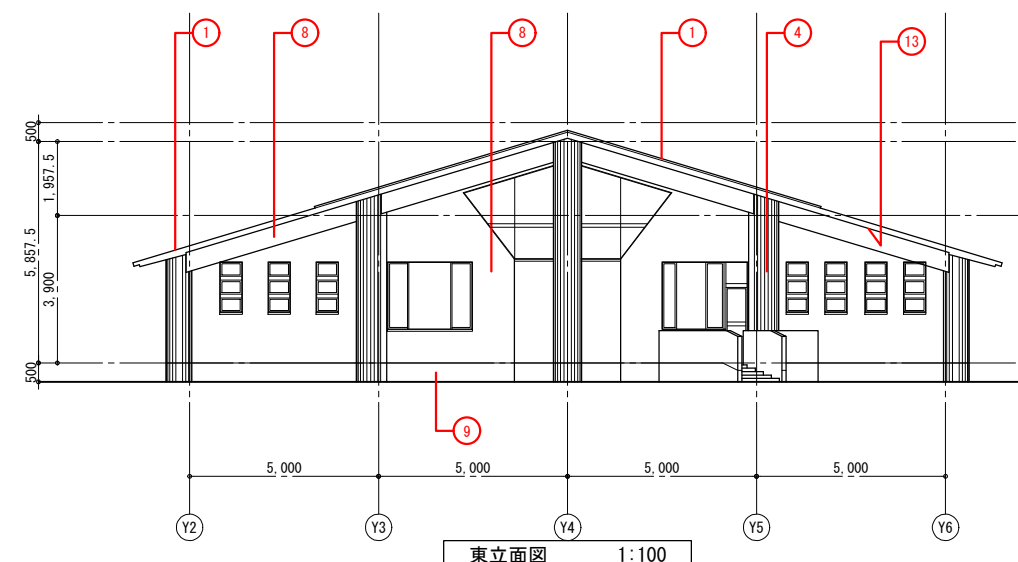
北立面図 1:100



南立面図 1:100

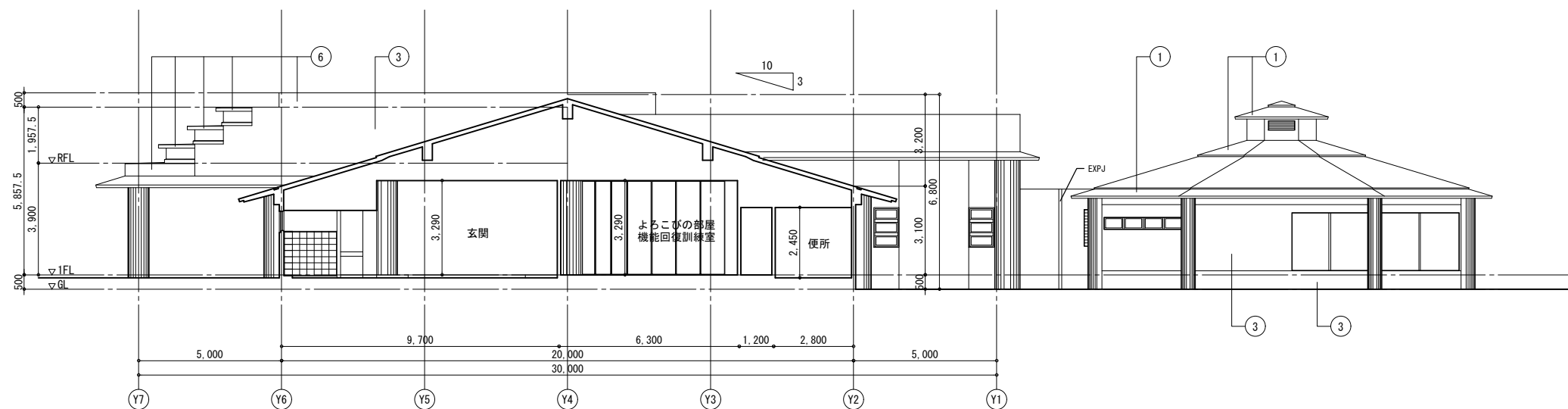
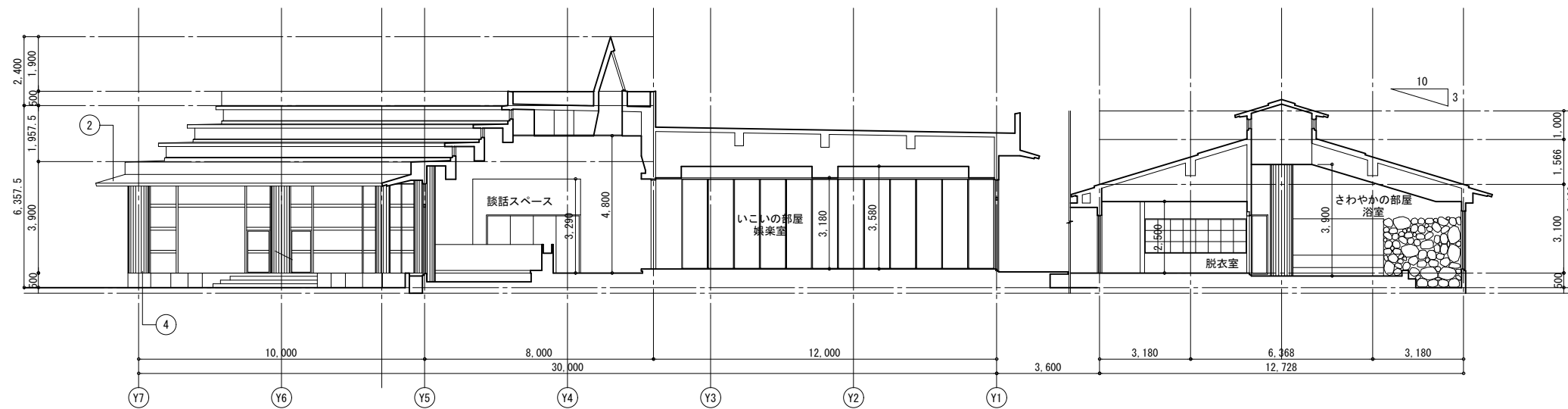
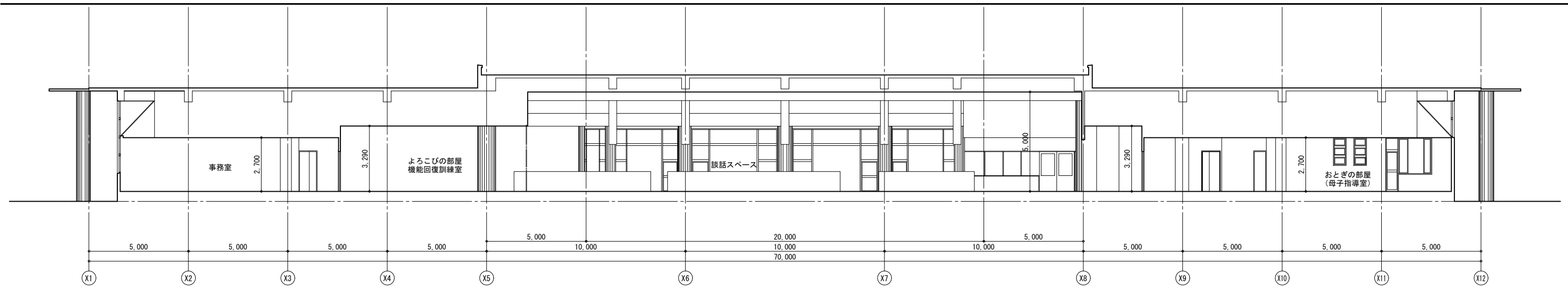


西立面図 1:100

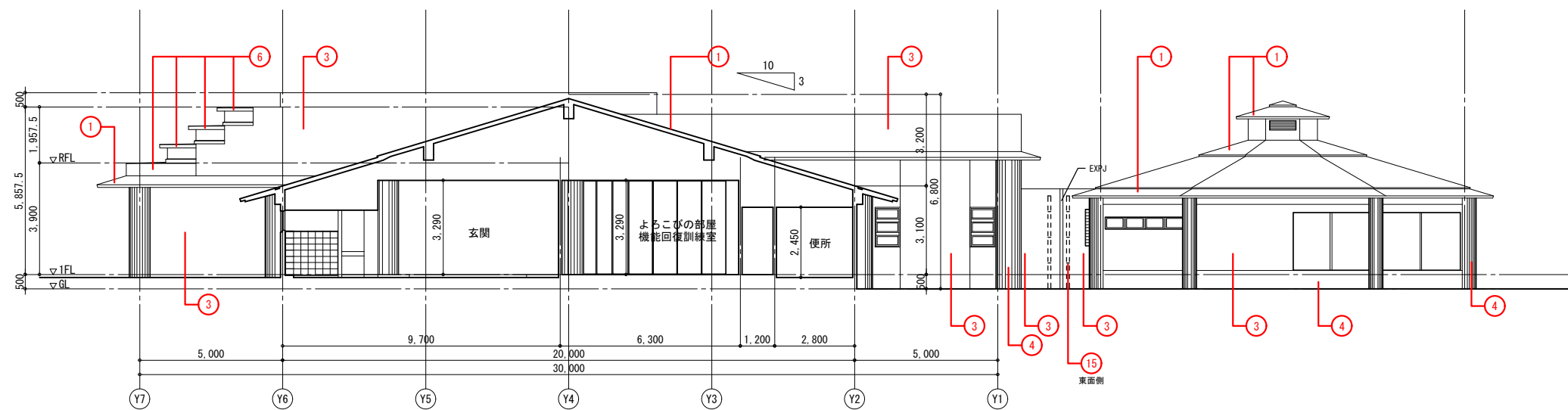
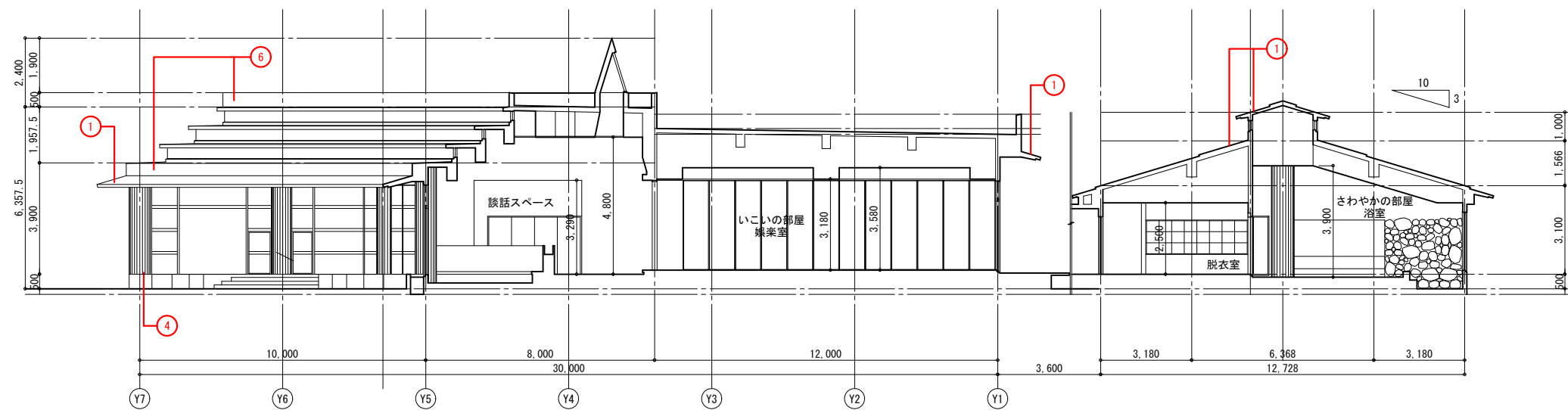
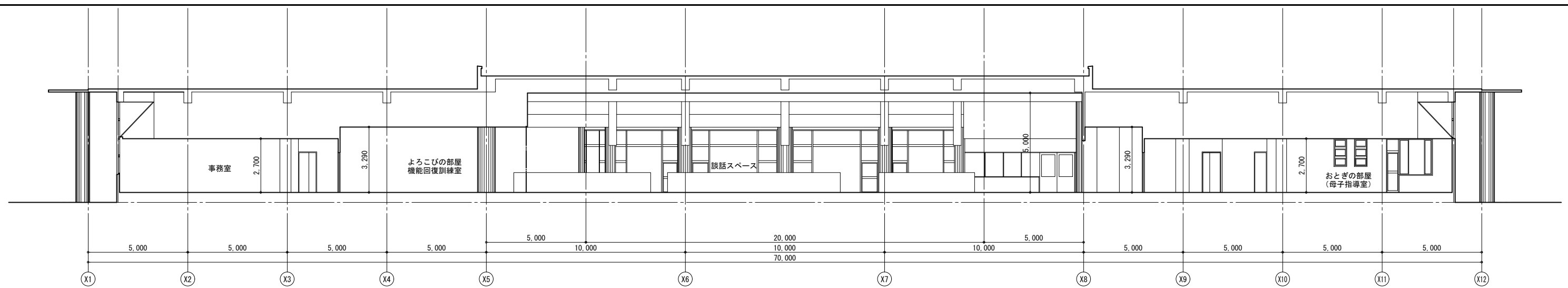


東立面図 1:100

凡例	外壁改修後の仕上	数量
①	高圧洗浄 脆弱部補修の上、シグマ樹脂塗装仕上げ 2回塗り	防水改修図参照
②		
③	50mm二丁平タイル面：薬品洗浄の上、タイル目塗り	367.11㎡
④	コンクリート化粧打放し面：下地処理の上、高圧洗浄	271.97㎡
⑤		
⑥	既存トップライト アルミ建具	既存のまま
⑦		
⑧	高圧洗浄 脆弱部補修の上、防水型高弾性アクリル樹脂塗料仕上げ（シーラー共）	363.97㎡
⑨	コンクリート化粧打放し面：下地処理の上、高圧洗浄	④に計上済
⑩	ラスタータイル面：高圧洗浄	6.23㎡
⑪	コンクリート打放し小タイル面：下地処理の上、高圧洗浄	④に計上済
⑫	高圧洗浄 脆弱部補修の上、防水型高弾性アクリル樹脂塗料仕上げ（シーラー共）	⑧に計上済
⑬	高圧洗浄の上、軒天用仕上げ塗材（シーラー共）（アクリル樹脂）	防水改修図参照
⑭	縦樋VPφ100 DP塗装	28.07㎡
⑮	見切りシーリング	322.79㎡



凡例	仕上
①	ウレタン系塗膜防水
②	②0.35硬化処理鋼板 一字葺
③	50mm二丁平タイル貼 (イモ目地) 打継部: 2列50mm二丁平タイル貼
④	コンクリート化粧打放し 目地切
⑤	50mm二丁平タイル貼 (目地割れ) イモ目地
⑥	APエナメル塗 下地モルタル防水

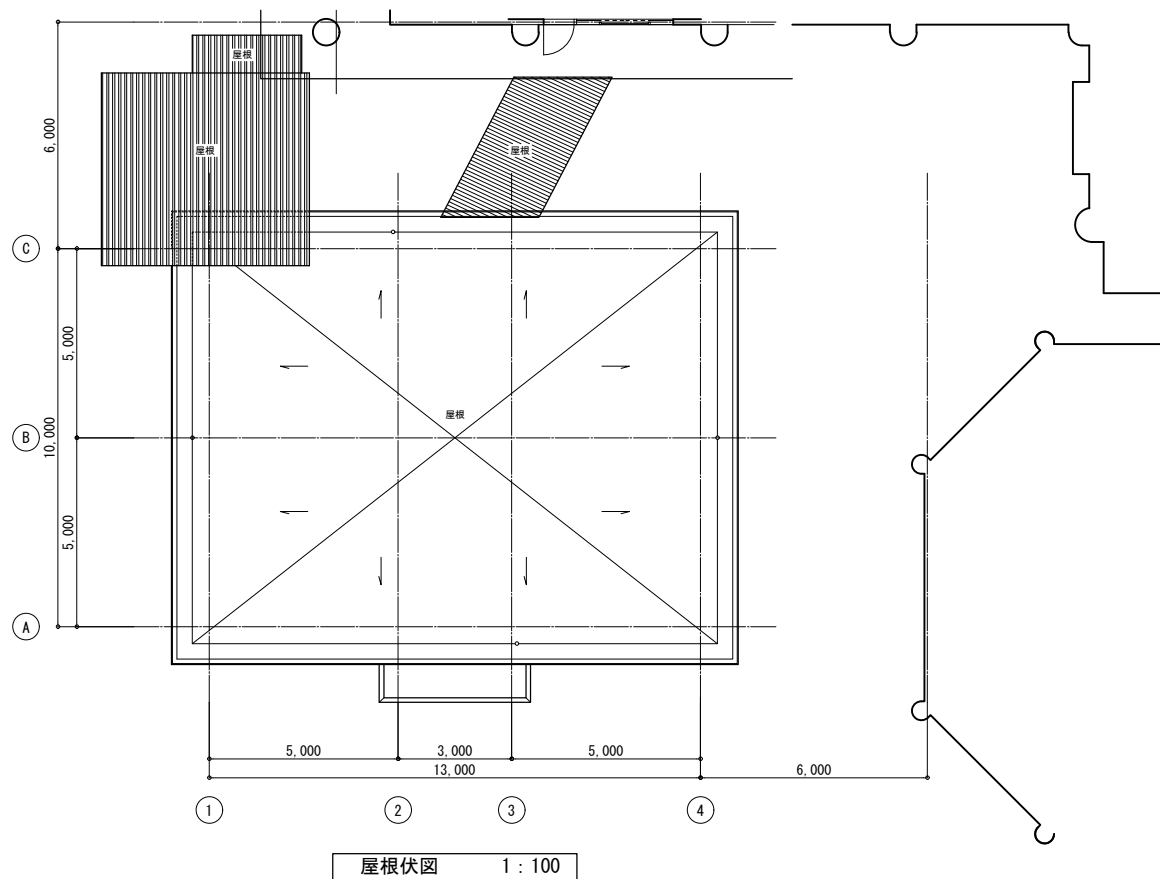
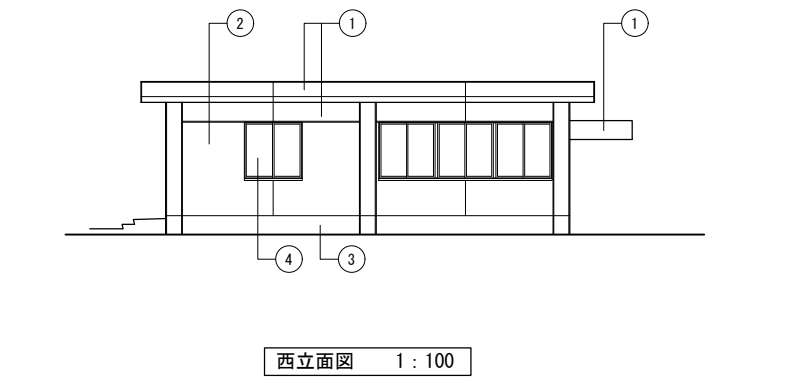
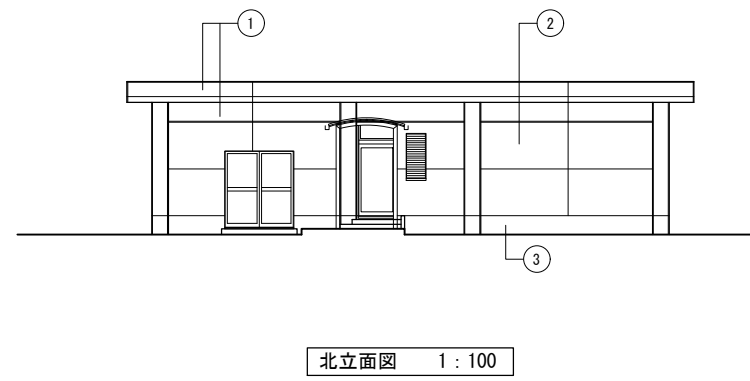
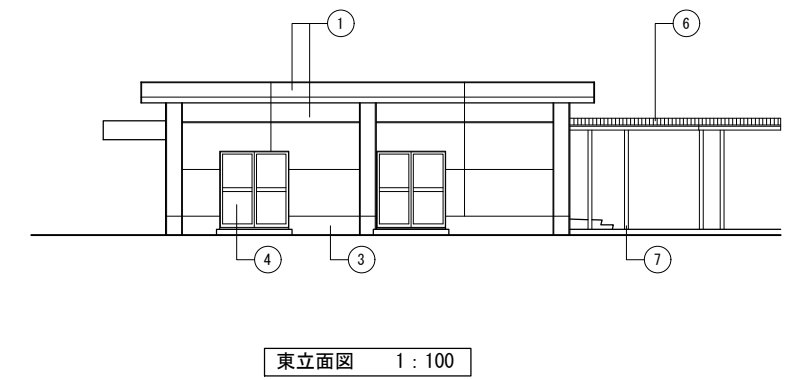
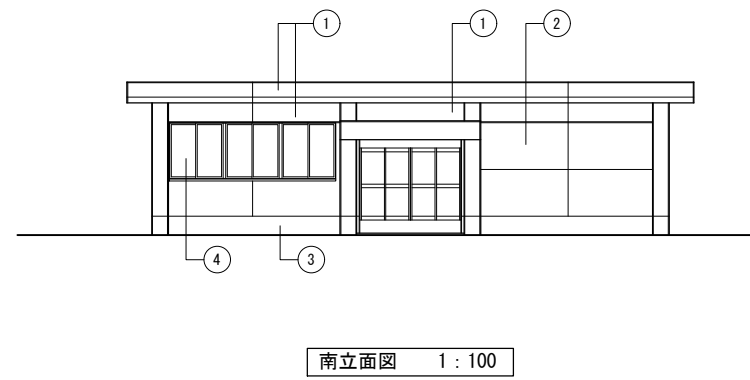
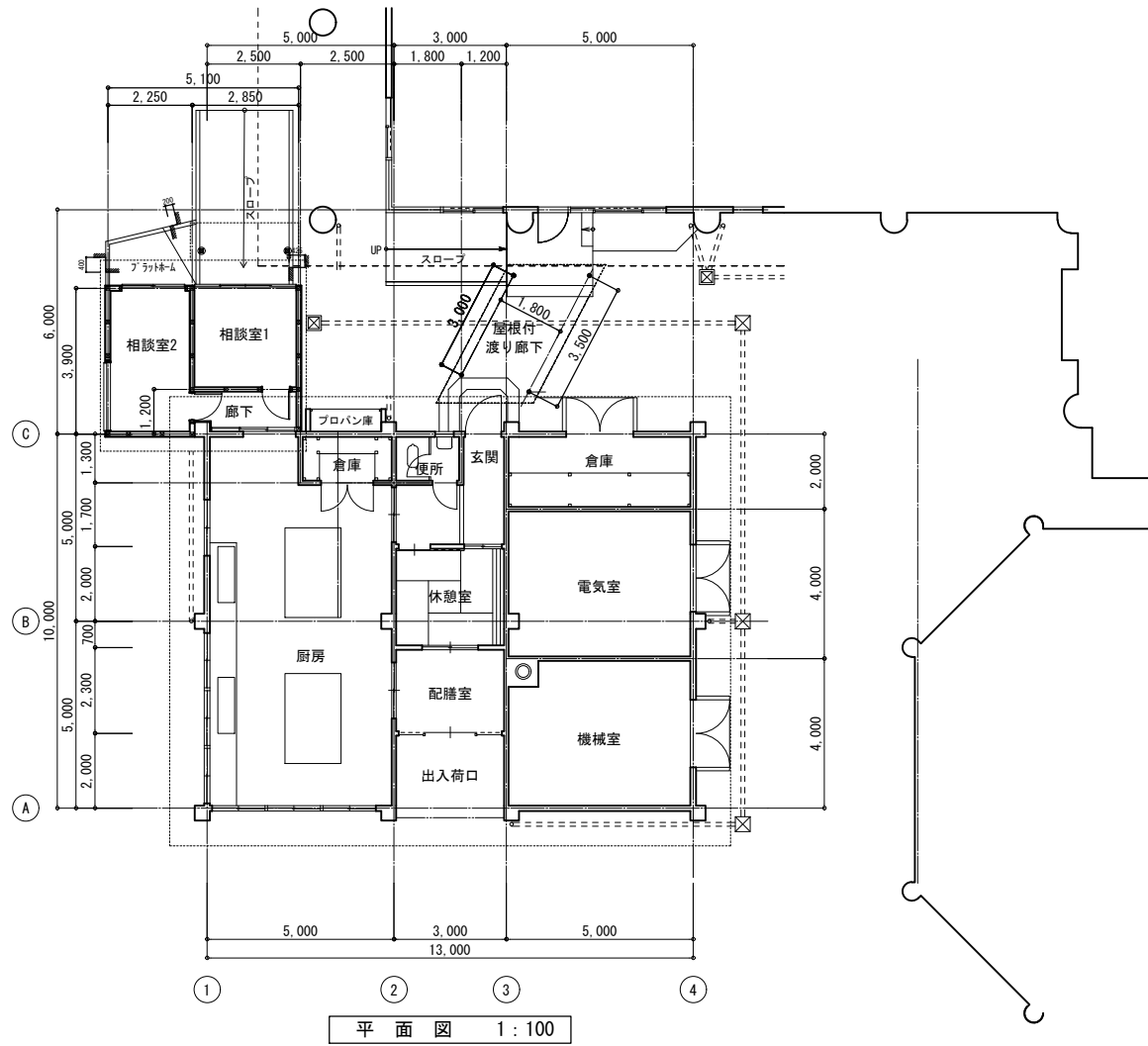


凡例	外壁改修後の仕上	数量
①	高圧洗浄 脆弱部補修の上、シグマコート塗装仕上げ 2回塗り	防水改修図参照
②		
③	50mm二丁平タイル面：薬品洗浄の上、タイルコート仕上げ	前頁に計上済
④	コンクリート化粧打放し面：下地処理の上、高圧洗浄	271.97㎡
⑤		
⑥	既存トップライト アルミ建具	既存のまま
⑦		
⑧	高圧洗浄 脆弱部補修の上、 防水型高弾性アクリル樹脂モルタル仕上 (シーラ共)	363.97㎡
⑨	コンクリート化粧打放し面：下地処理の上、高圧洗浄	④に計上済
⑩	タイル面：高圧洗浄	前頁に計上済
⑪	コンクリート打放し小タイル面：下地処理の上、高圧洗浄	④に計上済
⑫	高圧洗浄 脆弱部補修の上、 防水型高弾性アクリル樹脂モルタル仕上 (シーラ共)	⑧に計上済
⑬	高圧洗浄の上、軒天用仕上げ塗材 (シーラ共) (アクリルシ)	防水改修図参照
⑭	縦樋VPφ100 DP塗装	28.07㎡
⑮	見切りシーリング	322.79 m

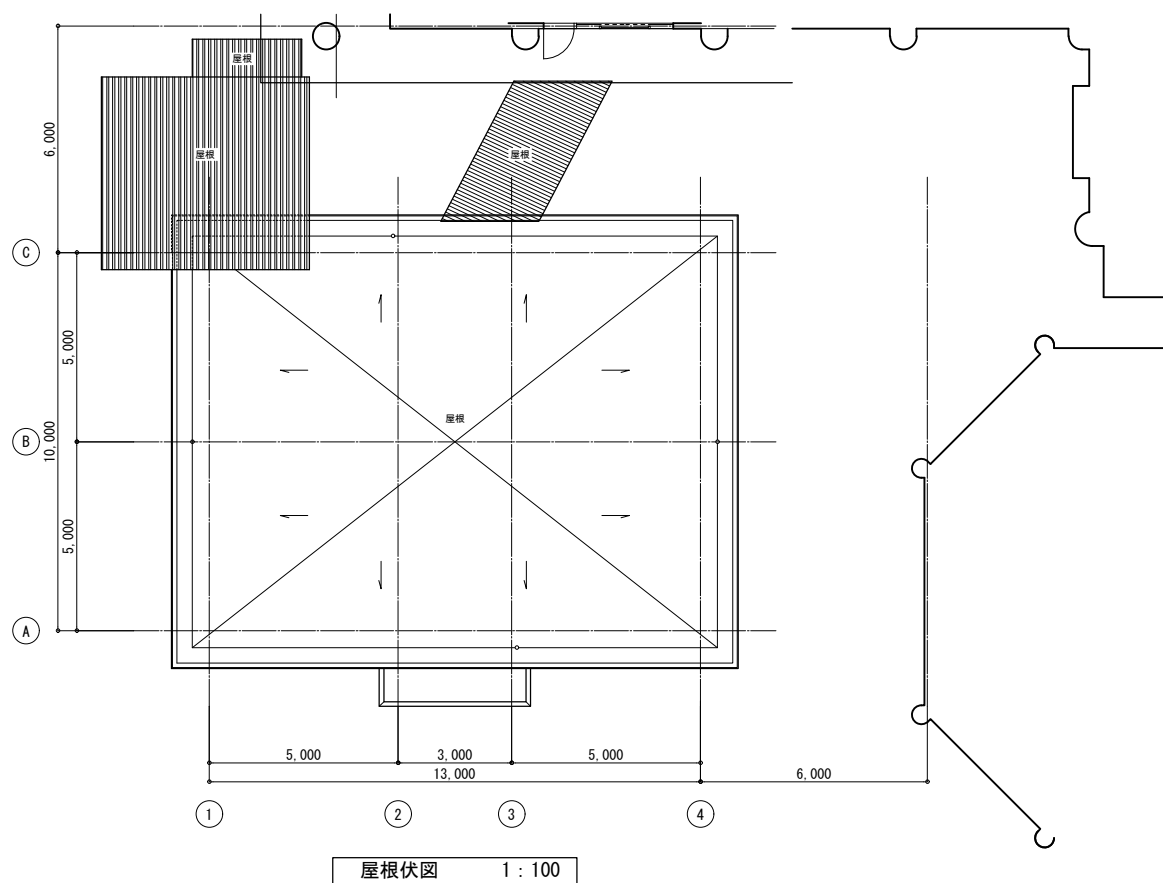
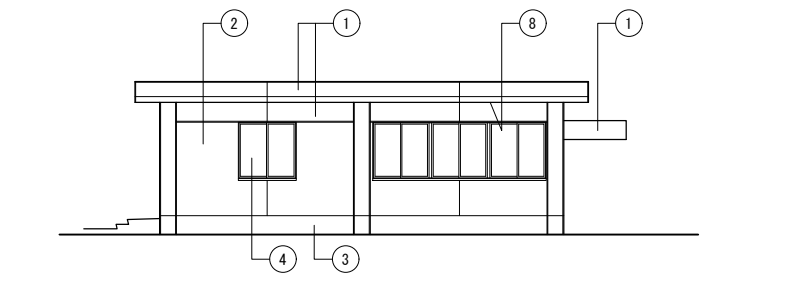
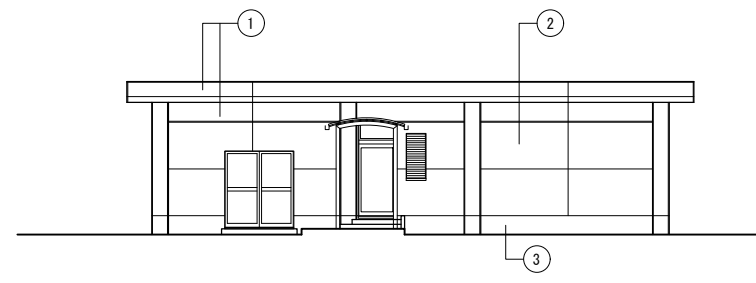
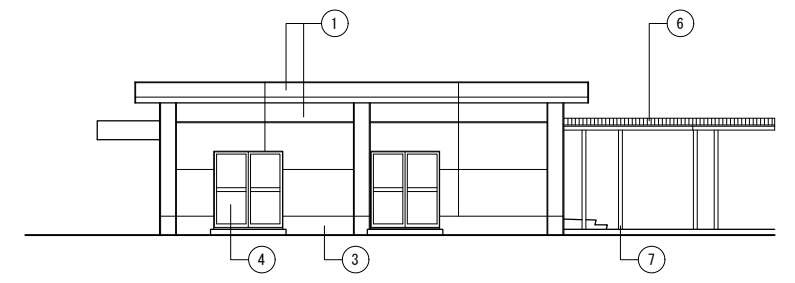
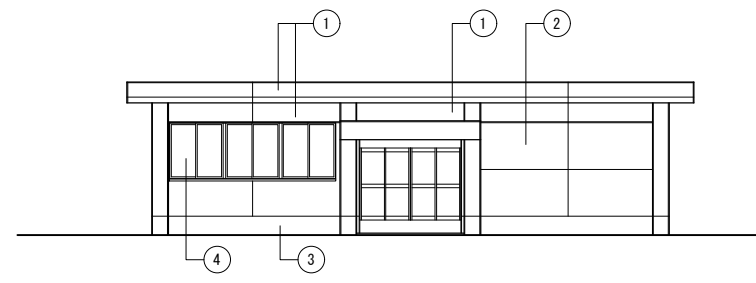
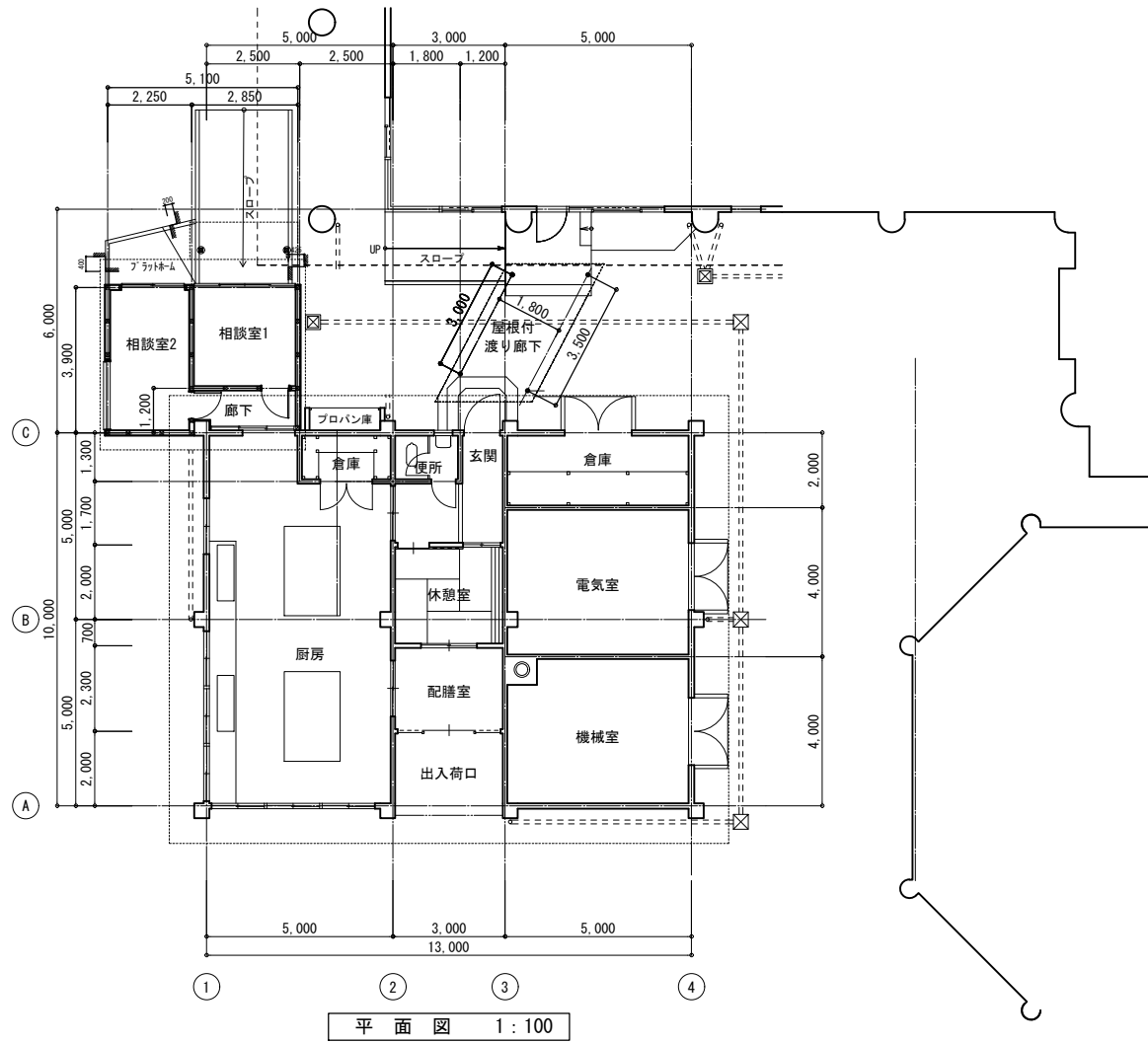
着工	
竣工	
監理	
施工	

株式会社 衛藤中山設計

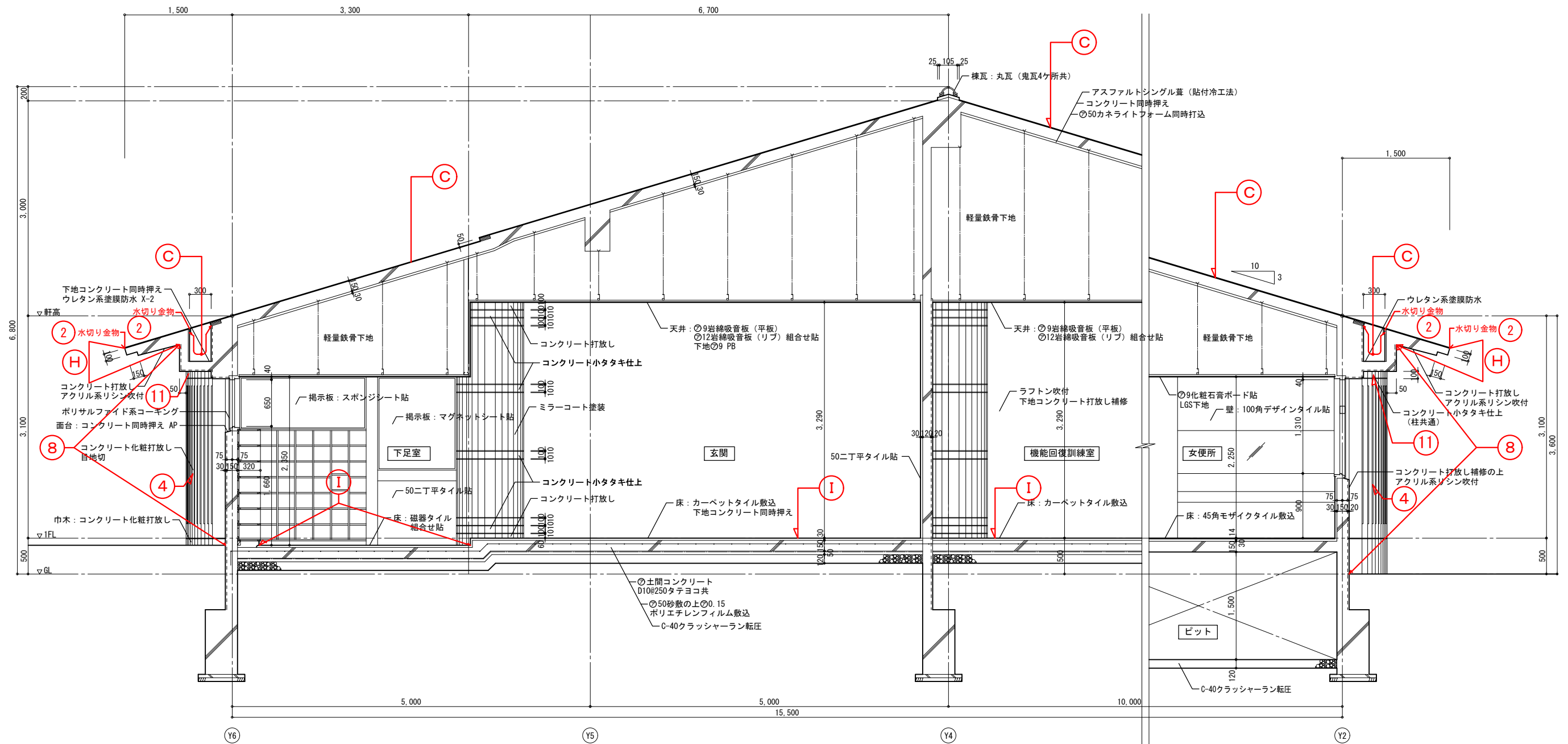
JOB TITLE	志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-3-153号
DRAWING TITLE	改修後断面図 (本館)	一級建築士 211839号 中山 高士
SCALE	A1:1/100 A3:1/200	A — 11



凡例	仕上
①	エポキシ系吹付タイル 下地コンクリート打放し補修
②	アクリル系リシン吹付 下地コンクリート打放し補修
③	コンクリート打放し 薄塗補修
④	アルミサッシ (カラー黒) 240・8・35
⑤	
⑥	大波スレート (丸型) 葺 VP塗
⑦	柱: φ48.6X3.2 垂鉛メッキ どぶづけ



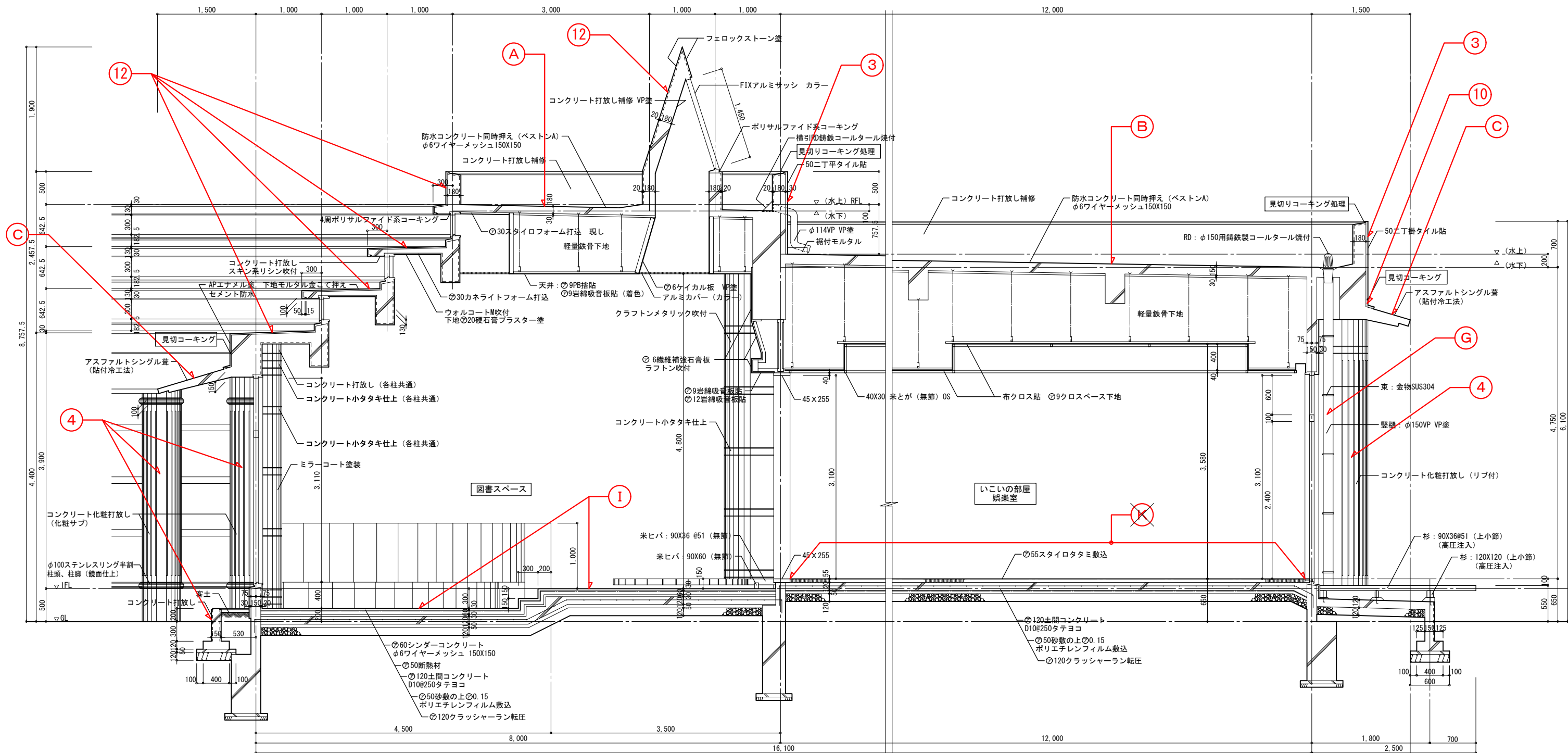
凡例	外壁改修後の仕上	数量
① ②	高圧洗浄 脆弱部補修の上、 防水型高弾性アクリルモザイク仕上(シーラー共)	計上済
③	コンクリート化粧打放し面：下地処理の上、高圧洗浄	計上済
⑥	アクリルクリックコート色付け 表面 EP-G塗り 取付金具：シール保護	計上済
⑧	上裏：高圧洗浄の上、軒天用仕上材(シーラー)共 (アクリリシ)	計上済



矩計図 1 1:30

凡例	外壁改修後の仕上
①	高圧洗浄 脆弱部補修の上、シングル塗装仕上げ 2回塗り
②	シングル屋根金物：ケレン(B種)処理、錆止めの上フッ素樹脂塗装
③	50mm二丁平タイル面：薬品洗浄の上、タイルコート仕上げ
④	コンクリート化粧打放し面：下地処理の上、高圧洗浄
⑤	
⑥	既存トップライト アルミ建具
⑦	
⑧	高圧洗浄 脆弱部補修の上、防水型高強度珪酸エポキシ樹脂仕上げ(シーラー共)
⑨	コンクリート化粧打放し面：下地処理の上、高圧洗浄
⑩	ラスタタイル面：高圧洗浄
⑪	コンクリート打放し小軒面：下地処理の上、高圧洗浄
⑫	高圧洗浄 脆弱部補修の上、防水型高強度珪酸エポキシ樹脂仕上げ(シーラー共)
⑬	高圧洗浄の上、軒天用仕上げ塗材(シーラー共)珪酸エポキシ樹脂

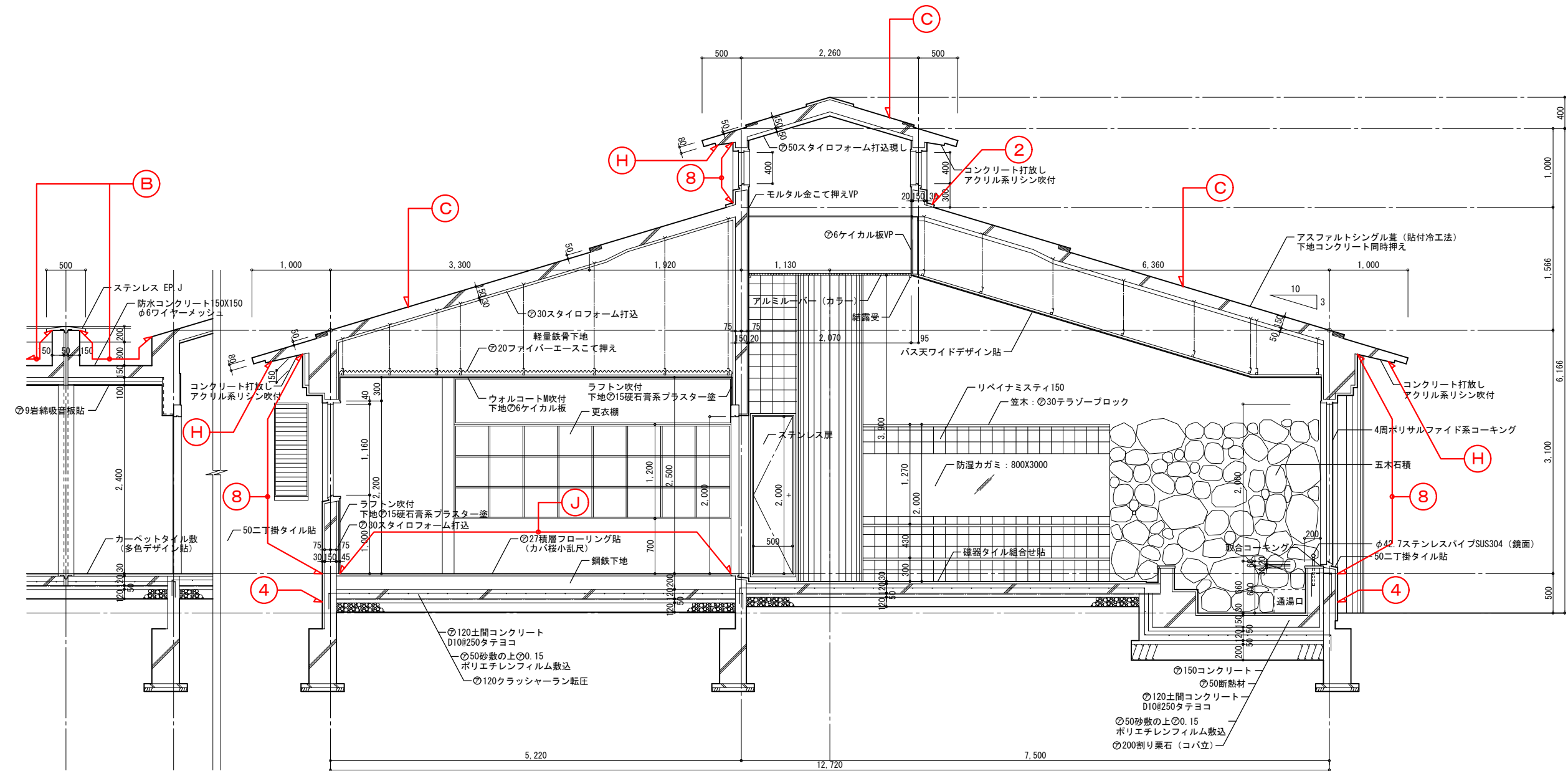
記号	屋根防水改修仕上げ
(A)	高圧洗浄下地処理の上、アクリル系塗膜防水 JIS A6021
(B)	高圧洗浄下地調整材金銀仕上げ(カチン)処理の上、ケレン塗膜防水 特殊補強マット仕上(床面・立上り共) 処熱塗装仕上
(C)	高圧洗浄脆弱部補修の上、シングルカラー塗装仕上げ 2回塗り 金物部(ケラバ、軒先、水切り金物) ケレン(B種)・錆止めの上、フッ素樹脂塗装仕上
(D)	高圧洗浄脆弱部補修の上、ケレン塗膜防水(オーバーレイ工法)
(E)	RD：ケレン清掃の上、環境対応型ケレン球 砂塗り(全数)
(F)	アクリル樹脂トップコート色付け 表面 EP-G塗り 取付金具：シール保護
(G)	縦樋VPφ100 DP塗
(H)	高圧洗浄の上、軒天用仕上げ塗材(シーラー共)アクリル樹脂
(I)	既存タイル撤去の上、ビニル床シート張替 既存タイル仕上げ下地処理の上、ビニル床シート張替(下足室)
(J)	既存t=27mm-リソグ撤去の上、t=15合板+t=12mm-リソグ張替



矩計図 2 1:30

凡例	外壁改修後の仕上
①	高圧洗浄 脆弱部補修の上、シングル塗装仕上げ 2回塗り
②	シングル屋根金物：ケレン(B種)処理、錆止めの上フッ素樹脂塗装
③	50mm二丁平タイル面：薬品洗浄の上、ミラコート仕上げ
④	コンクリート化粧打放し面：下地処理の上、高圧洗浄
⑤	
⑥	既存トップライト アルミ建具
⑦	
⑧	高圧洗浄 脆弱部補修の上、防水型高弾性アクリル樹脂仕上げ(シーラ共)
⑨	コンクリート化粧打放し面：下地処理の上、高圧洗浄
⑩	タイル面：高圧洗浄
⑪	コンクリート打放し小タタキ面：下地処理の上、高圧洗浄
⑫	高圧洗浄 脆弱部補修の上、防水型高弾性アクリル樹脂仕上げ(シーラ共)
⑬	高圧洗浄の上、軒天用仕上げ塗材(シーラ)共 (アクリルシ)

記号	屋根防水改修仕上
(A)	高圧洗浄下地処理の上、アクリルゴム系塗膜防水 JIS A6021 処熱塗装仕上
(B)	高圧洗浄下地調整材金鍍仕上げ(お材)処理の上、アクリル塗膜防水 特殊補強マット仕上(床面・立上り共) 処熱塗装仕上
(C)	高圧洗浄脆弱部補修の上、シングル塗装仕上げ 2回塗り 金物部(ケラバ、軒先、水切り金物) ケレン(B種)・錆止めの上、フッ素樹脂塗装仕上 処熱塗装仕上
(D)	高圧洗浄脆弱部補修の上、アクリル塗膜防水(オーバーレイ工法)
(E)	RD：ケレン清掃の上、環境対応型アクリル樹脂塗料(全数)
(F)	アクリル塗料トップコート色付け 裏面 EP-G塗り 取付金具：シール保護
(G)	縦樋VPφ100 DP塗
(H)	高圧洗浄の上、軒天用仕上げ塗材(シーラ)共 (アクリルシ)
(I)	既存タイルベットの撤去の上、ビニル床シート張替 既存タイル仕上げ下地処理の上、ビニル床シート張替(下足室)
(J)	既存t=27mmリングの撤去の上、t=15合板+t=12mmリング張替
(K)	既存t=55mm撤去の上、木下地+t=15合板+t=12mmリング張替

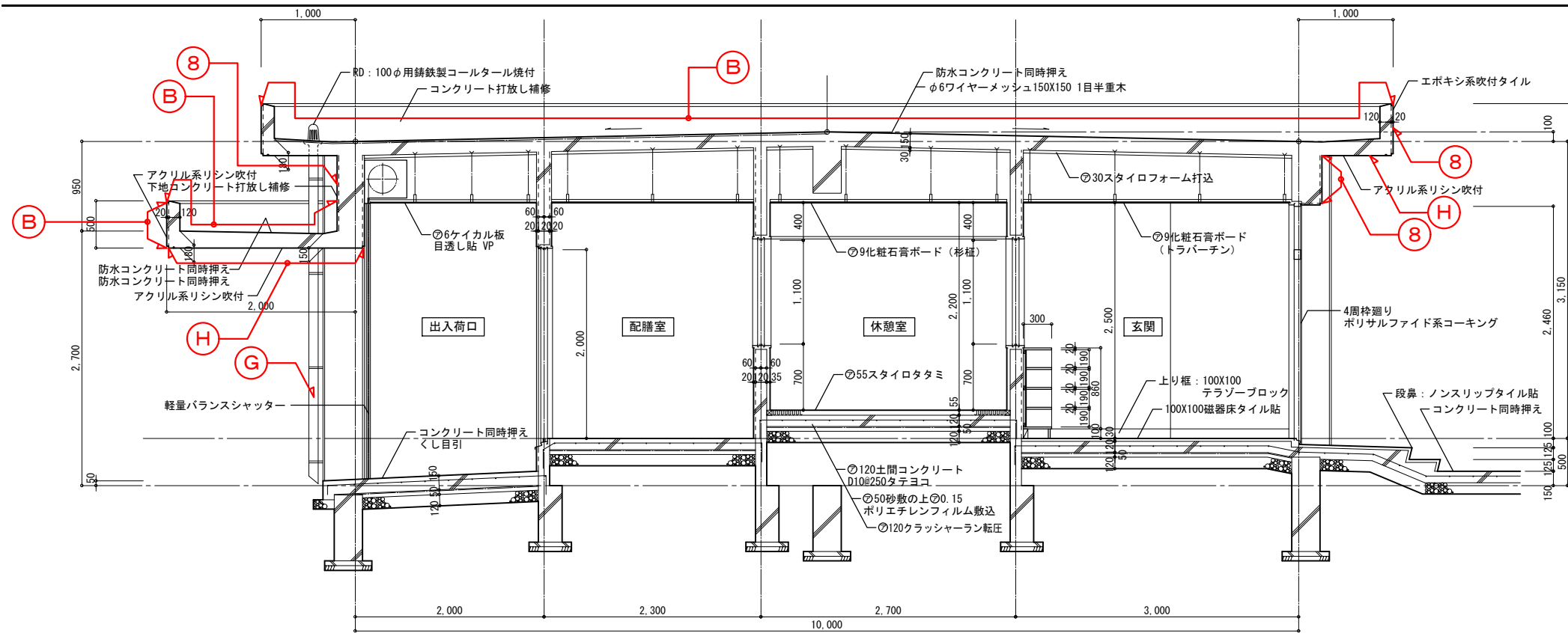


短計図 1:30

凡例	外壁改修後の仕上
①	高圧洗浄 脆弱部補修の上、シングル塗装仕上げ 2回塗り
②	シングル屋根金物：ケレン(B種)処理、 錆止めの上フッ樹脂塗装
③	50mm二丁平タイル面：薬品洗浄の上、タイル仕上げ
④	コンクリート化粧打放し面：下地処理の上、高圧洗浄
⑤	
⑥	既存トップライト アルミ建具
⑦	
⑧	高圧洗浄 脆弱部補修の上、 防水型高弾性アクリル系樹脂仕上げ(シーラー共)
⑨	コンクリート化粧打放し面：下地処理の上、高圧洗浄
⑩	タイル面：高圧洗浄
⑪	コンクリート打放し小片面：下地処理の上、高圧洗浄
⑫	高圧洗浄 脆弱部補修の上、 防水型高弾性アクリル系樹脂仕上げ(シーラー共)
⑬	高圧洗浄の上、軒天用仕上げ塗材(シーラー共) (アクリル系)

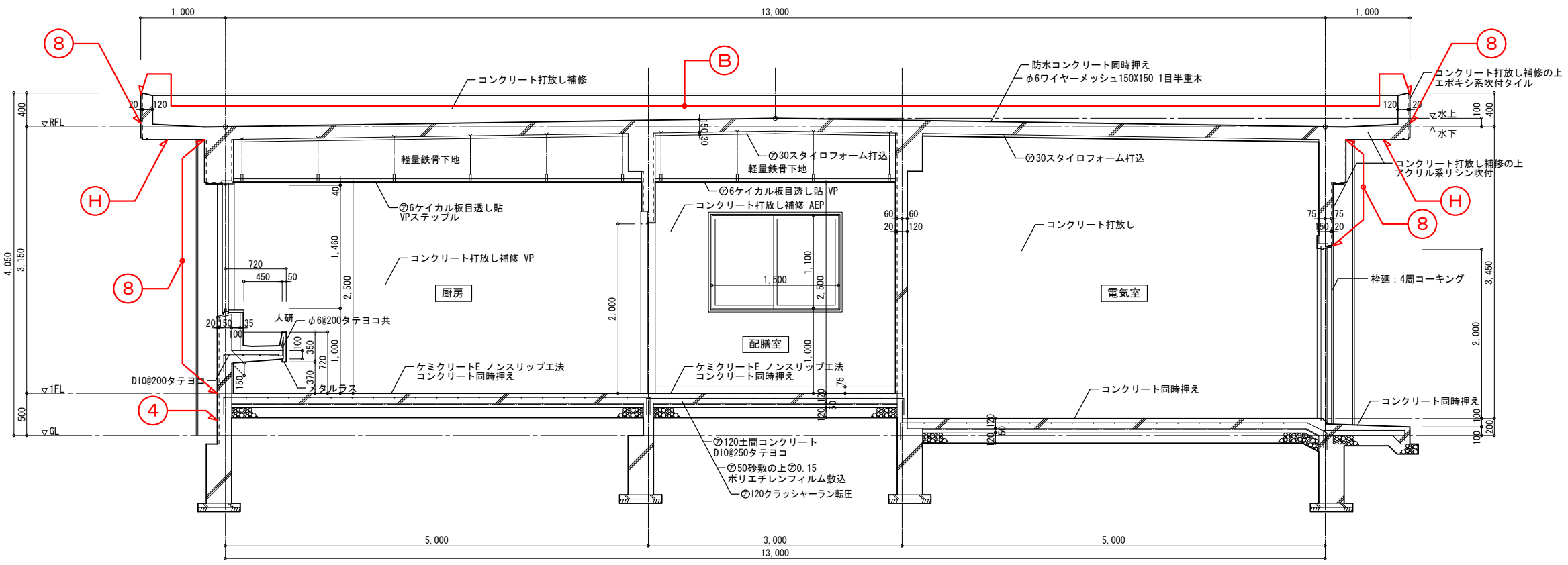
記号	屋根防水改修仕上
(A)	高圧洗浄下地処理の上、アクリル系塗膜防水 JIS A6021
(B)	高圧洗浄下地調整材金鍍仕上げ(カサ)処理の上、 ケレン塗膜防水 特殊補強マット仕上(床面・立上り共)
(C)	高圧洗浄脆弱部補修の上、シングル塗装仕上げ 2回塗り 金物部(ケラバ、軒先、水切り金物) ケレン(B種)・錆止めの上、フッ樹脂塗装仕上
(D)	高圧洗浄脆弱部補修の上、ケレン塗膜防水(オーバーレイ工法)
(E)	R D：ケレン清掃の上、環境対応型ケレン剤仕上げ(全数)
(F)	アクリル系タイルコート色付け 表面 EP-G塗り 取付金具：シール保護
(G)	縦樋VPφ100 DP塗
(H)	高圧洗浄の上、軒天用仕上げ塗材(シーラー共) (アクリル系)
(I)	既存タイル撤去の上、ビニル床シート張替 既存タイル仕上げ下地処理の上、ビニル床シート張替(下足室)
(J)	既存t=27mmタイル撤去の上、t=15合板+t=12mmタイル張替

※ 赤字が、本改修工事を示す。



厨房棟矩計図 1:30

凡例	外壁改修後の仕上
①	高圧洗浄 脆弱部補修の上、シングル塗装仕上げ 2回塗り
②	シングル屋根金物：ケルン(B種)処理、錆止めの上フッ素樹脂塗装
③	50mm二丁平タイル面：薬品洗浄の上、タイルコート仕上げ
④	コンクリート化粧打放し面：下地処理の上、高圧洗浄
⑤	
⑥	既存トップライト アルミ建具
⑦	
⑧	高圧洗浄 脆弱部補修の上、防水型高弾性アクリル樹脂仕上げ(シーラ共)
⑨	コンクリート化粧打放し面：下地処理の上、高圧洗浄
⑩	タイル面：高圧洗浄
⑪	コンクリート打放し小片面：下地処理の上、高圧洗浄
⑫	高圧洗浄 脆弱部補修の上、防水型高弾性アクリル樹脂仕上げ(シーラ共)
⑬	高圧洗浄の上、軒天用仕上げ塗材(シーラ共) (アクリル)



厨房棟矩計図 1:30

記号	屋根防水改修仕上
(A)	高圧洗浄下地処理の上、アクリル系塗膜防水 JIS A6021
(B)	高圧洗浄下地調整材金鍍仕上げ(かぶり)処理の上、ケルン塗膜防水 特殊補強マット仕上(床面・立上り共) 処熱塗装仕上
(C)	高圧洗浄脆弱部補修の上、シングルカラー塗装仕上げ 2回塗り 金物部(ケラバ、軒先、水切り金物) ケルン(B種)・錆止めの上、フッ素樹脂塗装仕上
(D)	高圧洗浄脆弱部補修の上、ケルン塗膜防水(オーバーレイ工法)
(E)	RD：ケルン清掃の上、環境対応型ケルン 衫塗り(全数)
(F)	アクリル樹脂トップコート色付け 裏面 EP-G塗り 取付金具：シール保護
(G)	縦樋VPφ100 DP塗
(H)	高圧洗浄の上、軒天用仕上げ塗材(シーラ)共 (アクリル)
(I)	既存タイルベットの撤去の上、ビニルシート張替 既存タイル仕上げ下地処理の上、ビニルシート張替(下足室)
(J)	既存t=270mmリソグ撤去の上、t=15合板+t=1270mmリソグ張替

矩計図 4

既存仕上の上に、
防滑塗装 68㎡
防滑塗装：溶剤形アクリル樹脂系
(セーフティコート®塗装)

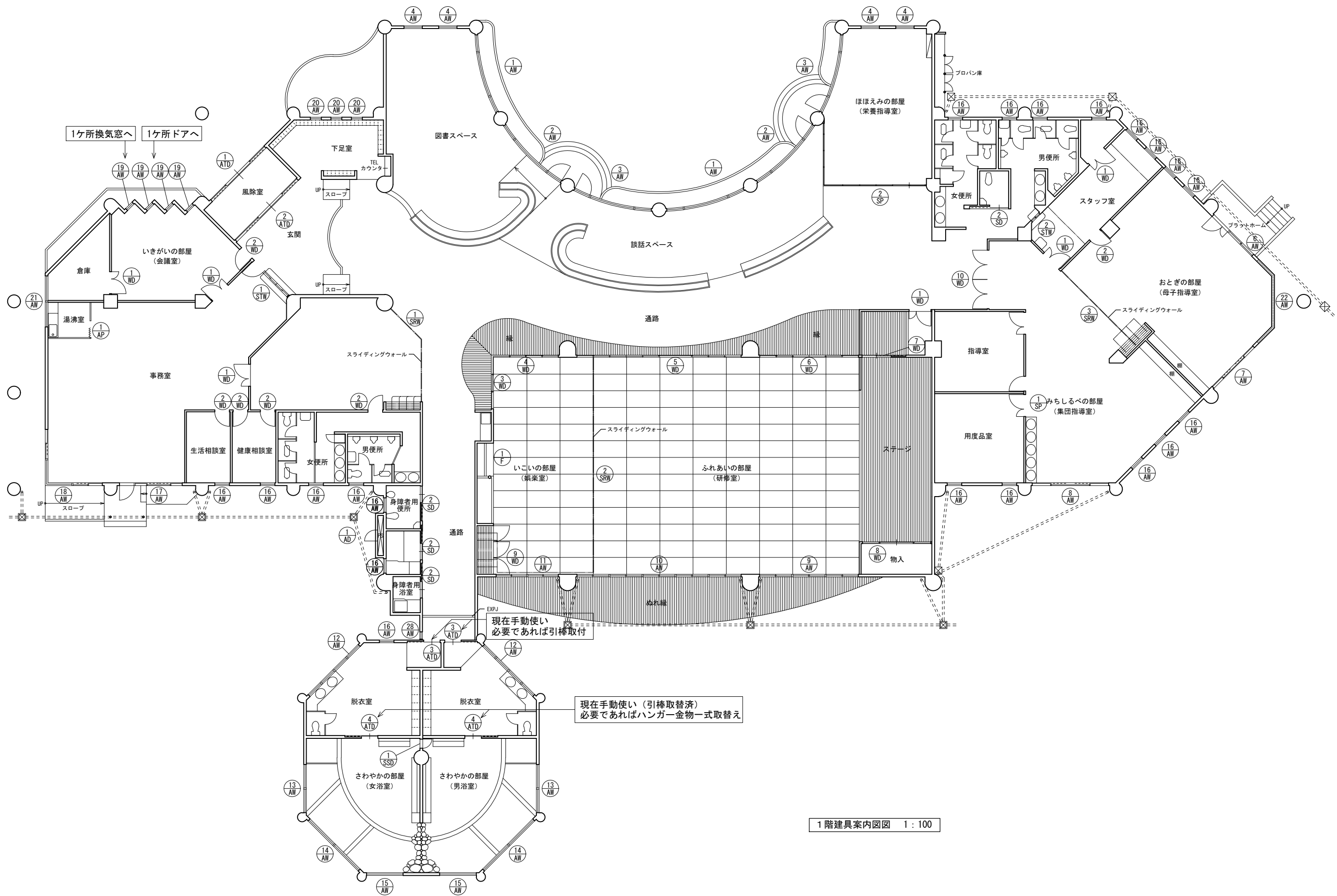
既存仕上撤去
t=2.5ビニル床シート張り

既存仕上撤去
t=12フローリング張替

改修前厨房・機械室 1:100

1階平面図 1:100

- ビニル床シート張替 337室倉庫
629.33-4.64+1.60+3.75+3.7m²=633.74m²
- 既存タイル・ベニヤ撤去面積
629.33-4.64+1.60+3.75+3.7m²=633.74m²
- フローリング張替 22.63+25.54=48.17m²



現在手動使い
必要であれば引棒取付

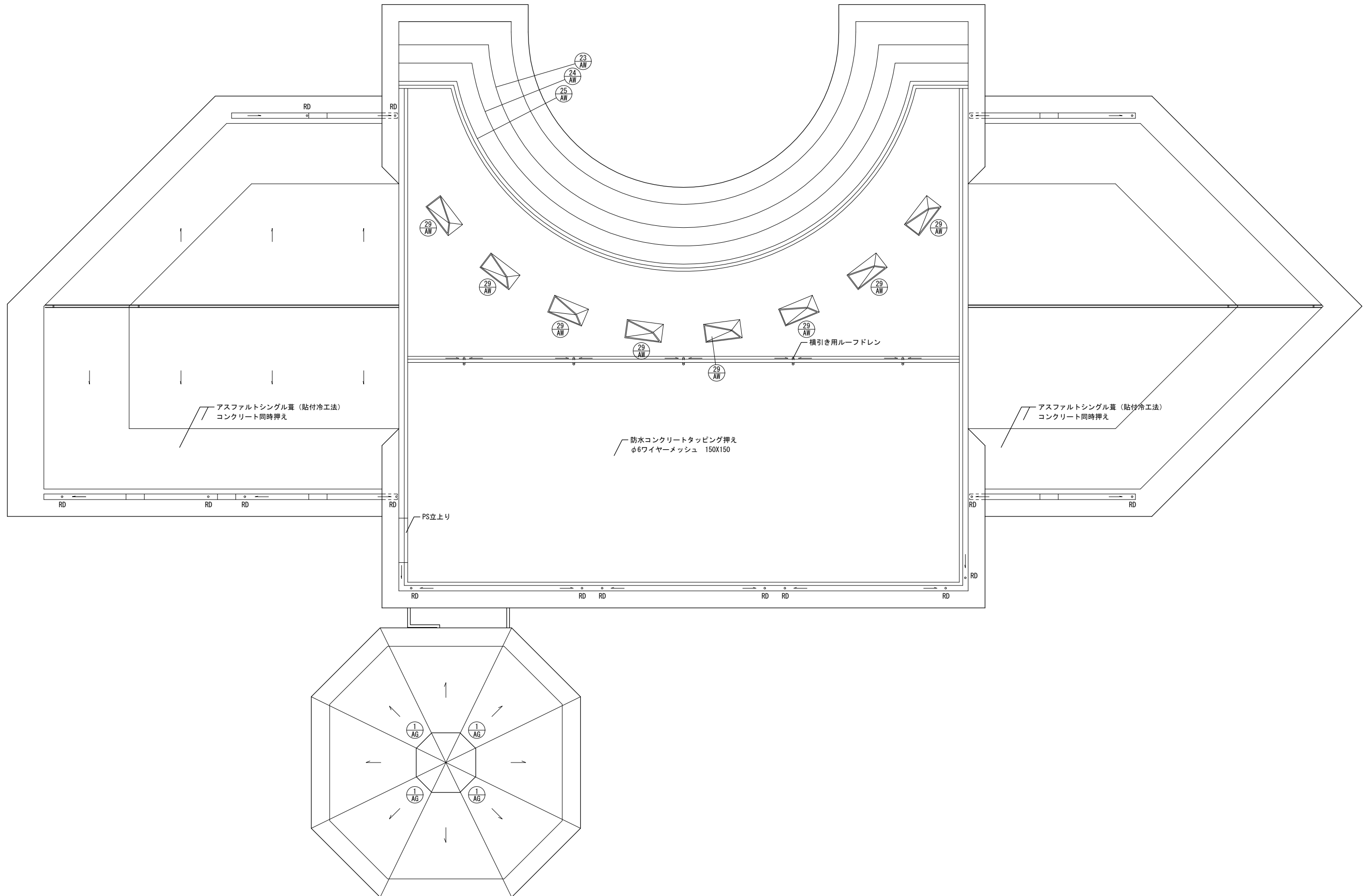
現在手動使い（引棒取替済）
必要であればハンガー金物一式取替え

1階建具案内図 1:100

着工	
竣工	
監理	
施工	

EIS 株式会社 衛藤中山設計

JOB TITLE	志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事	一級建築士事務所	第1-3-153号
DRAWING TITLE	改修建具案内図1（本館）	鹿児島県知事登録	
SCALE	A1:1/100 A3:1/200	一級建築士	211839号 中山 高士
			A — 19



着工	
竣工	
監理	
施工	

EIS 株式会社 衛藤中山設計

JOB TITLE	志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-3-153号
DRAWING TITLE	改修建具案内図2 (本館)	一級建築士 211839号 中山 高士
SCALE	A1:1/100 A3:1/200	A — 20

DATE

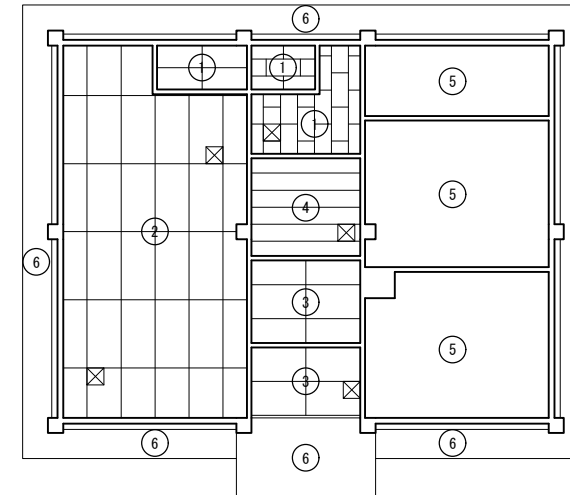
※排煙窓排煙調整：動作確認調整（油差し程度）のみで部品交換無し：不二サッシ制定部品
 ※引違い・ドア・突出し・ルーバーは部品調整（油差し程度）及び建付調整のみで部品交換無し：不二サッシ制定部品

符号及数量	①AW 排煙調整 2	②AW 排煙調整・ドア調整 2	③AW 排煙調整・ドア調整 2	④AW フライド'新設 2か所 8	⑤AW 排煙調整・建付調整 1	⑥AW 建付調整 1		
図								
型式	4段3連フィックス窓 (AW-1' 欄間排煙窓付4段3連アルミ窓)	4段3連フィックス窓 (袖片開き戸) (AW-2' 欄間排煙窓付4段3連アルミ窓 (袖片開き戸))	4段3連フィックス窓 (袖片開き戸) (AW-2' 欄間排煙窓付4段3連アルミ窓 (袖片開き戸))	フィックスアルミ窓	欄間排煙窓付引違い窓 (親子開き戸付)	両袖引き込みアルミ窓		
見込	100	100	100	70	70	70		
仕上	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒艶消し)	アルミカラー (黒艶消し)		
硝子	袖欄間 ⑦6m/m レフシャイン 中央部 ⑧8m/m フロート硝子	袖欄間 ⑦6m/m レフシャイン 中央部 ⑧8m/m フロート硝子	袖欄間 ⑦6m/m レフシャイン 中央部 ⑧8m/m フロート硝子	⑦6 高性能熱線反射硝子レフシャイン	⑦5m/mフロート硝子	⑦5m/mフロート硝子		
金物	付属金物一式 排煙装置 (紐式)	DCステンレス丁番三枚吊、握り枠	DCステンレス丁番三枚吊、握り枠	付属金物一式	DCステンレス丁番三枚吊、握り枠	レバーハンドル 付属金物一式		
備考	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒) 厚下枠ステンレス	アルミ額縁 (黒)		
符号及数量	⑧AW 建付調整 1	⑨AW 建付調整 1	⑩AW 排煙調整・建付調整 1	⑪AW 排煙調整・建付調整 1	⑫AW 排煙調整 2			
図								
型式	両袖引き込みアルミ窓	欄間フィックス3連 アルミ引違い窓	欄間排煙窓付5連 アルミ引違い窓	欄間排煙窓2連引違い窓	4連排煙窓			
見込	70	70	70	70	70			
仕上	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)			
硝子	⑦5m/mフロート硝子	⑦5m/mフロート硝子	⑦5m/mフロート硝子	⑦5m/mフロート硝子	⑦5m/mフロート硝子			
金物	レバーハンドル 付属金物一式	クレセント他一式	クレセント 排煙装置 (紐式) 他一式	クレセント 排煙装置 (紐式) 他一式	付属金物一式 (排煙装置 紐式)			
備考	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)			
符号及数量	⑬AW 2	⑭AW 2	⑮AW 2	⑯AW 部品調整 20	⑰AW 排煙調整・建付調整 1	⑱AW 建付調整 1	⑲AW 4	⑳AW 3
図								
型式	アルミ可動ガラリ付2連フィックスアルミ窓	2連フィックス窓	フィックス窓	3段突出し窓	両袖引き込み窓 (欄間排煙窓付片開きドア付)	袖引き込み戸付3連アルミ窓	3段アルミフィックス窓	フィックス窓
見込	70	70	70	70	70	70	70	70
仕上	アルミカラー (黒艶消し)	アルミカラー (黒艶消し)	アルミカラー (黒艶消し)	アルミカラー (黒艶消し)	アルミカラー (黒艶消し)	アルミカラー (黒艶消し)	アルミカラー (黒艶消し)	アルミカラー (黒艶消し)
硝子	⑦5m/mフロート硝子	⑦6m/mフロート硝子	⑦6m/mフロート硝子	⑦5m/mフロート硝子	⑦5m/mフロート硝子	⑦5m/mフロート硝子	⑦6m/m高性能熱線反射硝子レフシャイン	⑦5m/mフロート硝子
金物	ガラリ手動装置 (手動) 付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	レバーハンドル DCステンレス丁番三枚吊 握り枠付 シリンダー錠 排煙装置 (紐付)	レバーハンドル他付属金物一式	付属金物一式 (排煙装置 紐式)	付属金物一式
備考	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)
符号及数量	⑳AW 1	㉑AW 全面'新設 1	㉒AW 1	㉓AW 1	㉔AW 1	㉕AW 1	㉖AW 1	㉗AW 1
図								
型式	4段2連フィックス窓	2段2連フィックス窓	多面フィックスアルミ連窓	多面フィックスアルミ連窓	多面フィックスアルミ連窓	多面フィックスアルミ連窓	多面フィックスアルミ連窓	多面フィックスアルミ連窓
見込	70	70	70	70	70	70	70	70
仕上	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)
硝子	⑦6m/m高性能熱線反射硝子レフシャイン 上部8m/m高性能レフシャイン	⑦6m/m高性能熱線反射硝子レフシャイン 上部8m/m高性能レフシャイン	⑦6m/m高性能熱線反射硝子レフシャイン	⑦6m/m高性能熱線反射硝子レフシャイン	⑦6m/m高性能熱線反射硝子レフシャイン	⑦6m/m高性能熱線反射硝子レフシャイン	⑦6m/m高性能熱線反射硝子レフシャイン	⑦6m/m高性能熱線反射硝子レフシャイン
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁結露受け型	アルミ額縁結露受け型	アルミ額縁結露受け型	アルミ額縁結露受け型	アルミ額縁結露受け型	アルミ額縁結露受け型

符号及数量	部品・作動調整 2	8	4					
姿 図								
型 式	アルミジャロジー窓		アルミガラリ戸					
見 込	70	70	70					
仕 上	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒)	アルミカラー (黒艶消し)					
硝 子	⑦ 6.8m/m線入り板硝子	8m/m高性能レフシャイン	付属金物一式					
金 物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式					
備 考	アルミ額縁 (黒)	アルミ額縁 (黒)	ステンレス水返し SUS 304 アルミ額縁 (黒艶消し)					
符号及数量	1	4	1	1	建付調整 1	建付調整 1	現在手動：建付調整 引棒新設 (必要であれば) 2	
姿 図								
型 式	2連両開き木製フラッシュドア	片引きアーキッドア (自動ドア) タッチ式	両引きステンレス窓 袖木扉付	ステンレス引違い窓	引き分けアルミ框ドア	引き分けアルミ框ドア	片開きアルミオートドア	
見 込	ドア40 枠180 スチールOP	40	70	70	100	100	100	
仕 上	ベルビアンシート貼2色貼り分け	スチールOP	ステンレス鏡面仕上 (枠共)	ステンレスヘアライン	ステンレス鏡面仕上	ステンレス鏡面仕上	アルミカラー (黒)	
硝 子	⑦ 6m/mフロート硝子	⑦ 4m/m型板硝子	⑦ 5m/mフロート硝子	⑦ 5m/mフロート硝子	⑦ 6m/mフロート硝子 一部プラスト加工 (摺り)	⑦ 6m/mフロート硝子 一部プラスト加工 (摺り)	⑦ 6m/mフロート硝子	
金 物	フロアヒンジ (ストッパーナシ)、引手、シリンドア錠	シリンドア錠、ステンレス引手	襷レール	襷レール	自動ドアエンジン (アラビアン)、光電スイッチ	自動ドアエンジン (アラビアン)、光電スイッチ	自動ドアエンジン (アラビアン)	
備 考	サムターン付	ワンタッチスイッチ	枠三方ステンレス	枠三方ステンレス	フロアレール、シリンドア錠 (ステンレス三方枠鏡面仕上)	フロアレール、シリンドア錠 (ステンレス三方枠鏡面仕上)	ワンタッチスイッチ (身障者WC同等) 下枠ステンレス	
符号及数量	2	6	6	1	1	1	1	
姿 図	現在手動状態：手動ハンガ り又は調整のみ 	一部品取替え (無目内レールごと一式) 						
型 式	片開きアルミオートドア	親子開き木製フラッシュ戸 (メラミン)	片開き木製フラッシュ戸 (メラミン)	3枚立て木製フラッシュ戸	4枚立て木製フラッシュ戸 (4本引き)	5枚立て木製フラッシュ戸×2 (5本引き)		
見 込	100	ドア36	ドア36	ドア40	ドア40	ドア40		
仕 上	アルミカラー (黒)	ドア：ベルビアンシート貼 枠：スチールOP	ドア：ベルビアンシート貼 枠：スチールOP	和室 布クロス貼 (2色貼り分け) 通路 ベルビアンシート貼エッジ～真中板 (Uエッジ)	和室 布クロス貼 (2色貼り分け) 通路 ベルビアンシート貼エッジ～真中板 (Uエッジ)	和室 布クロス貼 (2色貼り分け) 通路 ベルビアンシート貼エッジ～真中板 (Uエッジ)		
硝 子	⑦ 5m/mフロート硝子	⑦ 4m/m型板	⑦ 4m/m型板					
金 物	自動ドアエンジン (アラビアン)	DCステンレス丁板三枚摺り	DCステンレス丁板三枚摺り	平戸車 4個/枚 引手	平戸車 4個/枚 引手	平戸車 4個/枚 引手		
備 考	ワンタッチスイッチ	フランスオドシ、握り玉付シリンドア錠	握り玉付シリンドア錠					
符号及数量	1	1	1	1	1	1		
姿 図								
型 式	3枚立て木製フラッシュ戸×2	2枚立て引き込み戸	2連引き違い木製フラッシュ戸	両開き木製フラッシュ戸	両開き襖			
見 込	ドア40	ドア40	ドア40	ドア40	21			
仕 上	和室 布クロス貼 (2色貼り分け) 通路 ベルビアンシート貼 押え～真中板 Uエッジ	メラミン化粧版	メラミン化粧版	布 クロス貼	シントリノコ貼			
硝 子								
金 物	平戸車 4個/枚 引手	戸車、引手 ステンレスレール U-体型	戸車、引手 ステンレスレール U-体型	ステンレス丁板 4枚摺り 引手	付属金物一式			
備 考		枠スチールOP	枠スチールOP					

符号及数量	① 1	② 1	③ 1
姿 図			
型 式	スライディングウォール (詳細図参照)	スライディングウォール (詳細図参照)	スライディングウォール (詳細図参照)
見 込			
仕 上	ベルビアンシート貼	布クロス貼	ベルビアンシート貼
子			
金 物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備 考			
符号及数量	④ 1	⑤ 1	
姿 図			
型 式	スチールパーテーション	スチールパーテーション	
見 込	60	60	
仕 上	化粧鋼板 裏打 12PB	化粧鋼板 裏打 12PB	
子	欄間3m/m透明	欄間5m/m透明	
金 物	付属金物一式	付属金物一式	
備 考			
符号及数量	⑥ 1	⑦ 1	
姿 図			
型 式	アルミパーテーション	アルミフラッシュドア	
見 込	パネル32 スタッド50	70	
仕 上	化粧鋼板	アルミシルバー	
子	⑦ 3m/m透明硝子		
金 物	付属金物一式	シリンダー錠他付属金物一式	
備 考	後付タイプ 巾木材		
符号及数量			
姿 図			
型 式			
見 込			
仕 上			
子			
金 物			
備 考			

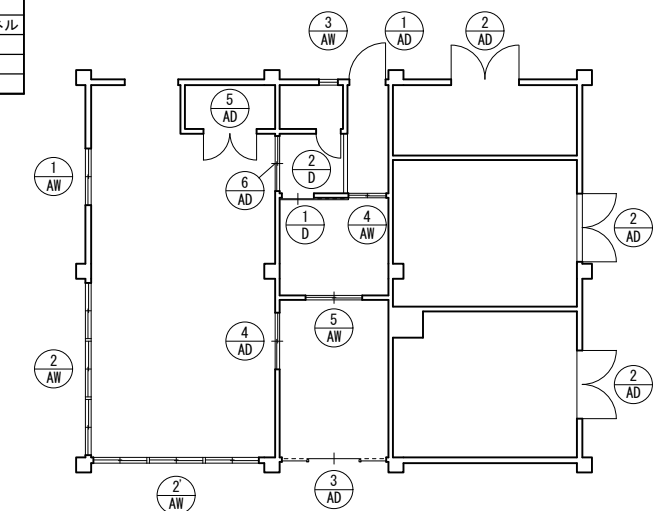
着工	
竣工	
監理	
施工	



符号	仕上表
①	◎9化粧石膏ボード貼 (トラバーチン)
②	◎6ケイカル板目透し貼 VPスティップル
③	◎6ケイカル板目透し貼 VP
④	◎9化粧石膏ボード貼 (杉板)
⑤	◎30スタイロフォーム現し
⑥	アクリル系リシン吹付 下地コンクリート打放し補修
☒	450角アルミ天井点検口

天井伏図 1 : 100

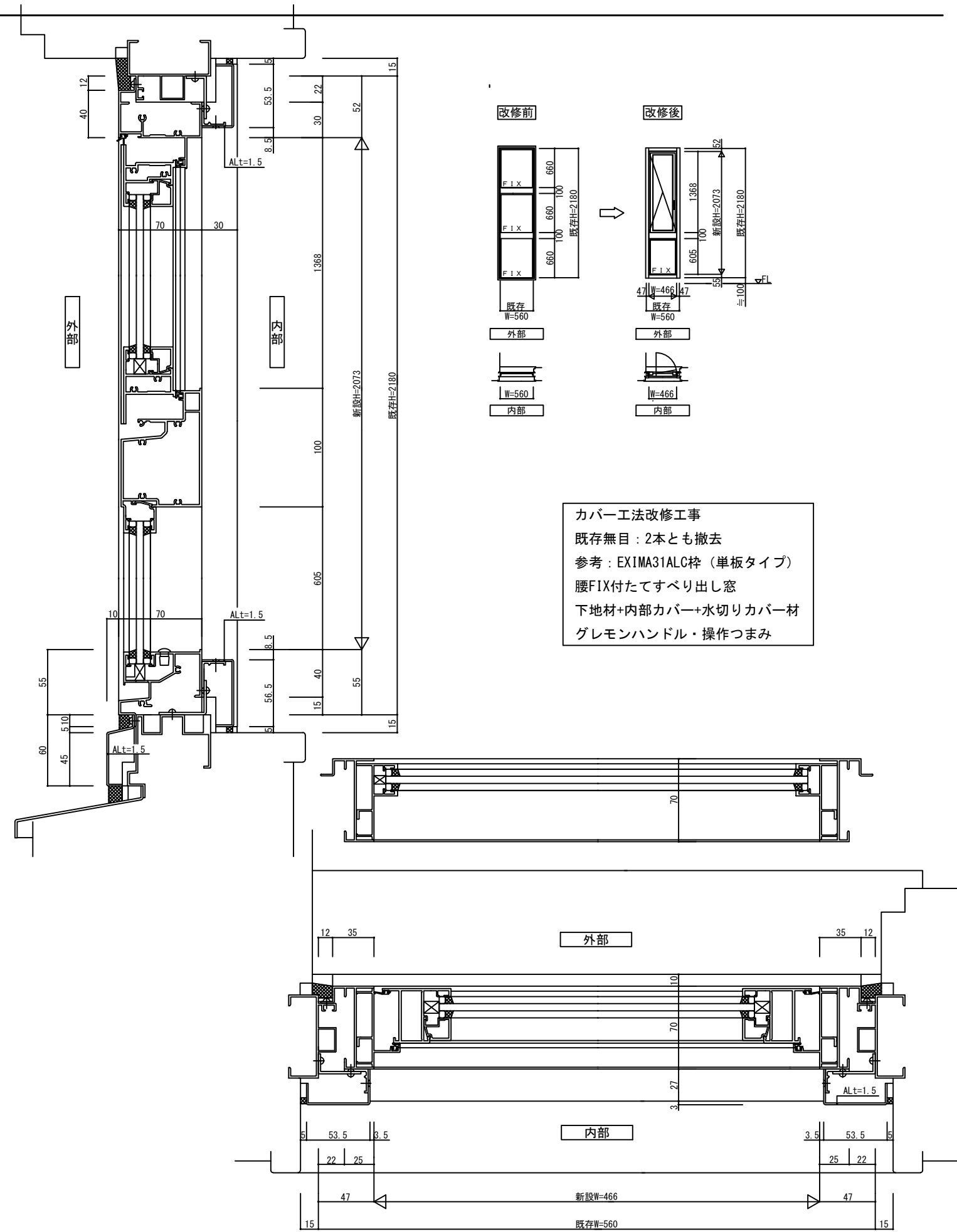
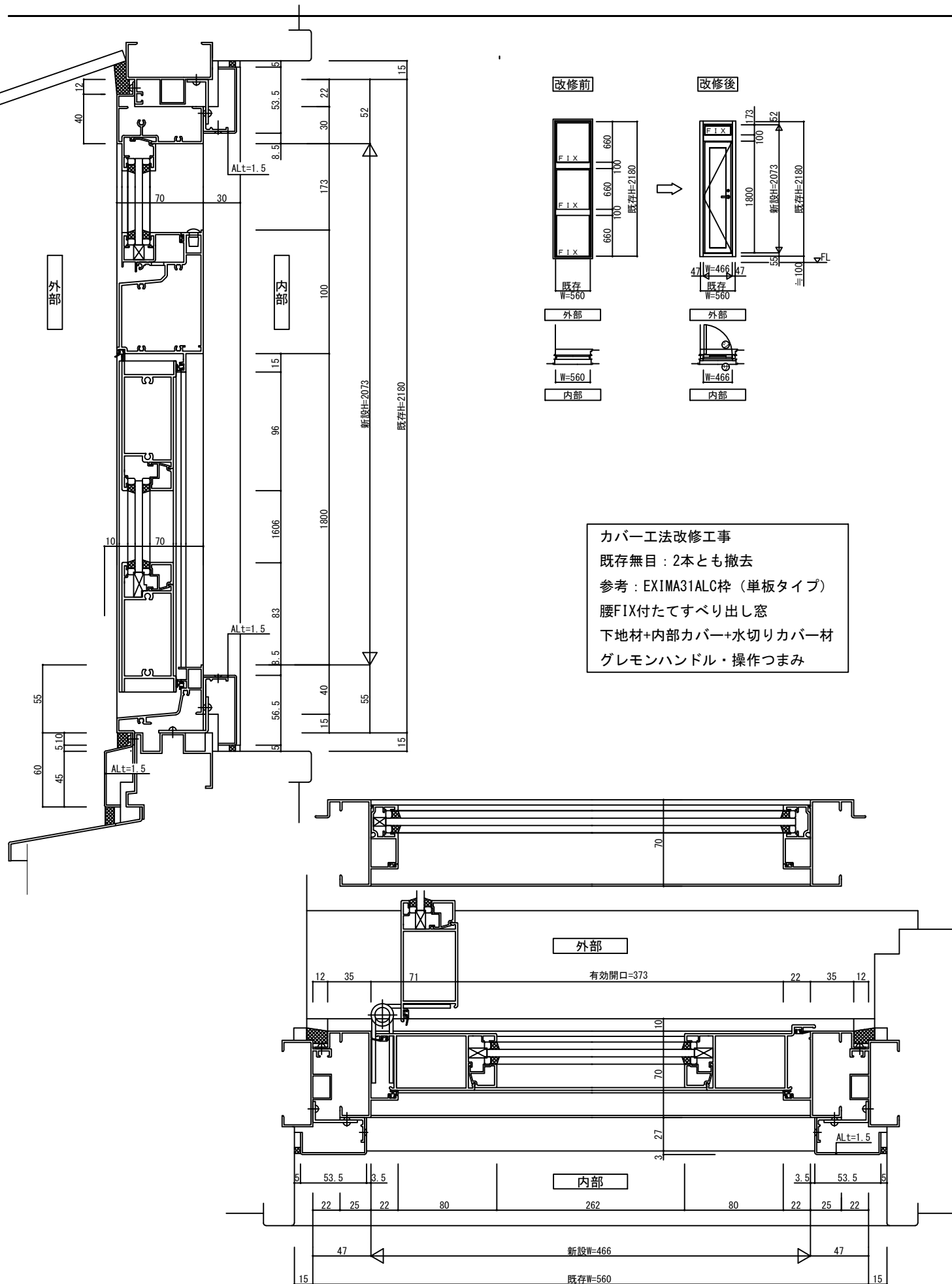
符号及数量	AW-1 建具調整・網戸張替え 1	AW-2, AW-2' 建具調整・網戸張替え (2ヶ所共) 1, (1)	AW-3 ガラスハ-調整 ・網戸張替え 1	AW-4 1	AW-5 1	
姿 図						
型式	引違いアルミ窓 (網戸付)	3連引違いアルミ窓 (網戸付)	アルミジャロジ-窓 (網戸付)	引違いアルミ窓 (網戸付)	引違いアルミ窓 (網戸付)	
見込	70	70	70	70	70	
仕上	アルミカラー: 黒	アルミカラー: 黒	アルミカラー: 黒	アルミカラー: 黒	アルミカラー: 黒	
硝子	5m/mフロート	5m/mフロート	6.8線入型	4m/m型	4m/m型	
金物	クレセント 他一式	クレセント 他一式	付属金物一式	クレセント 他付属金物一式	クレセント 他付属金物一式	
備考	アルミ額縁 アルミ水切	アルミ額縁 アルミ水切	アルミ額縁 アルミ水切	アルミ額縁 アルミ水切	アルミ額縁 アルミ水切	
符号及数量	AD-1 排煙錠調整・建付調整 1	AD-2 建付調整 3	AD-3 建付調整 1	AD-4 (将来撤去予定) 1	AD-5 (将来撤去予定) 1	AD-6 (将来撤去予定) 1
姿 図						
型式	ランマ排煙窓付片開きアルミ戸	両開きアルミ扉戸	引分けアルミ戸	引分けアルミ吊戸	両開きアルミフラッシュ戸	引違いアルミ戸
見込	70	70	70	70	70	70
仕上	アルミカラー: 黒	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー
硝子	ランマ: 3m/m透明, 戸: 5m/mフロート	上段: 6.8網入透明, 下段: ガラリ	上段: 5m/mフロート, 下段: 3m/mアルミパネル	上段: 5m/mフロート, 下段: 3m/mアルミパネル	—	上段: 5m/mフロート, 下段: 3m/mアルミパネル
金物	DC 押棒 (2) ステンレス丁番3枚吊 ヒモ付オペレーター シリンダー本錠錠⑤	DC フランス落し 握玉付シリンダー錠	クレセント 他付属金物一式	吊戸用金物 カマ錠 他付属金物一式	空錠 フランス落し DC	他付属金物一式
備考	下枠ステンレス	下枠ステンレス	下枠ステンレス	—	ステンレス丁番3枚吊 他付属金物一式	ステンレスレール
符号及数量	SS-1	D-1 (将来撤去予定) 1	D-2 1	D-3 1		
姿 図						
型式	軽量バランスシャッター	片引き木製戸	片引き木製戸	トイレブース (既製品)		
見込	—	32	38	40		
仕上	スチール 焼付塗装	片面新鳥ノ子貼, ポリ合板貼	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ		
硝子	—	—	4m/m型	—		
金物	マグサ、ガイドレール、水切、座板: 全てステンレス	引手 戸車 戸滑り 他一式	空錠 ステンレス丁番3枚吊	アルミ型材 笠木ステンレス		
備考	他付属金物一式	他一式	足ステンレス 表示錠 他一式	EA		

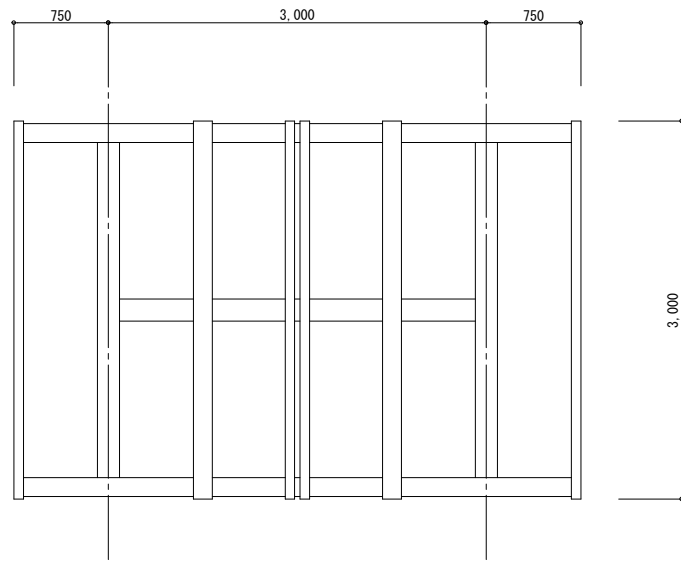


着工	
竣工	
監理	
施工	

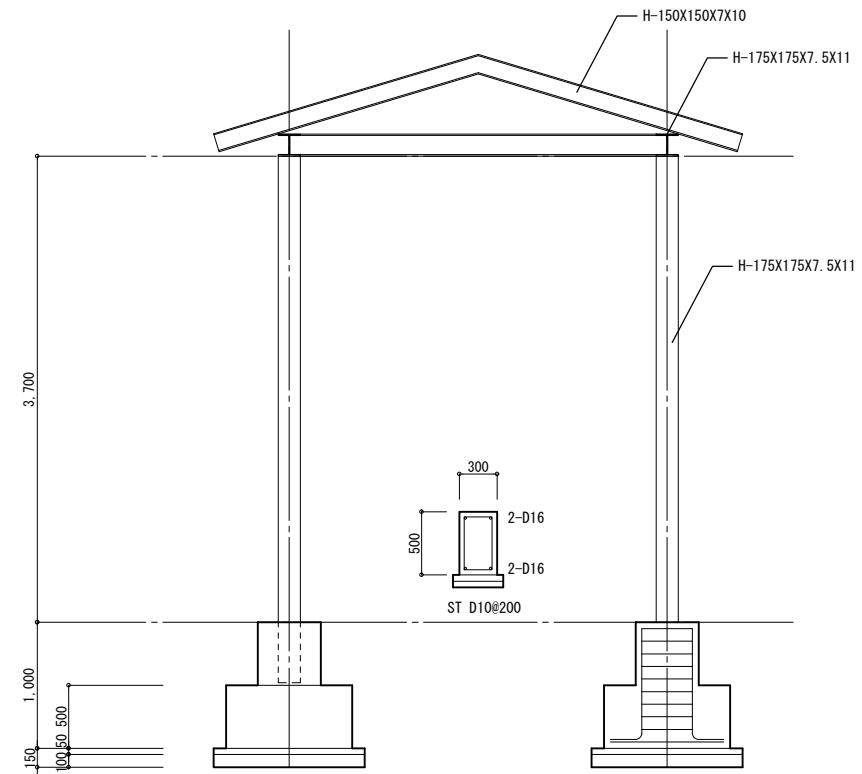
株式会社 衛藤中山設計

JOB TITLE	志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事	一級建築士事務所	第1-3-153号
DRAWING TITLE	改修建具表4, 天井伏図 (現況) (厨房・機械室棟)	鹿児島県知事登録	
SCALE	A1:1/100 A3:1/200	一級建築士 211839号 中山 高士	

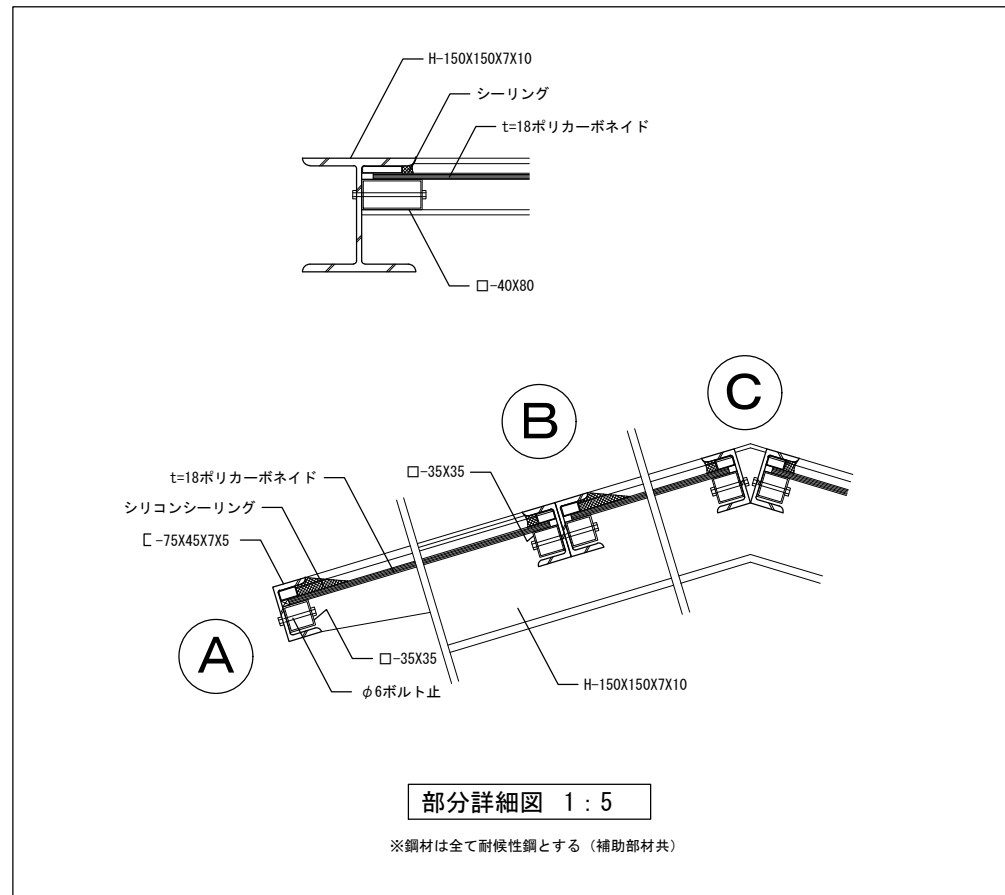




屋根伏図 1:30

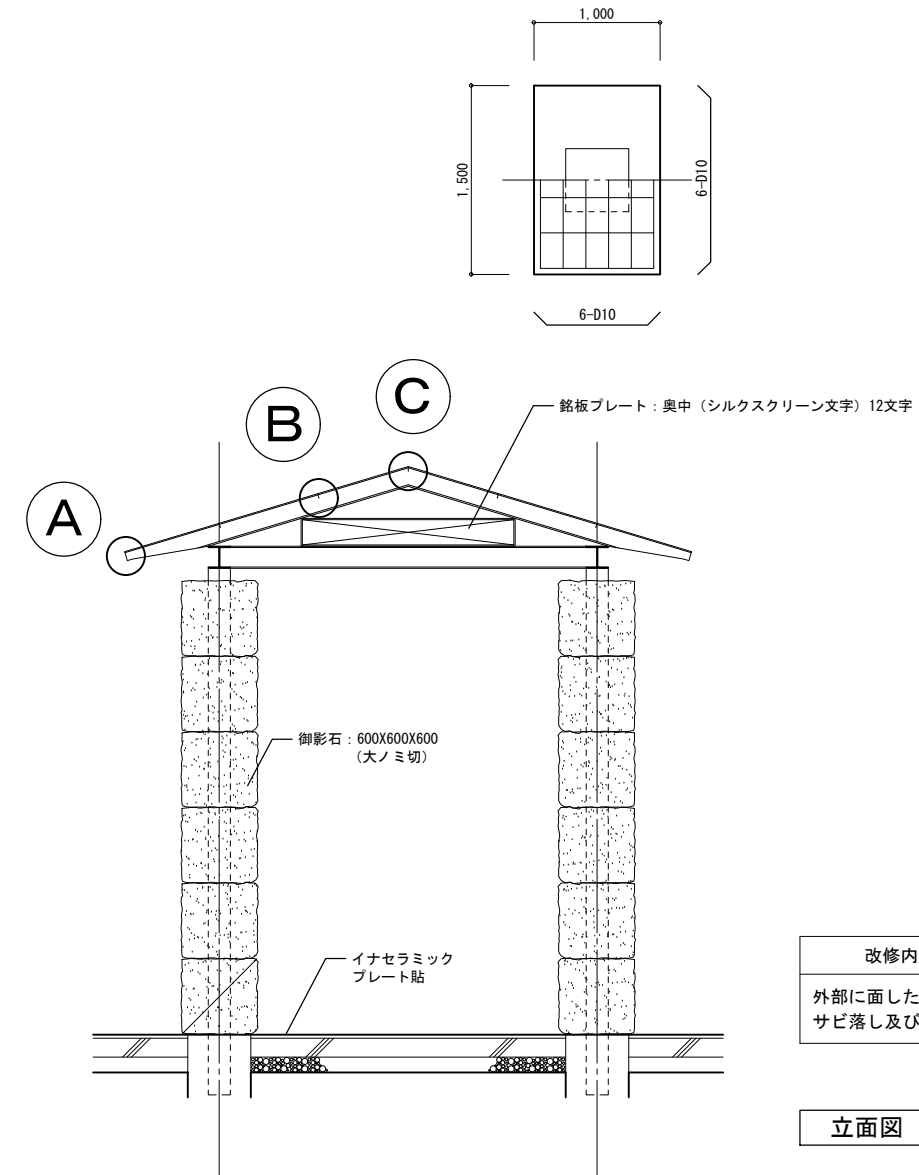


断面図 1:30



部分詳細図 1:5

※鋼材は全て耐候性鋼とする(補助部材共)



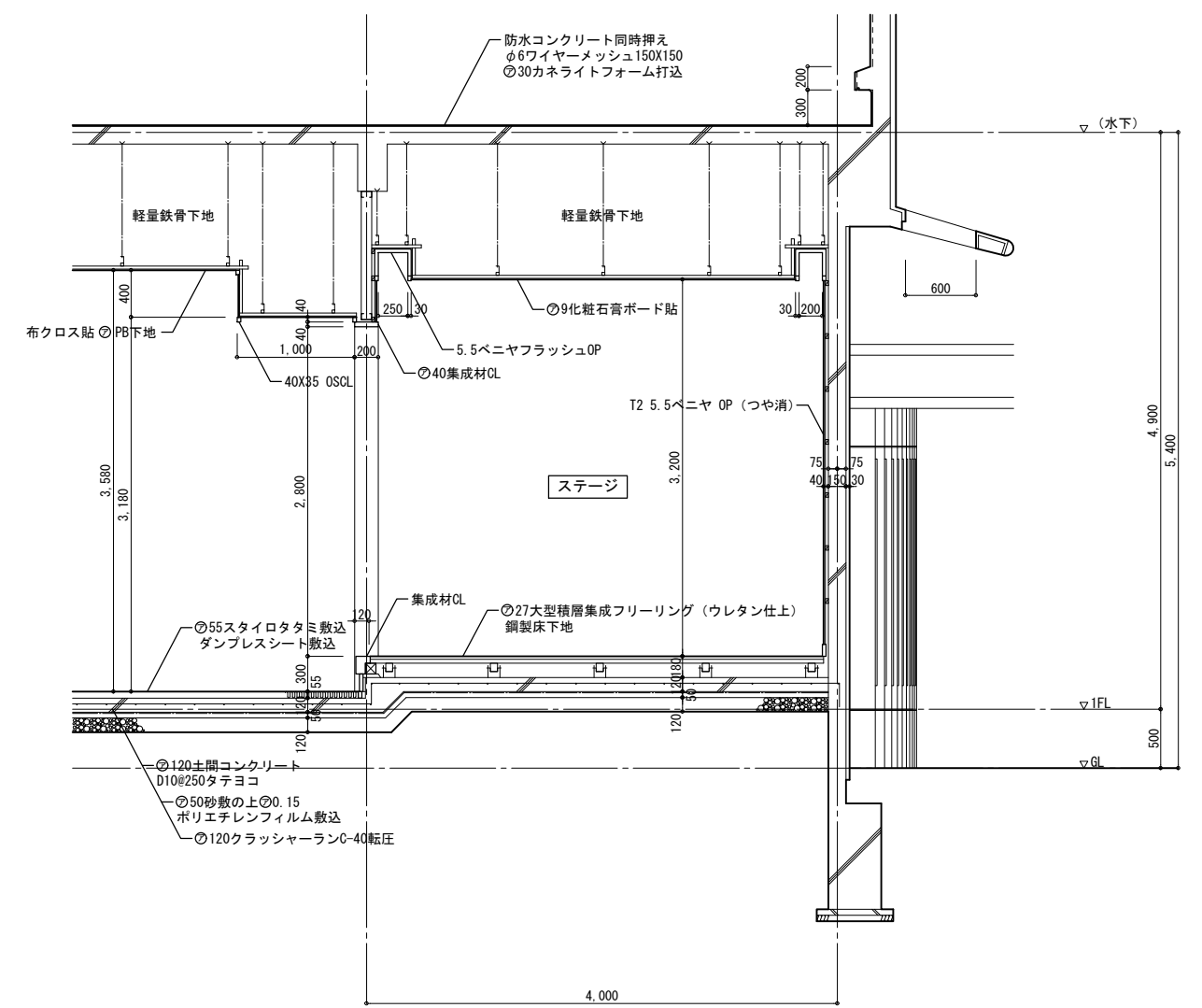
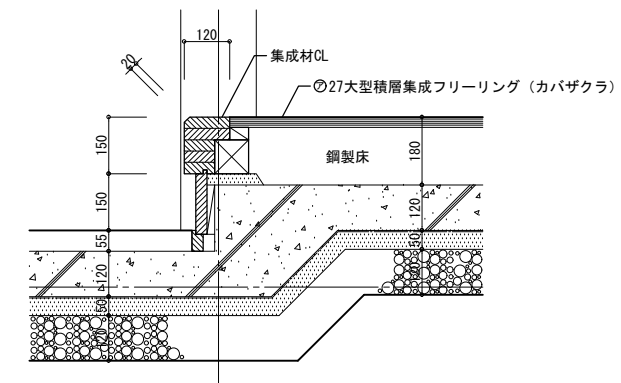
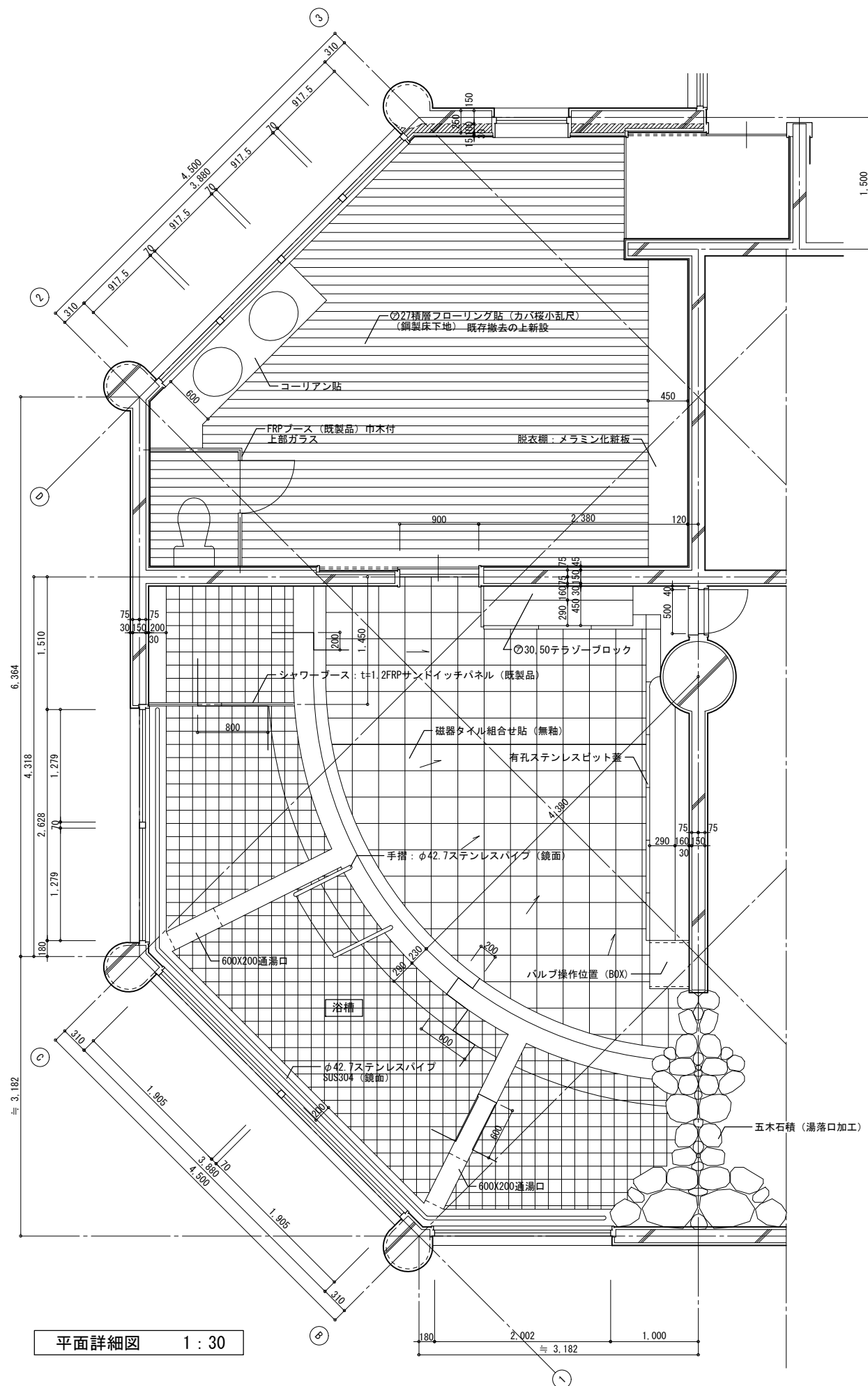
改修内容	DP塗装
外部に面した鉄部のサビ落とし及び塗装更新	24.16㎡

立面図 1:30

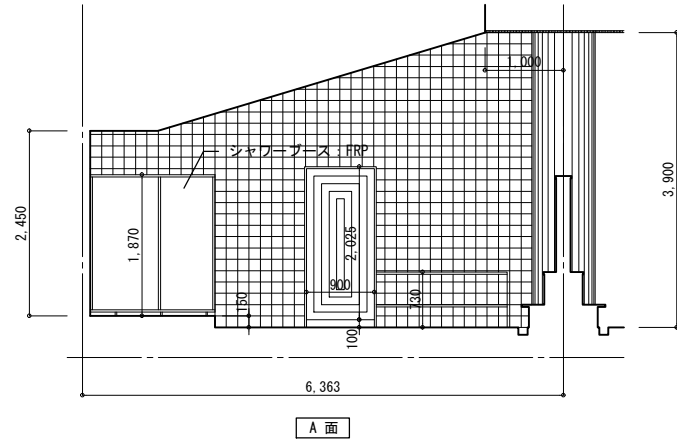
着工	
竣工	
監理	
施工	

株式会社 衛藤中山設計

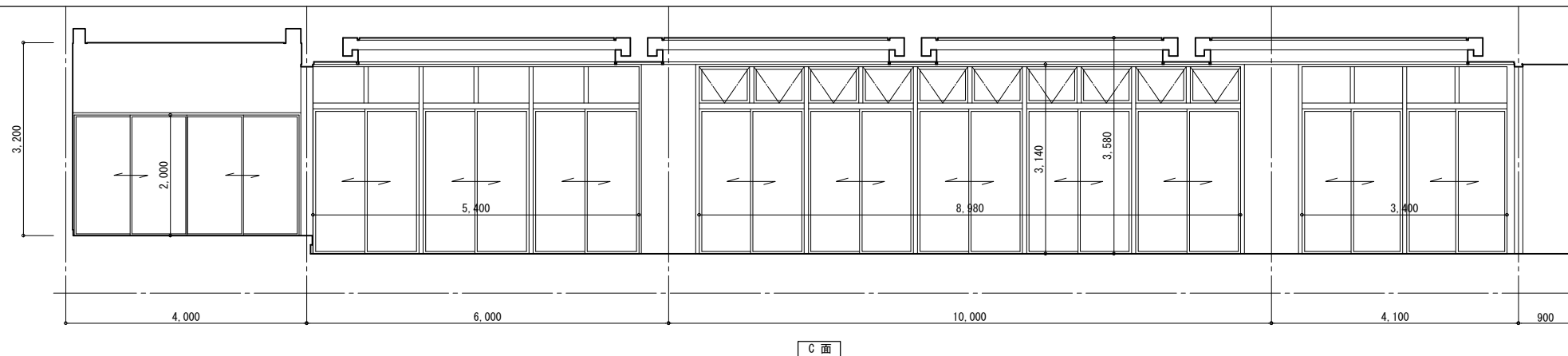
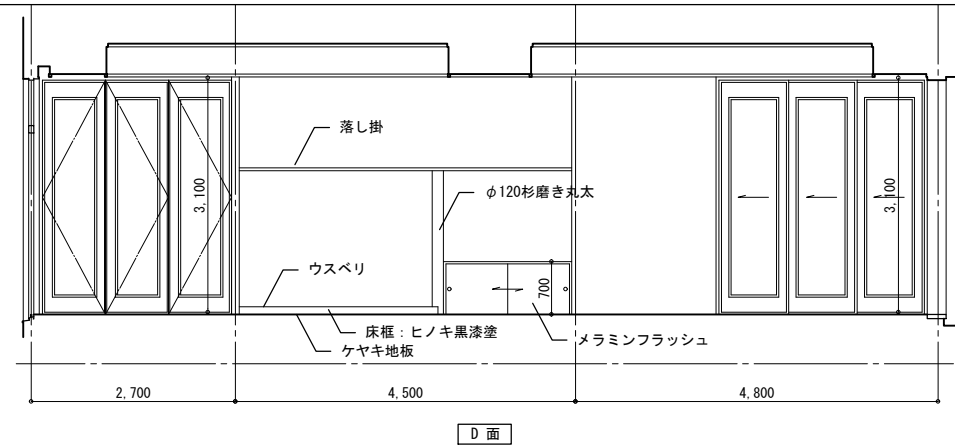
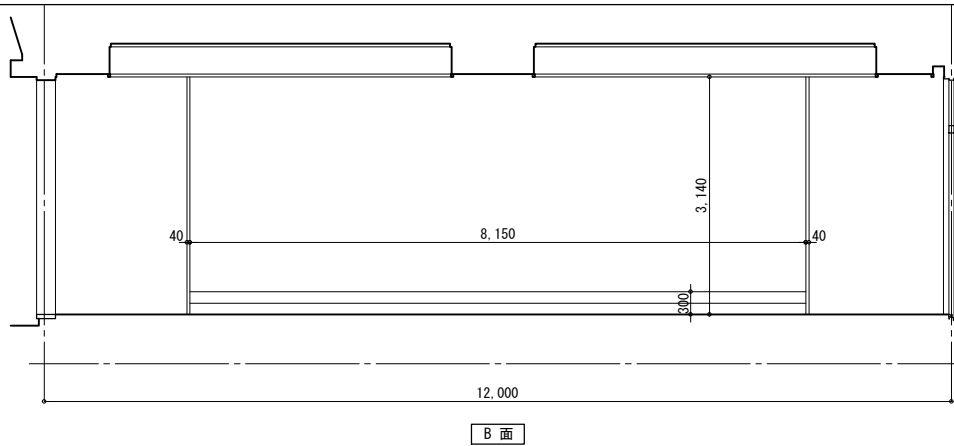
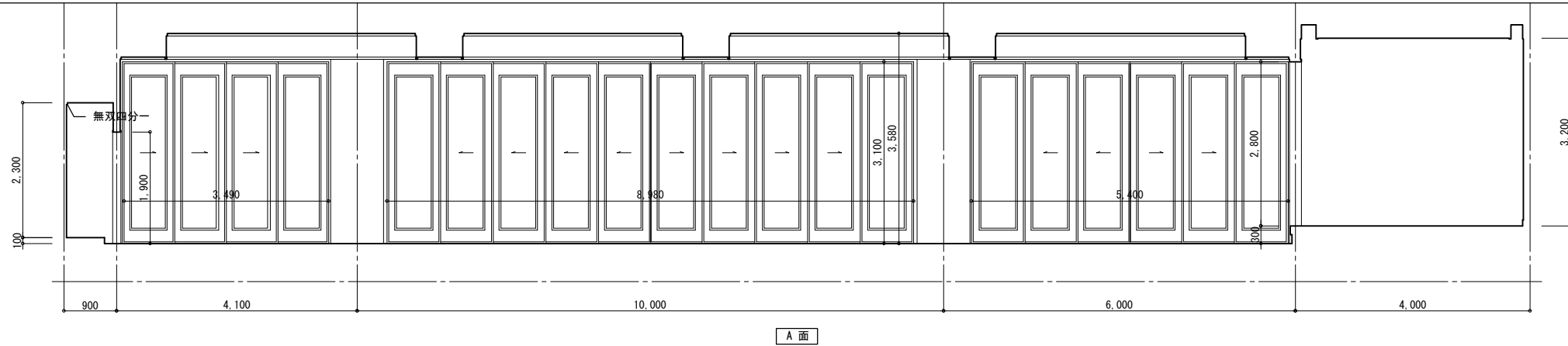
JOB TITLE	志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事	一級建築士事務所	第1-3-153号
DRAWING TITLE	玄関底改修図	鹿児島県知事登録	
SCALE	A1:1/30 A3:1/60	一級建築士	211839号 中山 高士

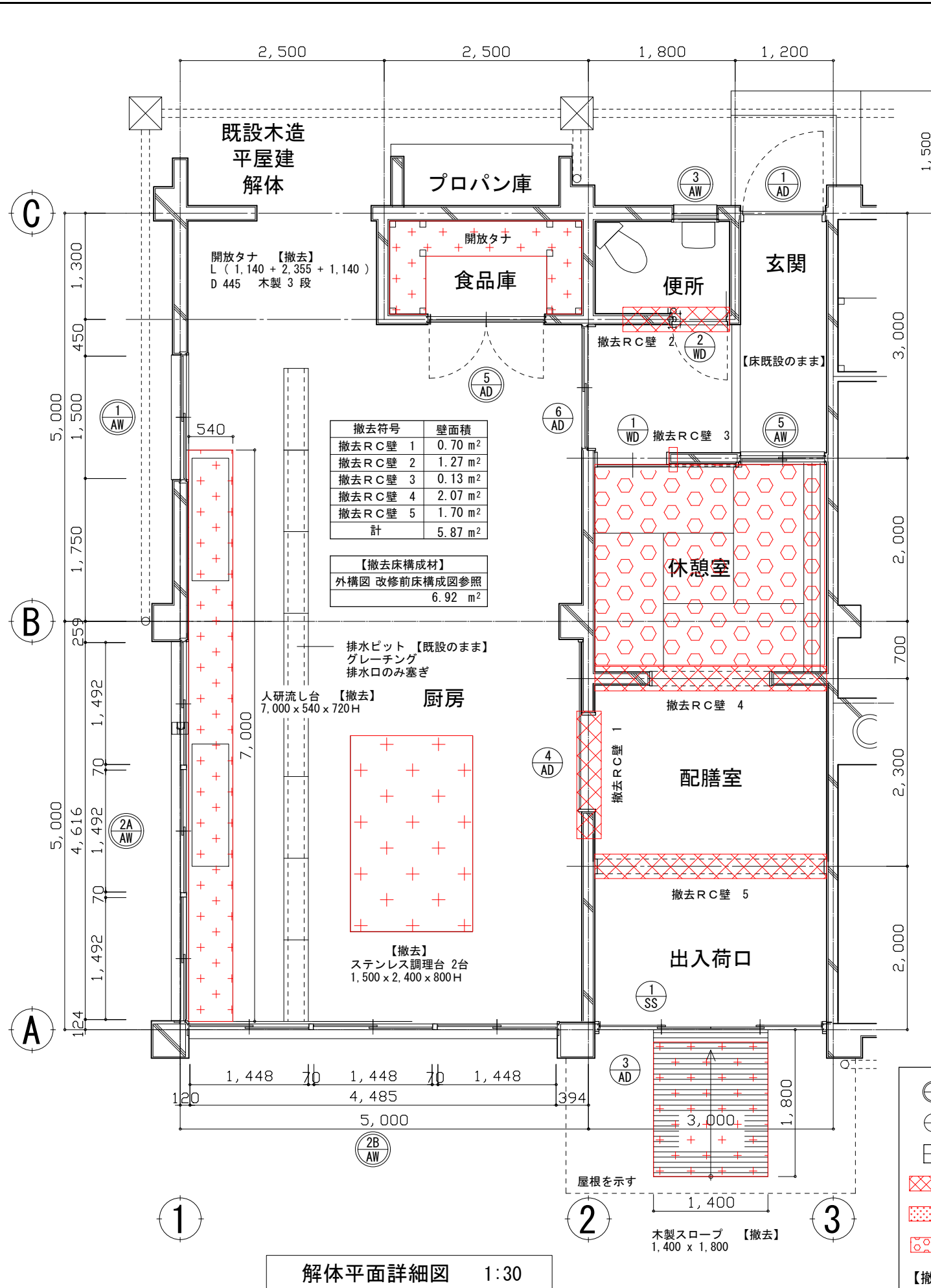


浴室	
床	磁器タイル貼 100角:100X200, 200角:300角 組合せ貼 (イナビアツツアOK)
巾木	—
壁	リペイナミスティ150 (波)
天井	バス天ワイドデザイン貼
備考	面台: 流し: 30, 50テラソーブロック シャワーブース (既製品)

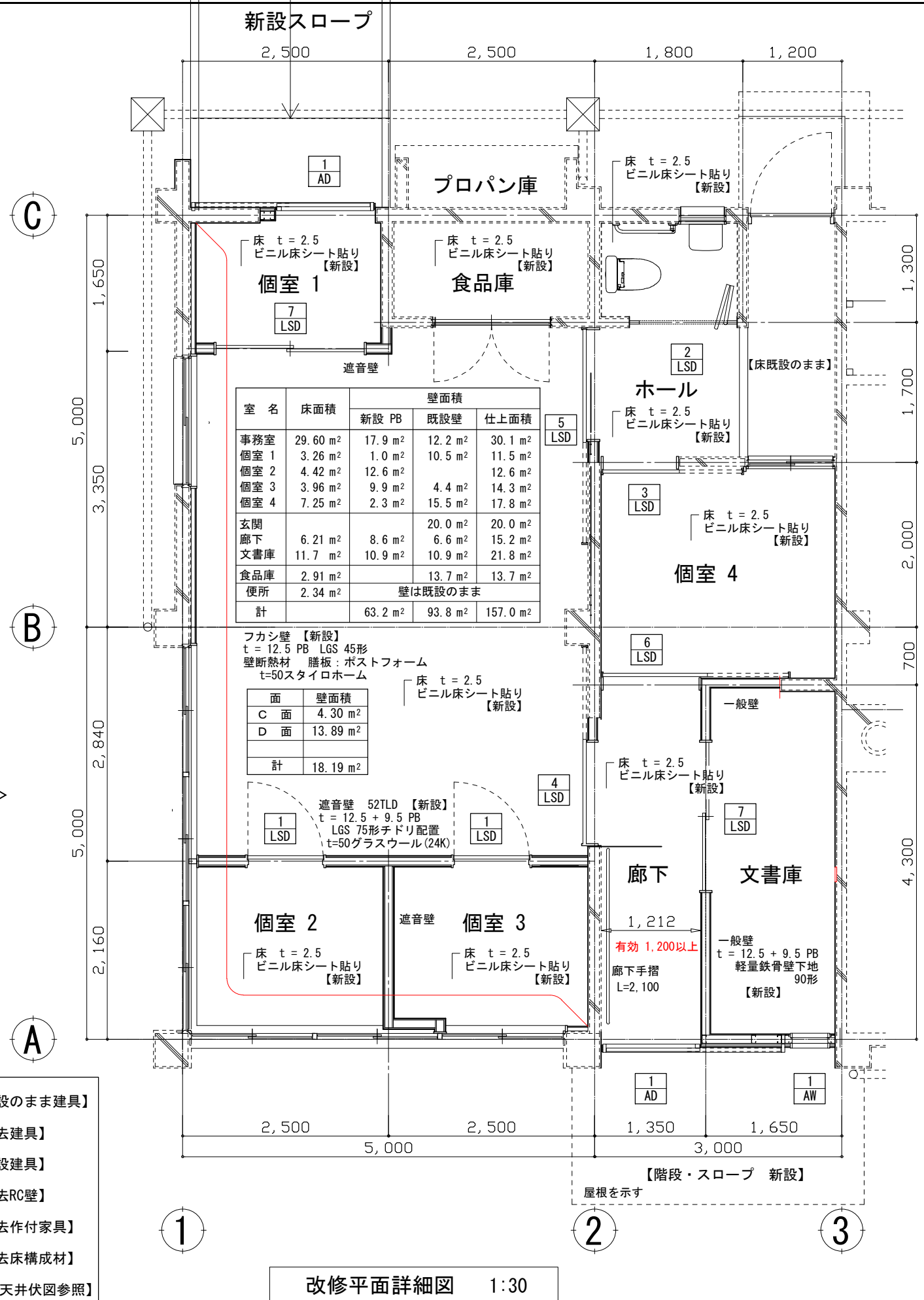


研修室	
床	55スタイロタタミ敷込 (Aタイプ同等品以上) 下地コンクリート同時押入の上ダンプレシート敷込
巾木	タタミ寄
壁	布クロス貼 下地クロスベース⑨ダイケン同等品以上) LGS下地
天井	布クロス貼 下地クロスベース⑨ダイケン同等品以上) LGS下地
備考	ロールブラインド: ロンシェード/キョーリン同等品以上 (スプリングローラータイプ) ブラインドボックス: ポンテ鏡板, 窓名札



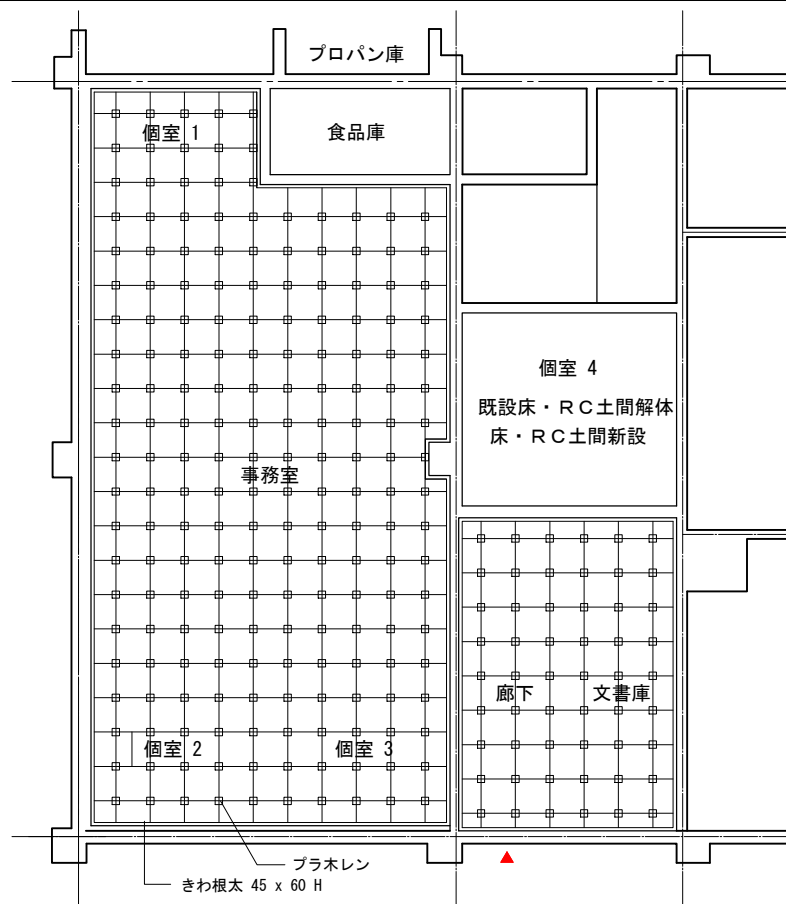


解体平面詳細図 1:30



改修平面詳細図 1:30

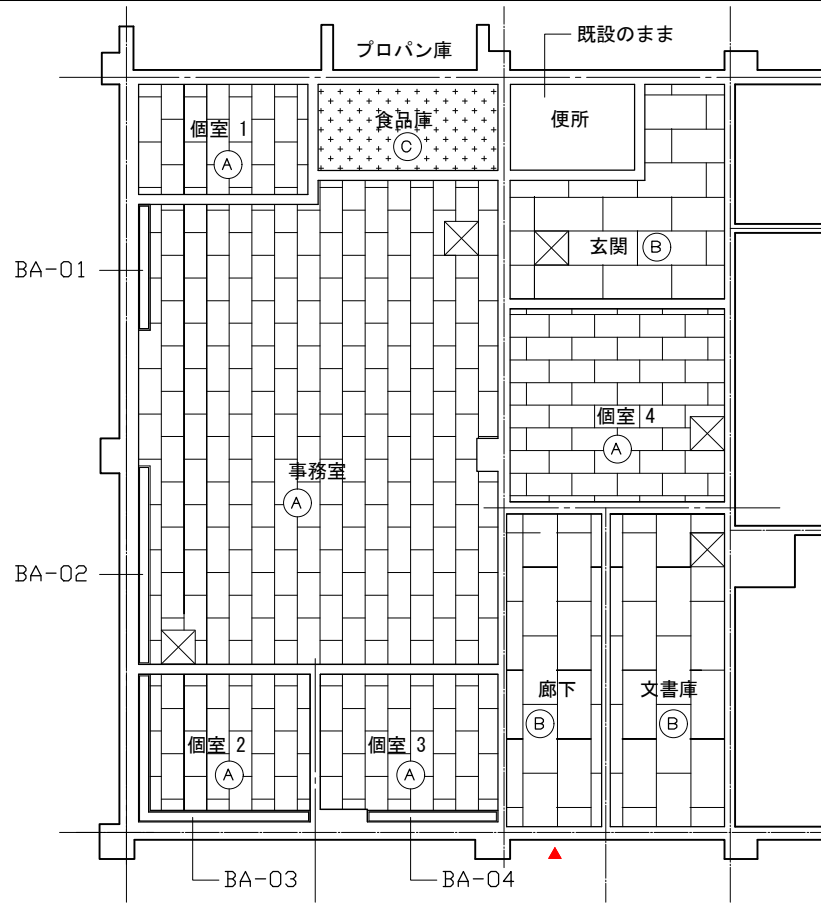
- 【既存のまま建具】
- 【撤去建具】
- 【新設建具】
- ▨ 【撤去RC壁】
- ▨ 【撤去作付家具】
- ▨ 【撤去床構成材】
- 【撤去天井は天井伏図参照】



改修後床伏図 1:50

室名	床面積	プラホレン	きわ根太
事務室 個室 1 2 3	43.12 m ²	195 個	29.60 m
廊下 文書庫	11.95 m ²	54 個	14.06 m
計	55.07 m ²	249 個	43.66 m

プラホレン フクビ化学工業 4A型 74mm~102mm



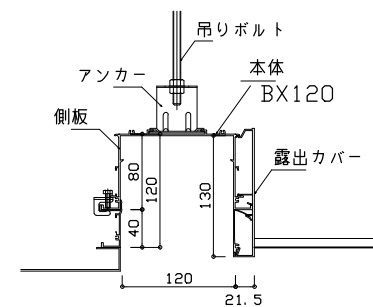
改修後天井伏図 1:50

室名	床面積
個室 4	7.25 m ²
計	7.25 m ²

符号	改修天井仕上
(A)	PB t9.5+無石棉岩綿吸音板 t9.0
(B)	化粧石膏ボード t9.0
(C)	既設ケイカル板 t6.0の上 EP塗装

☒ アルミ製天井点検口 スリム目地タイプ 5ヶ所 450×450

室名	面積	種類
事務室	29.60 m ²	(A)
個室 1	3.26 m ²	
個室 2	4.42 m ²	
個室 3	3.96 m ²	
個室 4	7.25 m ²	(B)
玄関	5.79 m ²	
廊下	6.21 m ²	(C)
文書庫	6.26 m ²	
食品庫	2.91 m ²	



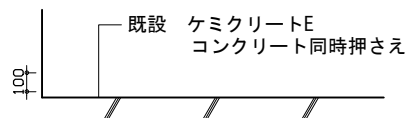
改修前天井伏図 1:50

符号	改修天井仕上
(1)	化粧石膏ボード t9.0
(2)	ケイカル板 目スカシ t6.0 VPステップル
(3)	ケイカル板 目スカシ t6.0 VP
(4)	化粧石膏ボード t9.0 (杉証)

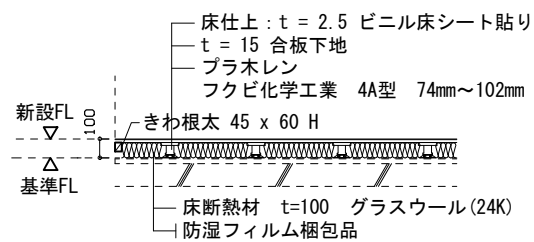
☒ アルミ製天井点検口 5ヶ所 450×450

室名	面積	種類
玄関	5.79 m ²	(1)
食品庫	2.91 m ²	(2)
厨房	44.11 m ²	
配膳室	6.21 m ²	(3)
出入荷口	5.36 m ²	
休憩室	7.25 m ²	(4)

事務室 個室 1 2 3 床改修図

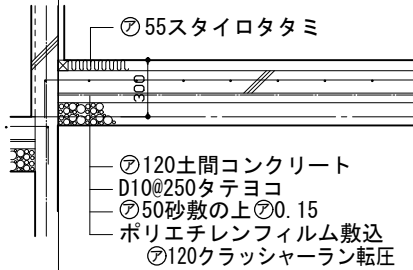


改修前床構成図 1:20

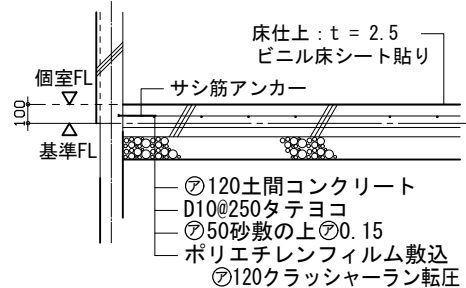


改修後床構成図 1:20

個室 4 床改修図



改修前床構成図 1:20



改修後床構成図 1:20

設置場所	符号	内法寸法	アルミブラインド H = 1,600	アルミブラインド ヨコ型 (遮熱スラット)
事務室	BA-01	1,650	1,650	スラット幅 35mm モノコム35 タチカワブラインド同等品
事務室	BA-02	2,600	2,600	
個室 2	BA-03	1,920 + 2,240	1,920 + 2,240	
個室 3	BA-04	1,700	1,700	

一体型 120×120H 理研軽金属工業株式会社 ビルBOX同等品

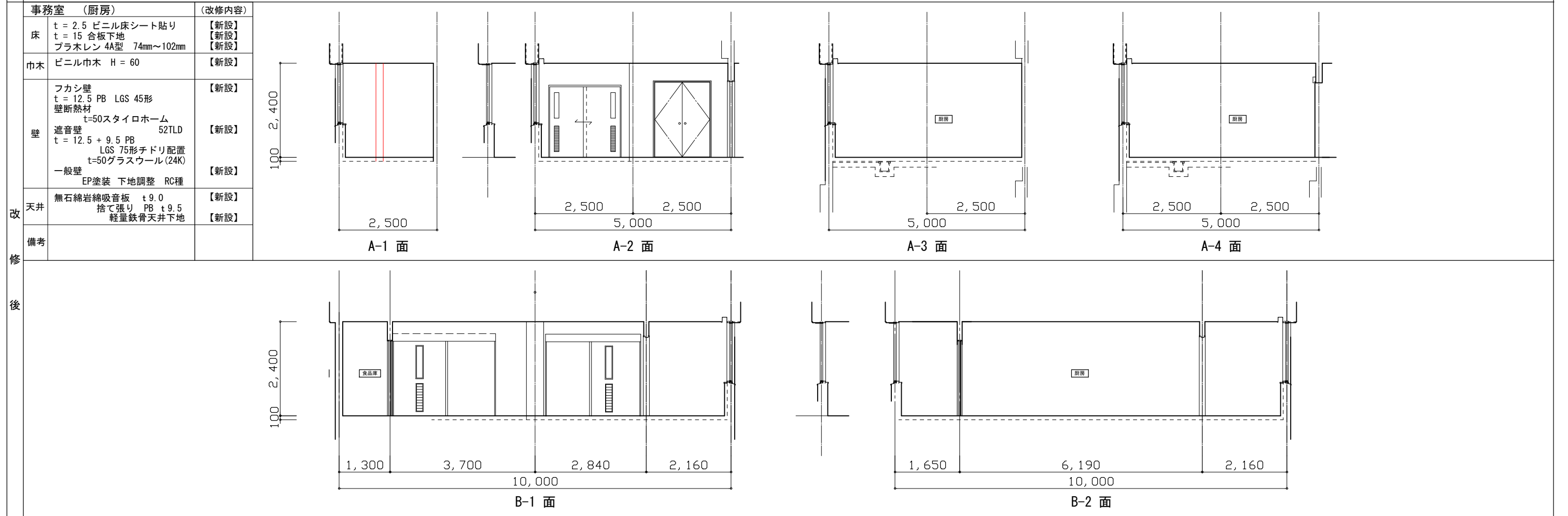
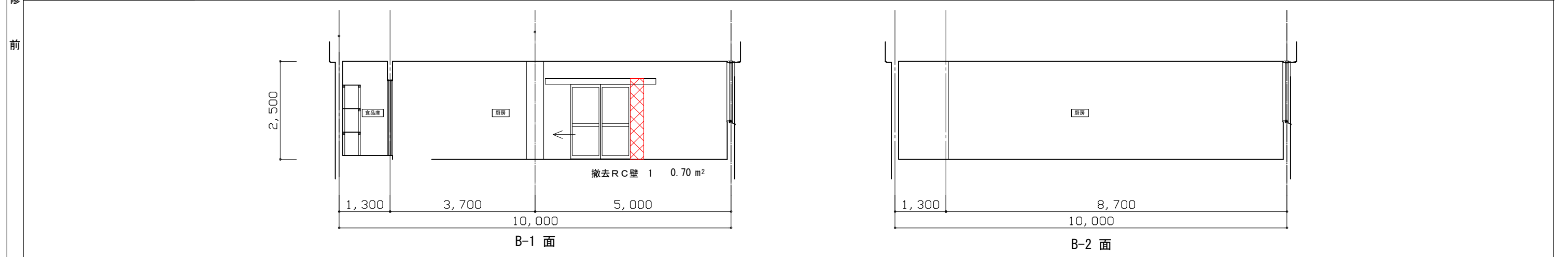
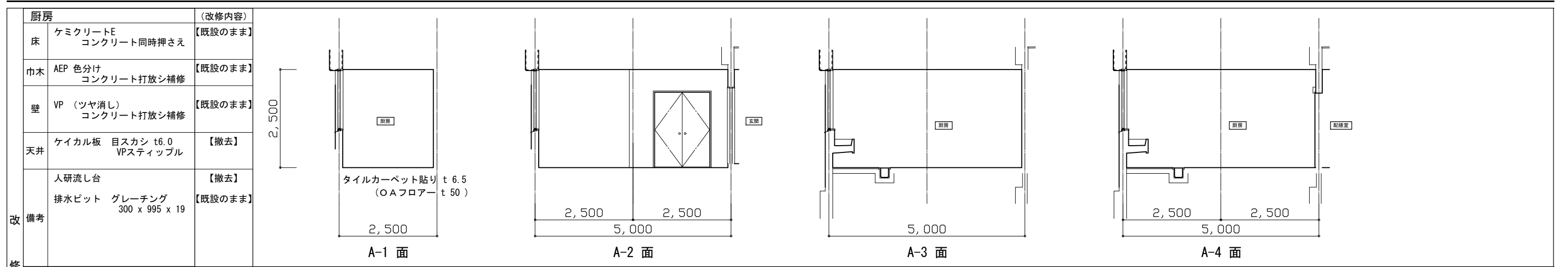
給食棟改修

着工
竣工
監理
施工

株式会社 衛藤中山設計

JOB TITLE 志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事
DRAWING TITLE 厨房改修前後床・天井伏図
SCALE A1:1/50 A3:1/100
A 30

符号 型式 数量	① AW 引き違いアルミ窓 1	②A AW ②B AW 3連引き違いアルミ窓 各 1	③ AW アルミジャロジー窓 1	④ AW 引き違いアルミ窓 1	① AD 外開きアルミ戸 1	③ AD 両引き分けアルミ戸 1	
姿 図							
見 込 部屋名	70 厨房	70 厨房	70 便所	70 休憩室	70 玄関	70 玄関	
材質仕上	カラーアルミ ブラック	カラーアルミ ブラック	カラーアルミ ブラック	カラーアルミ ブラック	カラーアルミ ブラック	カラーアルミ ブラック	
硝子	厚5フロート	厚5フロート	厚6.8網入りガラス 型	厚5フロート	ランマ厚3フロート 厚5フロート	ランマ厚3フロート 厚5フロート	
金物	クレセント 他一式	クレセント 他一式	クレセント 他一式	クレセント 他一式	DC・押棒・ステンレス丁番	DC・押棒・ステンレス丁番	
備考	アルミ額縁 アルミ水切	アルミ額縁 アルミ水切	アルミ額縁 アルミ水切	アルミ額縁 アルミ水切	ヒモ式オペレーター シリンダー錠・下枠ステンレス	ヒモ式オペレーター シリンダー錠・下枠ステンレス	
符号 型式 数量	④ AD 両引き分けアルミ吊戸 1	⑤ AD 両開きアルミ戸 1	⑥ AD 引き違いアルミ戸 1	① SS 軽量バランスシャッター 1	① WD 片引き木製戸 1	② WD 片引き木製戸 1	① AD 片引きハンガー框戸(袖壁) 1
姿 図							
見 込 部屋名	70 厨房	70 食品庫	70 厨房	70 出入口	32 休憩室	38 便所	110 便所
材質仕上	カラーアルミ ブラック	アルミ シルバー	カラーアルミ ブラック	スチール焼付け塗装	片面新島ノ子貼り ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ	カラーアルミ ブラック
硝子	厚6.8網入りガラス トーメイ 腰:アルミパネル		厚5フロート 腰:アルミパネル		厚5フロート	厚4型板	厚5フロート 腰:アルミパネル
金物	クレセント	空錠・フランス落し・DC	クレセント 他一式	マグサ・ガイドレール 水切・座板	クレセント 他一式	表示錠	戸先錠 引棒ステンレス L600
備考	附属金物一式	附属金物一式	アルミ額縁 アルミアングル	附属金物一式		アルミ額縁 アルミ水切	アルミ外額縁 附属金物一式
符号 型式 数量	① LSD 片開き 軽量スチール戸 1	② LSD 片開き 軽量スチール折戸 1	③ LSD 片引き 軽量スチール戸 1	④ LSD 片引き 軽量スチール戸 1	⑤ LSD ⑥ LSD 片引き 軽量スチール戸 各1	⑦ LSD 引き違い軽量スチール戸 1	① AW タテすべり出し窓 1
姿 図							
見 込 部屋名	32	32	三方枠:168 建具枠:75 扉:40	同左	同左	32	70
材質仕上	亜鉛めっき鋼板焼付け塗装	亜鉛めっき鋼板焼付け塗装	外付片引き吊り戸 (小松ウォール カムスライド7同等品以上)	同左	同左	亜鉛めっき鋼板焼付け塗装	カラーアルミ ブラック
硝子	厚4型板	厚4型板	強化ガラス t=4	同左	同左	厚4型板	厚5フロート 腰:アルミパネル
金物	引き手 他一式	引き手 他一式	把手(抗菌把手ナイロン樹脂)	同左	同左	引き手 他一式	戸先錠 引棒ステンレス L600
備考	引き戸錠	表示錠	フリーストッパー アルミ切窓・ガラリ枠	同左	同左	引き戸錠	アルミ外額縁 附属金物一式



改修前	厨房	(改修内容)	<p>5,000 C-1 面</p>	<p>10,000 D-1 面</p>	
	床	ケミクリートE コンクリート同時押さえ			【既設のまま】
	巾木	AEP 色分け コンクリート打放シ補修			【既設のまま】
	壁	VP (ツヤ消し) コンクリート打放シ補修			【既設のまま】
	天井	ケイカル板 目スカシ t6.0 VPスティップル			【撤去】
備考	人研流し台 排水ビット グレーチング 300 x 995 x 19	【既設のまま】	【撤去】		

改修後	<p>2,160 2,500</p>	<p>2,500 2,500 5,000 C-1 面</p>	<p>6,190 2,500 D-1 面</p>

改修中	個室1 (厨房)	(改修内容)	<p>2,500 2,500 2,400 A 面</p>	<p>1,650 2,400 B 面</p>	<p>2,500 2,500 5,000 2,400 C 面</p>	<p>1,650 2,400 D 面</p>	
	床	t = 2.5 ビニル床シート貼り t = 15 合板下地 ブラホレン 4A型 74mm~102mm					【新設】 【新設】 【新設】
	巾木	ビニル巾木 H = 60					【新設】
	壁	フカシ壁 t = 12.5 PB LGS 45形 壁断熱材 t=50スタイロホーム 遮音壁 t = 12.5 + 9.5 PB LGS 75形チドリ配置 t=50グラスウール (24K)					【新設】 【新設】
	天井	無石綿岩綿吸音板 t9.0 捨て張り PB t9.5 軽量鉄骨天井下地					【新設】 【新設】
備考							

改修後	個室2 (厨房)	(改修内容)	<p>2,500 2,500 5,000 2,400 A 面</p>	<p>2,160 2,400 B 面</p>	<p>2,160 2,400 B 面</p>	<p>2,500 2,500 5,000 2,400 C 面</p>	<p>2,160 2,400 D 面</p>	<p>2,160 2,400 D 面</p>	
	床	t = 2.5 ビニル床シート貼り t = 15 合板下地 ブラホレン 4A型 74mm~102mm							【新設】 【新設】 【新設】
	巾木	ビニル巾木 H = 60							【新設】
	壁	フカシ壁 t = 12.5 PB LGS 45形 壁断熱材 t=50スタイロホーム 遮音壁 t = 12.5 + 9.5 PB LGS 75形チドリ配置 t=50グラスウール (24K)							【新設】 【新設】
	天井	無石綿岩綿吸音板 t9.0 捨て張り PB t9.5 軽量鉄骨天井下地							【新設】 【新設】
備考									

改修前	食品庫	(改修内容)		
	床	ケミクリートE コンクリート同時押さえ		【既設のまま】
	巾木	AEP 色分け コンクリート打放シ補修		【既設のまま】
	壁	AEP 色分け コンクリート打放シ補修		【既設のまま】
	天井	ケイカル板 目スカシ t6.0 VPスティップル		【既設のまま】
備考	開放タナ	【撤去】		
改修前	休憩室	(改修内容)		
	床	t 55 スタイロタタミ コンクリート同時押さえ		【撤去】 【撤去】
	巾木	AEP 色分け コンクリート打放シ補修		
	壁	ジュラククロス貼り		【撤去】
	天井	化粧石膏ボード t9.0 (杉柂)		【撤去】
備考			撤去RC壁 3 0.13 m ² 撤去RC壁 4 2.07 m ²	
改修後	食品庫 (食品庫)	(改修内容)		
	床	t = 2.5 ビニル床シート貼り 下地調整 RC種		【新設】 【新設】
	巾木	ビニル巾木 H = 60		【新設】
	壁	EP塗装 下地調整 RC種		【新設】
	天井	ケイカル板 目スカシ t6.0 VPスティップル EP塗装 下地調整 RC種		【既設のまま】 【新設】
備考				
改修後	個室4 (休憩室) (休憩室)	(改修内容)		
	床	t = 2.5 ビニル床シート貼り コンクリート同時押さえ		【新設】 【新設】
	巾木	ビニル巾木 H = 60		【新設】
	壁	ビニルクロス貼り 下地調整 RC種		【新設】 【新設】
	天井	無石綿岩綿吸音板 t9.0 捨て張り PB t9.5 軽量鉄骨天井下地		【新設】 【新設】 【新設】
備考				

着工	
竣工	
監理	
施工	

株式会社 衛藤中山設計

JOB TITLE	志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-3-153号
DRAWING TITLE	厨房改修前後展開図 4	一級建築士 211839号 中山 高士
SCALE	A1:1/30 A3:1/60	A — 35

改修	玄関	(改修内容)	2,500	<p>A 面</p>	<p>B 面</p>	<p>C 面</p>	<p>D 面</p>	
	床	100角磁器タイル コンクリート同時押さえ						【既設のまま】
	巾木	AEP 色分け コンクリート打放シ補修						【既設のまま】
	壁	コンクリート打放シ補修						【既設のまま】
	天井	化粧石膏ボード t9.0 (トラパーチン)						【撤去】
備考	下足入れ 上框：テラゾーブロック	【既設のまま】 【既設のまま】						
前	便所	(改修内容)	2,500	<p>A 面</p>	<p>B 面</p>	<p>C 面</p>	<p>D 面</p>	
	床	45角磁器モザイク貼りタイル タイル下地モルタル						【撤去】 【撤去】
	巾木	100角カラータイル貼り						【既設のまま】
	壁	100角カラータイル貼り						【既設のまま】
	天井	化粧石膏ボード t9.0 (トラパーチン)						【既設のまま】
備考								
改修	玄関 (玄関)	(改修内容)	2,400	<p>A 面</p>	<p>B 面</p>	<p>C 面</p>	<p>D 面</p>	
	床	100角磁器タイル コンクリート同時押さえ						【既設のまま】
	巾木	EP塗装 下地調整 RC種						【新設】
	壁	一般壁 EP塗装 下地調整 RC種						【新設】
	天井	化粧石膏ボード t9.0 (トラパーチン) 軽量鉄骨天井下地						【新設】
備考	下足入れ 上框：テラゾーブロック	【既設のまま】 【既設のまま】						
後	便所 (便所)	(改修内容)	2,400	<p>A 面</p>	<p>B 面</p>	<p>C 面</p>	<p>D 面</p>	
	床	t = 2.5 ビニル床シート貼り 下地モルタル金コタ押さえ						【新設】 【新設】
	巾木	100角カラータイル貼り						【既設のまま】
	壁	100角カラータイル貼り						【既設のまま】
	天井	化粧石膏ボード t9.0 (トラパーチン)						【既設のまま】
備考	L型補助手摺	【新設】						

着工	
竣工	
監理	
施工	

株式会社 衛藤中山設計

JOB TITLE	志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-3-153号
DRAWING TITLE	厨房改修前後展開図 3	一級建築士 211839号 中山 高士
SCALE	A1:1/30 A3:1/60	A — 34

DATE

改修前	配膳室 (改修内容)		
	床	ケミクリートE コンクリート同時押さえ 【既設のまま】	
	巾木	AEP 色分け コンクリート打放シ補修 【既設のまま】	
	壁	AEP 色分け コンクリート打放シ補修 【既設のまま】	
	天井	ケイカル板 目スカシ t6.0 VPスティップル 【撤去】	
備考			
改修前	出入荷口 (改修内容)		
	床	コンクリート同時押さえ 【既設のまま】	
	巾木	AEP 色分け コンクリート打放シ補修 【既設のまま】	
	壁	AEP 色分け コンクリート打放シ補修 【既設のまま】	
	天井	ケイカル板 目スカシ t6.0 VP 【撤去】	
備考			
改修後	廊下 (配膳室・出入荷口) (改修内容)		
	床	t = 2.5 ビニル床シート貼り コンクリート同時押さえ 【新設】	
	巾木	ビニル巾木 H = 60 【新設】	
	壁	ビニルクロス貼り 下地調整 RC種 t = 12.5 + 9.5 PB 【新設】 軽量鉄骨壁下地 【新設】	
	天井	化粧石膏ボード t9.0 (トラパーチン) 軽量鉄骨天井下地 【新設】	
備考	廊下手摺 遮音壁 52TLD t = 12.5 + 9.5 PB LGS 75形ドリ配置 t=50グラスウール(24K)		
改修後	文書庫 (配膳室・出入荷口) (改修内容)		
	床	t = 2.5 ビニル床シート貼り コンクリート同時押さえ 【新設】	
	巾木	ビニル巾木 H = 60 【新設】	
	壁	ビニルクロス貼り 下地調整 RC種 t = 12.5 + 9.5 PB 【新設】 軽量鉄骨壁下地 【新設】	
	天井	化粧石膏ボード t9.0 (トラパーチン) 軽量鉄骨天井下地 【新設】	
備考			

着工	
竣工	
監理	
施工	

株式会社 衛藤中山設計

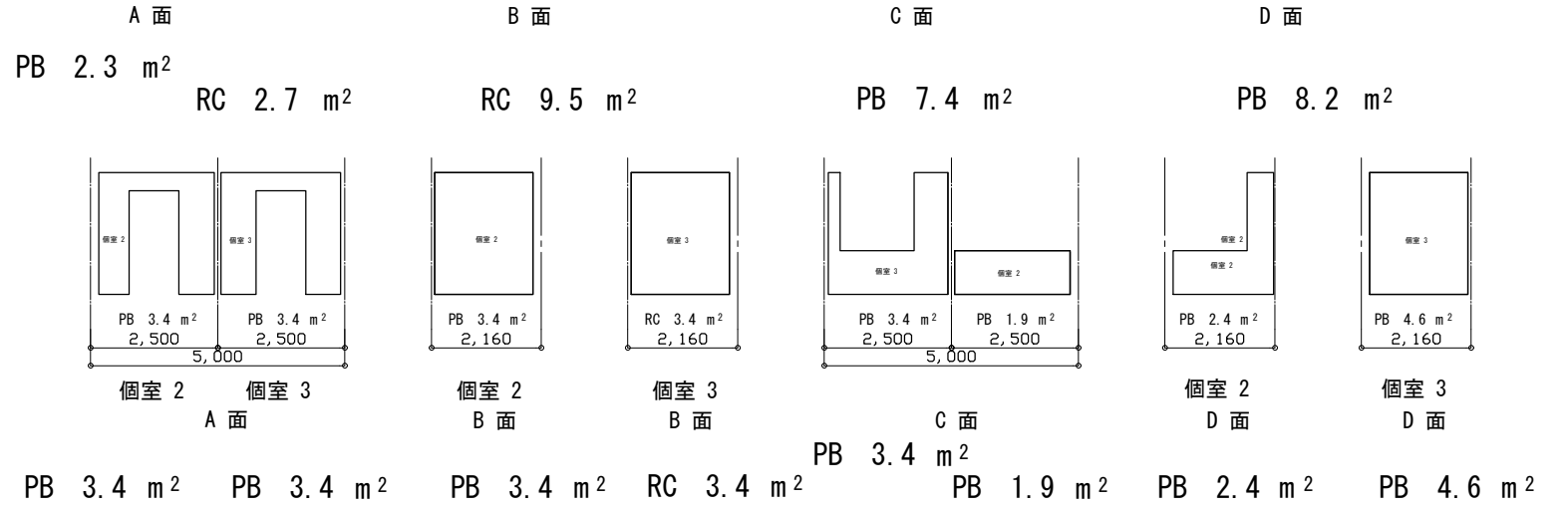
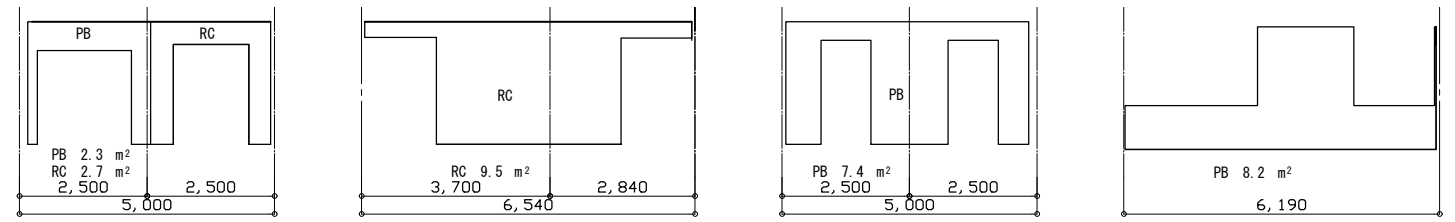
JOB/TITLE	志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-3-153号
DRAWING TITLE	厨房改修前後展開図 5	一級建築士 211839号 中山 高士
SCALE	A1:1/30 A3:1/60	A — 36

室名	床面積	壁面積		
		新設 PB	既設壁	仕上面積
事務室	29.60 m ²	17.9 m ²	12.2 m ²	30.1 m ²
個室 1	3.26 m ²	1.0 m ²	10.5 m ²	11.5 m ²
個室 2	4.42 m ²	12.6 m ²		12.6 m ²
個室 3	3.96 m ²	9.9 m ²	4.4 m ²	14.3 m ²
個室 4	7.25 m ²	2.3 m ²	15.5 m ²	17.8 m ²
玄関			20.0 m ²	20.0 m ²
廊下	6.21 m ²	8.6 m ²	6.6 m ²	15.2 m ²
文書庫	11.7 m ²	10.9 m ²	10.9 m ²	21.8 m ²
食品庫	2.91 m ²		13.7 m ²	13.7 m ²
便所	2.34 m ²	壁は既設のまま		
計		63.2 m ²	93.8 m ²	157.0 m ²

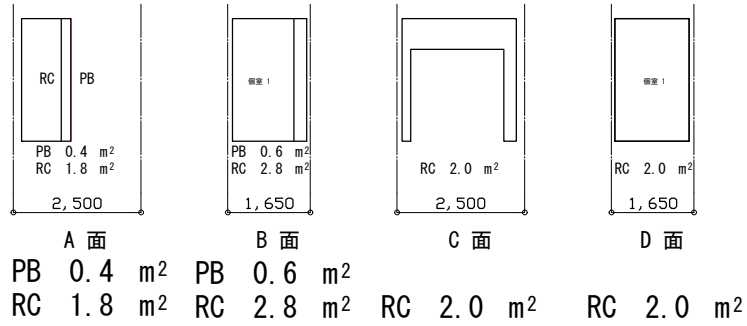
事務室	P B	R C	計
A 面	2.3 m ²	2.7 m ²	5.0 m ²
B 面		9.5 m ²	9.5 m ²
C 面	7.4 m ²		7.4 m ²
D 面	8.2 m ²		8.2 m ²
小計	17.9 m ²	12.2 m ²	30.1 m ²

個室 2	P B	R C	計
A 面	3.4 m ²		3.4 m ²
B 面	3.4 m ²		3.4 m ²
C 面	3.4 m ²		3.4 m ²
D 面	2.4 m ²		2.4 m ²
小計	12.6 m ²		12.6 m ²

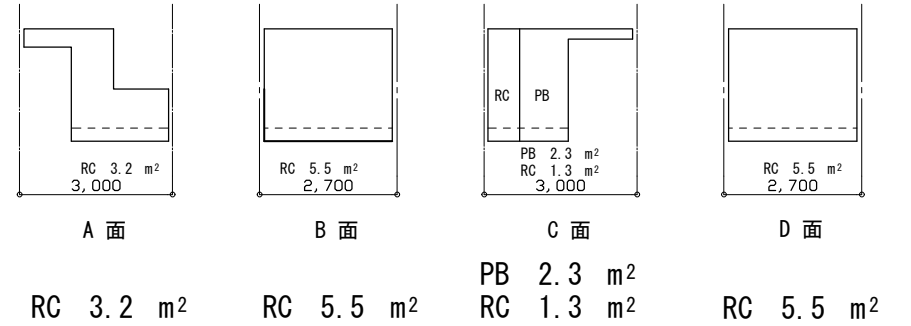
個室 3	P B	R C	計
A 面	3.4 m ²		3.4 m ²
B 面		4.4 m ²	4.4 m ²
C 面	1.9 m ²		1.9 m ²
D 面	4.6 m ²		4.6 m ²
小計	9.9 m ²	4.4 m ²	14.3 m ²



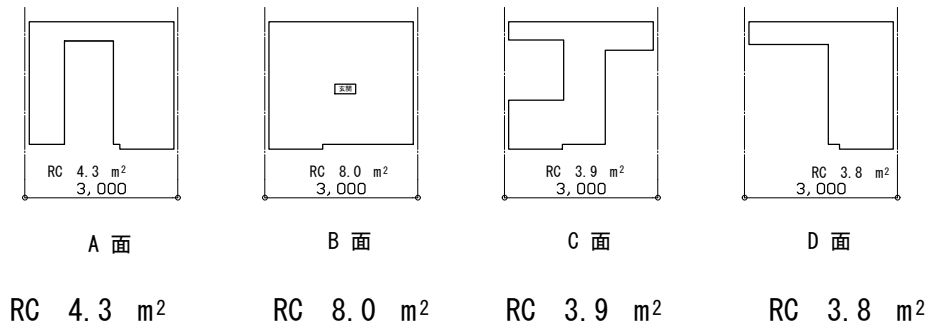
個室 1	P B	R C	計
A 面	0.4 m ²	1.8 m ²	2.2 m ²
B 面	0.6 m ²	2.8 m ²	3.4 m ²
C 面		2.0 m ²	2.0 m ²
D 面		3.9 m ²	3.9 m ²
小計	1.0 m ²	10.5 m ²	11.5 m ²



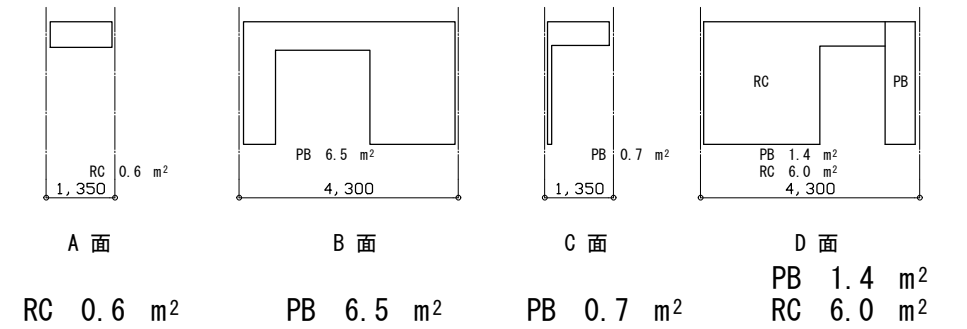
個室 4	P B	R C	計
A 面		3.2 m ²	3.2 m ²
B 面		5.5 m ²	5.5 m ²
C 面	2.3 m ²	1.3 m ²	3.6 m ²
D 面		5.5 m ²	5.5 m ²
小計	2.3 m ²	15.5 m ²	17.8 m ²



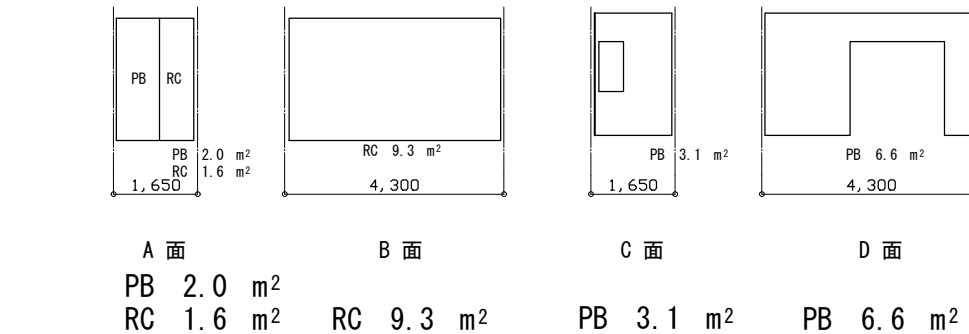
玄関	P B	R C	計
A 面		4.3 m ²	4.3 m ²
B 面		8.0 m ²	8.0 m ²
C 面		3.9 m ²	3.9 m ²
D 面		3.8 m ²	3.8 m ²
小計		20.0 m ²	20.0 m ²



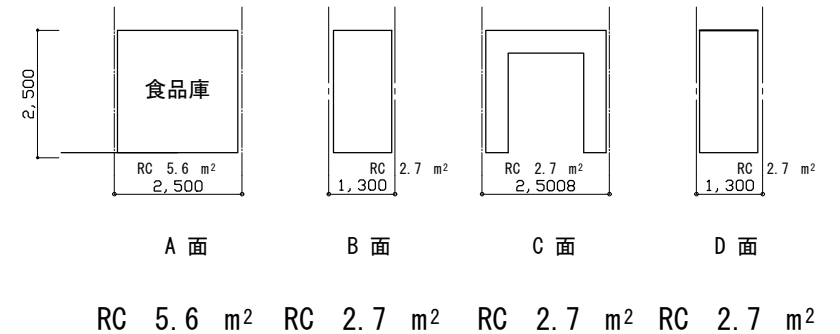
廊下	P B	R C	計
A 面		0.6 m ²	0.6 m ²
B 面	6.5 m ²		6.5 m ²
C 面	0.7 m ²		0.7 m ²
D 面	1.4 m ²	6.0 m ²	7.4 m ²
小計	8.6 m ²	6.6 m ²	15.2 m ²

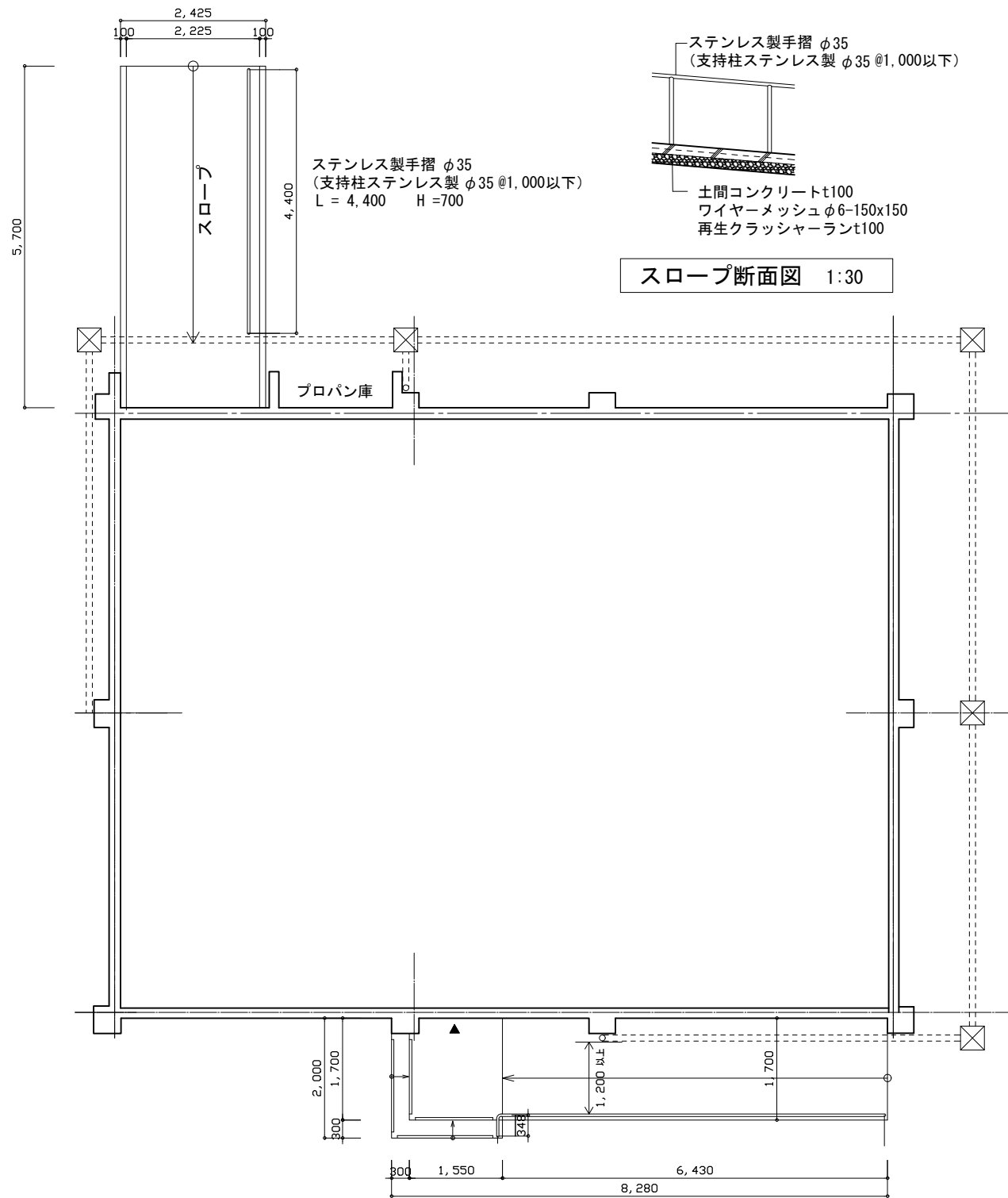


文書庫	P B	R C	計
A 面	2.0 m ²	1.6 m ²	3.6 m ²
B 面		9.3 m ²	9.3 m ²
C 面	3.1 m ²		3.1 m ²
D 面	6.6 m ²		6.6 m ²
小計	11.7 m ²	10.9 m ²	22.6 m ²

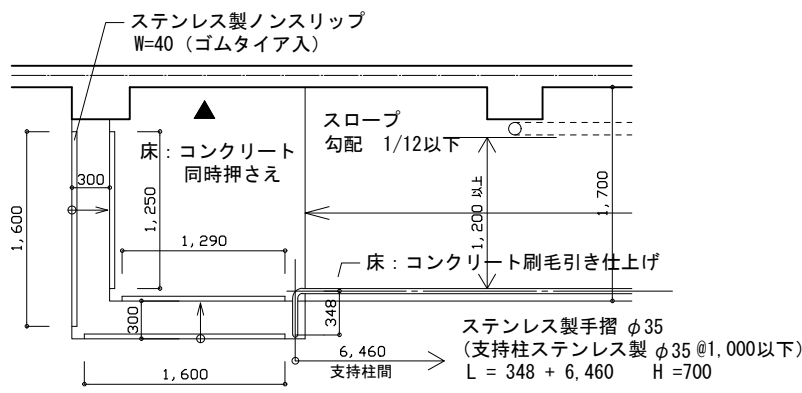


食品庫	P B	R C	計
A 面		5.6 m ²	5.6 m ²
B 面		2.7 m ²	2.7 m ²
C 面		2.7 m ²	2.7 m ²
D 面		2.7 m ²	2.7 m ²
小計		13.7 m ²	13.7 m ²

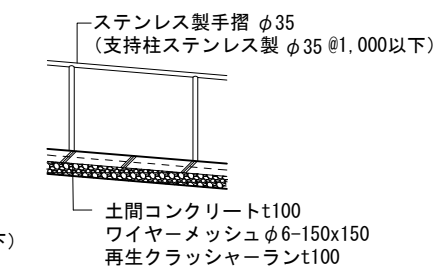




スロープ断面図 1:30



スロープ・階段平面図 1:30

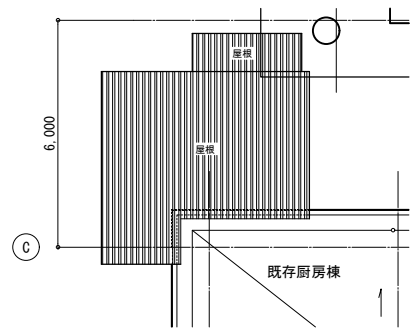


スロープ断面図 1:30

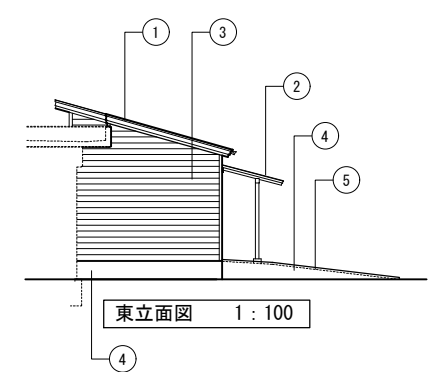
工事名称
志布志市健康ふれあいプラザ大規模改修工事
見積書 宛先
株式会社 衛藤中山設計
株式会社 ナカムラ 大迫部長 様

見積対象
本館棟 西側トイレ改修工事
東側トイレ改修工事
厨房棟 事務室・個室他改修工事
本館棟 西側トイレ改修工事
補助手摺 NS-TL7070 (L・R共用) 5ヶ所
床下点検口 NHEⅡ 600 SP0 (K) 1ヶ所
東側トイレ改修工事
補助手摺 NS-TL7070 (L・R共用) 7ヶ所
床下点検口 NHEⅡ 600 SP0 (K) 1ヶ所
ナカ工業同等品

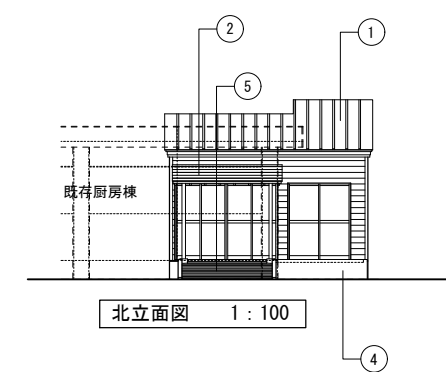
見積対象
厨房棟 事務室・個室他改修工事
補助手摺 NS-TL7070 (L・R共用) 1ヶ所
廊下手摺 ネオウッド
0-34MSL L = 2,100 1ヶ所
ブラインドBOX
ビルBOX 4ヶ所
図面リスト参照
天井点検口 アルミ製 スリム目地タイプ
450x450 5ヶ所
ナカ工業同等品
厨房棟 屋外階段・スロープ新設工事
スロープステンレス手摺
L = 348 + 6,460 H = 700 1ヶ所
L = 4,400 H = 700 1ヶ所
ステンレス製ノンスリップ
W=40 (ゴムタイア入)
L = 1,600 2ヶ所
L = 1,290 1ヶ所
L = 1,250 1ヶ所



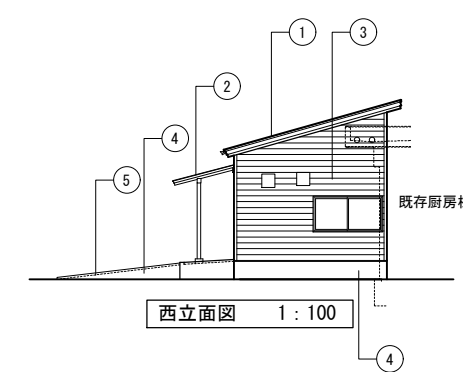
屋根伏図 1:100



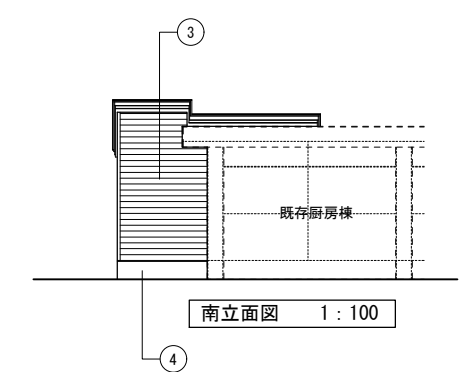
東立面図 1:100



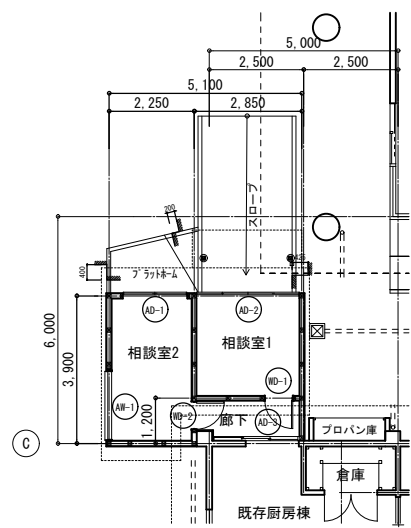
北立面図 1:100



西立面図 1:100

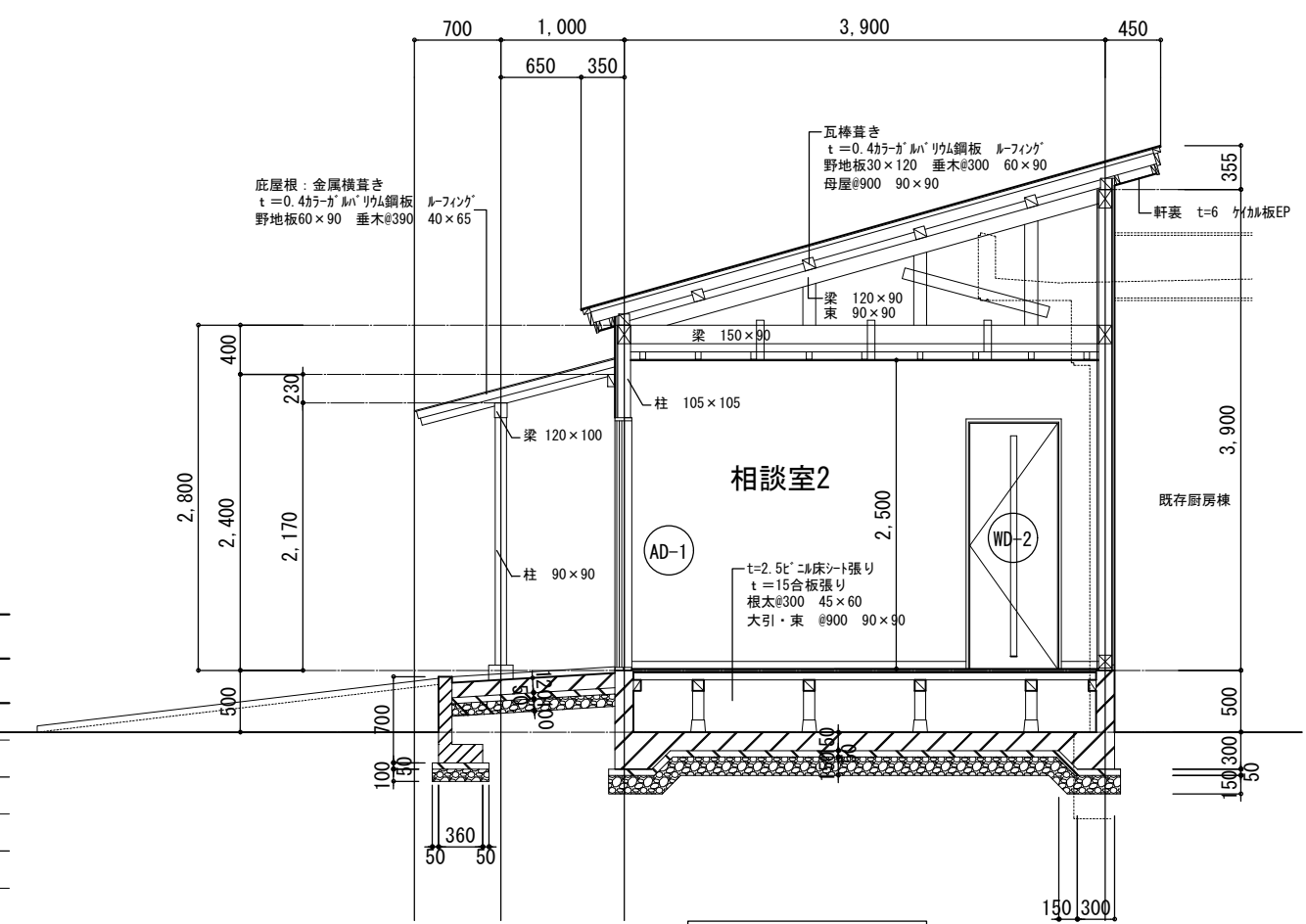


南立面図 1:100



平面図 1:100

凡例	仕上
①	瓦葺き t=0.4桁ノリ鋼板
②	横葺き t=0.4桁ノリ鋼板
③	t=16 サイディング張り
④	珪藻土コテ押え RC下地
⑤	スロ-フ面 珪藻土毛引き仕上げ RC t=120下地
⑥	
⑦	



矩計図 1:30

□ 内部仕上表

階	室名	床	巾木		壁	天井			備考	
			仕上	H		仕上	天井高	廻り縁		
既存木造部 解体撤去	相談室 1	改修前	ビニル床シート	ソフト巾木	60	木下地の上、t=12.5石膏ボード	ビニルクロス張り	⑦9化粧石膏ボード貼(トラバーチン)	2.400	塩ビ
		改修後	解体撤去	解体撤去	同左	解体撤去		解体撤去	-	解体撤去
	相談室 2	改修前	ビニル床シート	ソフト巾木	60	木下地の上、t=12.5石膏ボード	ビニルクロス張り	⑦9化粧石膏ボード貼(トラバーチン)	2.400	塩ビ
		改修後	解体撤去	解体撤去	同左	解体撤去		解体撤去	-	解体撤去
	廊下	改修前	ビニル床シート	ソフト巾木	60	木下地の上、t=12.5石膏ボード	ビニルクロス張り	⑦9化粧石膏ボード貼(トラバーチン)	2.400	塩ビ
		改修後	解体撤去	解体撤去	同左	解体撤去		解体撤去	-	解体撤去

建具表

符号及数量	AW-1 相談室 2 1	AD-1 相談室 2 1	AD-2 相談室 1 1	AD-3 廊下 1	WD-1 相談室 1 1	WD-2 相談室 2 1
姿 図						
型 式	アルミ引き違い窓	アルミ引き違い戸	4枚アルミ引き違い戸	3枚アルミ引き違い戸	木製片開き戸	木製片開き戸
見 込	70	70	70	110	40	40
仕 上	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	ポリ合板	ポリ合板
硝 子	⑦5m/m2ロ-トが'5ス	⑦5m/m2型板が'5ス 腰:⑦2m/m7âシ'裨	⑦5m/m2ロ-トが'5ス 腰:⑦2m/m7âシ'裨	⑦5m/m2ロ-トが'5ス 腰:⑦2m/m7âシ'裨	⑦2m/m型板が'5ス	⑦2m/m型板が'5ス
金 物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	丁番、レバー、付属金物一式	丁番、レバー、付属金物一式
備 考						